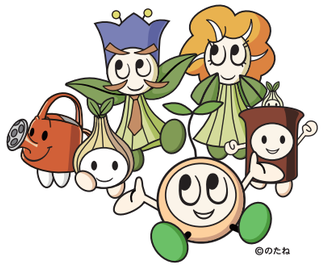
©ウグリン



©のたね

SUZUKI

遠鉄グループ　静岡銀行　TOKAIグループ

浜松いわた信用金庫　HAMAMATSU PHOTON IS OUR BUSINESS　HONDA

YAMAHA　YAMAHA

AEON MALL イオンモール浜松志都呂　遠州信用金庫　KAWAI　杏林堂 SUPER DRUG STORE

sala サーラグループ　春華堂　TOKAI 株式会社東海化成

人と人の間に フコク生命 THE MUTUAL　ROKI　Roland

NTN　F.C.C.　株式会社遠州日石　共和レザー　GS YUASA

JTEKT 株式会社ジェイテクト コラムシステム　TF-METAL　DENSO　東海精機株式会社　TRINC

HMK ハマキョウレックス　HAMANAKODENSO　FDA　EV ENERGY プライムアースEVエナジー株式会社

©ふらまる

©てんてん

浜名湖花博20周年記念事業実行委員会 公式記録

浜名湖花博20周年記念事業

20th Anniversary

浜名湖花博2024

LAKE HAMANA HANAHAKU2024

公式記録

浜名湖花博20周年記念事業実行委員会

index

ごあいさつ …… 7

公式行事 …… 8
- 開会式 …… 8
- 開幕式 …… 9
- 節目入場 …… 10
- 閉幕式 …… 11
- 閉会式 …… 12

浜名湖ガーデンパーク会場 …… 13
- 浜名湖ガーデンパーク 会場マップ …… 14
- フラワーフィルハーモニー交響花壇 …… 16
- 浜名湖フラワーパレット …… 16
- 花織り畑 …… 17
- 浜名湖花博2024 記念庭園「汽水園」 …… 18
- ユニバーサルガーデン …… 19
- ふれあい花壇 …… 19
- 新感性ローズガーデン × R（コラボローズ） …… 20
- ポタジェガーデン …… 22
- フラワーガーデンコンテスト 浜名湖花博2024 …… 23
- 全国花のまちづくりコンクール受賞者記念花壇 …… 25
- 母の日植栽花壇 …… 25
- 国際庭園 …… 26
- ハンギング通り＆かえで橋ギャラリー …… 26
- 花ゆれる散歩道 …… 27
- マーガレットガーデン #望郷のカナリア …… 27
- マーガレットガーデン #進化の系譜 …… 27
- 市町出展花壇 …… 28
- 各種花壇 …… 29
- 花装飾デザインコンクール …… 29
- 添景物 …… 30
- 大盆栽 …… 30
- 印象派庭園「花美の庭」（花の美術館） …… 31
- 花の都しずおかの花展示 …… 32
- Immersive Museum HAMANAKO（イマーシブミュージアム浜名湖） …… 34
- スマート農業体験 …… 35
- デジタルコンテンツ …… 35
- 企業展示コーナー …… 36
- デジタルミライ館 …… 38
- スマートモビリティ体験 …… 39
- 屋外ステージイベント …… 40
- 体験教室 …… 42
- 市町等PRブース …… 43
- 花博キッチン／食事処のたね・のたねデッキ／公式売店 …… 44
- フレンチレストランターブルブルー「LENRI」 …… 45
- ティーカフェ&ガーデン（里の家） …… 45
- 花・園芸用品売店／農産物直売所等 …… 46
- 会場運営 …… 47
- 交通輸送 …… 48
- 会場の様子 …… 49
- スタッフ／ボランティア …… 52

はままつフラワーパ ーク会場 …… 55
- はままつフラワーパーク 会場マップ …… 56
- 新ガーデン：ウェルカムガーデン …… 58
- 新ガーデン：フラワーフォレスト …… 59
- 新ガーデン：はなのはら …… 60
- 桜とチューリップ …… 61
- ホワイトガーデン …… 61
- 虹のフジのトンネル …… 62
- 日本庭園／藤棚 …… 62
- モザイカルチャー「森の仲間たち」 …… 62
- ローズガーデン …… 63
- 日本庭園／花菖蒲 …… 63
- アジサイ並木／野生アジサイ園 …… 63
- スマイルガーデン …… 64
- 三角花壇 など …… 64
- 大温室クリスタルパレス …… 65
- ウォータースクリーン 大噴水ショー …… 66
- 360度映像特設シアター …… 66
- 主催・誘致イベント …… 67
- 花みどりトーク …… 71
- 県民・市民参加イベント（体験教室） …… 72
- その他イベント …… 73
- 企業・団体出展／利活用PR出展 …… 74
- 県民・市民参加イベント（ステージイベント） …… 75
- コンテスト …… 76
- 交通輸送 …… 78
- 会場全般 …… 79
- その他 …… 80
- ボランティア／運営スタッフ …… 81

湖西市会場 …… 83
- 舟運の実施 …… 84
- 中根金作庭園の公開 …… 84
- 「緑花フェア」の開催 …… 84
- 「湖（うみ）の見えるMarche」の開催 …… 85
- うなぽん花緑缶バッジラリーの実施 …… 85

- 内覧会 …… 86
- PRイベント出展 …… 87
- 広報宣伝 …… 88

資料編 …… 90
- 浜名湖花博 20周年記念事業の概要 …… 91
- 公式行事 …… 93
- 花き展示 …… 94
- 行催事 …… 147
- 会場運営 …… 164
- 交通輸送 …… 169
- ボランティア …… 174
- 施設整備 …… 177
- 営業 …… 179
- 入場券販売、誘客促進 …… 182
- 広報・宣伝 …… 186
- 協賛・協力 …… 196
- 浜名湖花博 2024 入場者数 …… 197
- 浜名湖花博20周年記念事業実行委員会名簿 …… 199
- 実行委員会事務局組織図 …… 200

浜名湖ガーデンパーク会場

花織り畑

はままつフラワーパーク会場

大花壇

浜名湖花博20周年記念事業実行委員会
名誉顧問　鈴木　修

浜名湖花博20周年記念事業実行委員会
会長　鈴木　康友

浜名湖花博20周年記念事業実行委員会
副会長　中野　祐介

浜名湖花博20周年記念事業実行委員会
副会長　影山　剛士

ごあいさつ

「浜名湖花博 2024（浜名湖花博 20 周年記念事業）」は、3 月 23 日から 6 月 16 日までの 86 日間、「人・自然・テクノロジーの架け橋～レイクハマナデジタル田園都市（ガーデンシティ）～」をテーマに、浜名湖ガーデンパーク会場とはままつフラワーパーク会場で花緑にあふれる環境と最先端のデジタル技術を体験できる機会を提供してまいりました。

期間中は、目標入場者数 95 万人を上回る約 100 万人のお客様にお越しいただきました。
これもひとえに、御来場いただいた皆様をはじめ、地元の庄内地区自治会連合会の皆様、花き生産者や造園関係者、御出展・御協賛いただいた企業、団体、学校など関係の皆様、会場運営を支えていただいた多くのボランティアの皆様などの多大なる御支援、御協力の賜物であり、厚くお礼申し上げます。

「浜名湖花博 2024」は、2004 年に開催された「浜名湖花博」のレガシーを引き継ぎ、花緑に加えて、食と農、芸術文化などの暮らしを彩る要素を盛り込み、デジタル技術を取り入れることで、時代に合った新しい花博として開催しました。

開会後は、桜、チューリップ、ネモフィラ、フジ、バラ、ヒマワリ、アジサイなど、訪れる度に見頃を迎える花々で皆様をお迎えし、本博を機に新たに誕生した、国内外で広く活躍するガーデンデザイナー等による庭園や花壇をお楽しみいただきました。

イマーシブミュージアム浜名湖やウォータースクリーン大噴水ショー、企業の皆様による自動運転やスマート農業技術の体験など、最先端のデジタル技術を駆使した展示は大変御好評をいただきました。

県では、引き続き、県産花きの PR や花に触れる機会の提供に取り組み、花き産業の更なる振興につなげてまいります。また、本博を契機として、日常に花と緑のあふれる環境の中で、本博で提案したデジタル技術が普及することで、県民の皆様の暮らしが心豊かになるよう努めてまいります。

結びに、「浜名湖花博 2024」の開催に当たり御尽力いただいた関係者の皆様に、重ねて心から感謝申し上げます。

浜名湖花博 20 周年記念事業実行委員会
会　長　　鈴　木　康　友

公式行事：開会式

式典日時：令和6年3月23日（土）9:30～
会場：はままつフラワーパーク　クリスタルパレス（大温室）

主催者挨拶：静岡県知事 川勝平太

主催者挨拶：浜松市長 中野祐介

主催者挨拶：湖西市長 影山剛士

発起人挨拶：浜松商工会議所副会頭 石黒衆

来賓祝辞：浜松市議会議長 戸田誠

司会：鬼頭里枝

演奏：浜商OBOG吹奏楽団

マスコットキャラクター

会場の様子

公式行事：開幕式

式典日時：令和6年4月6日（土）9:00～
会場：浜名湖ガーデンパーク　北入場ゲート前

主催者挨拶：静岡県知事 川勝平太

主催者挨拶：浜松市長 中野祐介

主催者挨拶：湖西市長 影山剛士

来賓祝辞：静岡県議会議長 中沢公彦

来賓祝辞：浜松市議会議長 戸田誠

浜名湖花博2024 PR大使：當間ローズ

司会：おさかべ千晃

演奏：浜松湖南高校 吹奏楽部

来賓受付

マスコットキャラクター

節目入場

4月7日（日）　10万人達成

4月15日（月）　20万人達成

4月22日（月）　30万人達成

5月5日（日・祝）　50万人達成

5月18日（土）　70万人達成

5月25日（土）　80万人達成

6月2日（日）　95万人達成

6月16日（日）　100万人達成

公式行事：閉幕式

式典日時：令和6年6月2日（日）15:30～
会場：浜名湖ガーデンパーク　屋外ステージ

主催者挨拶：静岡県知事 鈴木康友

主催者挨拶：浜松市長 中野祐介

主催者挨拶：湖西市長 影山剛士

来賓祝辞：静岡県議会議長 落合慎悟

庭園デザイナー 石原和幸

浜名湖花博2024 PR大使 當間ローズ

フラワーガーデンコンテスト浜名湖花博2024 表彰式

司会：いいだまき

演奏：浜松湖南高校 吹奏楽部

ボランティア表彰式

公式行事：閉会式

式典日時：令和6年6月16日（日）16:15～
会場：はままつフラワーパーク　ウェルカムガーデンステージ

主催者挨拶：浜松市長 中野祐介

はままつフラワーパーク代表挨拶：
公益財団法人浜松市花みどり振興財団理事長
塚本こなみ

来賓：浜名湖かんざんじ温泉観光協会 顧問／
浜名湖花フェスタ実行委員会 委員長
金原貴

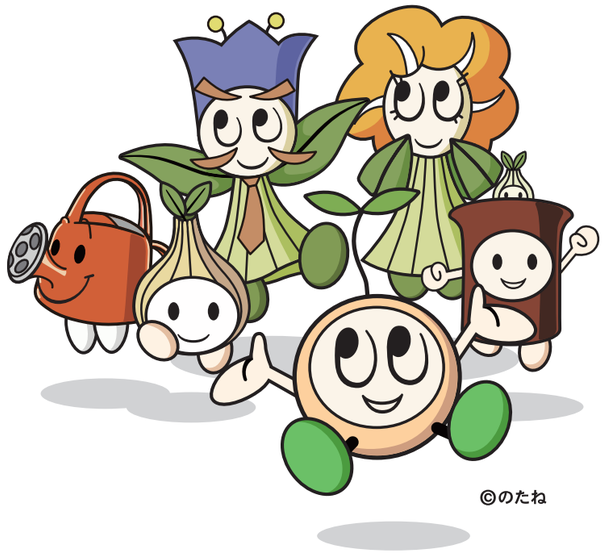
司会：小川綾乃

ガーベラのプレゼント

ボランティアによるおみおくり

20th Anniversary
浜名湖花博2024
LAKE HAMANA HANAHAKU2024

浜名湖
ガーデンパーク
会場



20th Anniversary
浜名湖花博2024
LAKE HAMANA HANAHAKU2024

浜名湖ガーデンパーク 会場マップ

マップの見方

- 花みどり見どころ
- デジタル見どころ
- グルメ・体験等

P 駐車場開場時間 9:00~17:30（開園時間/9:30～17:00）

- 案内所
- 入場券販売所
- 男子トイレ
- 女子トイレ
- バリアフリートイレ
- オストメイト対応トイレ
- 授乳室
- 救護室
- AED（自動体外式除細動器）
- タクシーのりば
- グルメ
- ショッピング
- 休憩所
- 自動販売機
- ロッカー
- 貸出所
- 喫煙所
- バス停
- 水上ゲート
- ガーデンクルーズ

花みどり

花の都しずおか花展示

「花の都しずおか」の生産者、市町、デザイナー、華道家等が総力を結集して「しずおかの花」の魅力をPRします。

デジタルコンテンツ

おともたび
OTO・MO・TABI

浜名湖花博2024限定の特別音声ガイドが会場内見所の庭園・花壇を紹介します。普段は聞けない、庭園デザイナーの話をスマホで聞きながら、新しい庭園の楽しみ方を見つけてみてください♪

いきものコレクションアプリ BIOME
～みんなでつくる！デジタル花マップ～

指定された植物を探すクエストを開催します！クリアすると植物の種をプレゼント！みんなが見つけた植物がHPで公開されるかも。みんなでクエストに参加してデジタル花マップを満開にしよう！

花博ナビ［協力：スズキ㈱］

スズキのアプリで移動を便利で快適に！見どころ・イベント・お食事処、浜名湖花博をより一層楽しむためのおすすめスポット情報が盛りだくさん！スポットまでの道順や所要時間もご案内します。花博2会場に対応しています。

SUZUKI

フラワーガーデンコンテスト

全国から有名ガーデナーが集結。26個のフラワーガーデンの競演は必見です。

花博PR大使
「花の王子様」當間ローズ 氏

僕が作った言葉「一花一笑」。
どんなに小さな一輪の花も
誰かの一日を笑顔にする
優しさと美しさがある。
花達から沢山の愛と笑顔をもらい、
癒されてください。

アミューズメント

遊覧船ガーデンクルーズ

西船着場から花美の庭の東船着場までを結ぶ遊覧船。花や自然を眺めながらゆっくりとクルージングしませんか？

●運行時間：9:30～16:40
●料金：大人（片道）700円
※障がい者割引有
3歳～小学生（片道）350円
※大型犬（片道）700円、中型犬まで（片道）350円
※荒天・雨天時は運休の可能性があります。

イマーシブミュージアム浜名湖

鑑賞する絵画から、体感する絵画へ。広大な屋内空間を埋め尽くす没入映像と音響の中でアートを全身で体感できます。

●料金：大人800円・小中学生500円

展望塔

公園のほぼ中央に位置する高さ50mの展望塔。ガーデンパークの全景や美しい浜名湖の風景が一望できます。

●料金：大人300円・小中学生100円
※障がい者割引有

フード&ショップ

キャッシュレス決済対応

浜名湖花博 グルメ

フレンチレストラン テーブルブルー LENRI

浜松パワーフード学会プロデュース。静岡県産食材を使用した極上の食を満喫できます。

食事処のたね

浜名湖丼、カレーライス等といった和食中心のメニューをお楽しみいただけます。

ティーカフェ&ガーデン

静岡県内外産の50種のお茶を発売。テイクアウト茶や喫茶メニューもオススメです。

公式売店

花博公式グッズや地元銘菓・雑貨をお土産にいかがですか？

農産物等

地元浜松のこだわり農家集団が厳選した新鮮野菜・果実、加工品を販売。

花・園芸用品

静岡県産の育てやすい植物や珍しい植物を取りそろえています♪

花博キッチン

花と静岡県産食材をテーマとした花博オリジナルメニューをお楽しみください♪

ブーケサンドロール

オニオンフラワー

静岡抹茶の絹糸モンブラン

桜もちピッツァ

まぐろの唐揚げ（桜ディップ、梅ディップ）

フラワーフィルハーモニー交響花壇

NHK“趣味の園芸”でおなじみの天野麻里絵さんと、県民の皆さんで作り上げた美しい並木路。全3回にわたるワークショップでは、デザインの基本を学んだ後、ブロック毎にデザインを決め、植栽を行いました。

浜名湖フラワーパレット

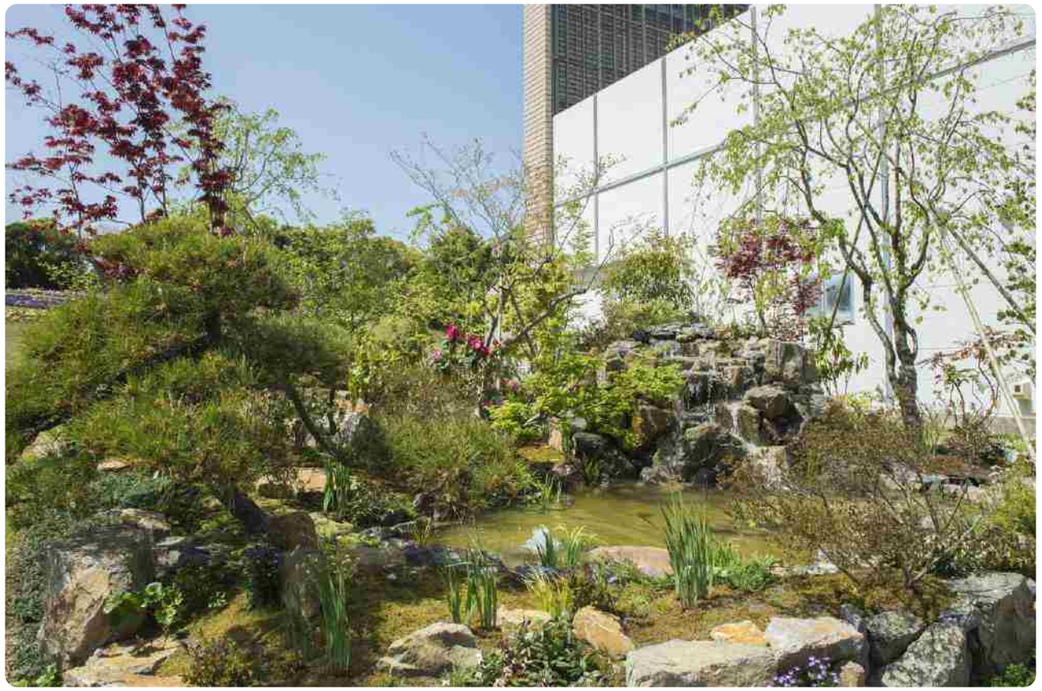
花壇作りのお手本となるような工夫が随所にちりばめられた花壇。県民の皆さんが参加して、ガーデナー・藤田佐知子さんのもと、研修会が行われ、植栽されました。

花織り畑

ほぼ100%の県内産花苗を使用し、春はネモフィラ、初夏はヒマワリを中心とした花々が、一面に織り模様を描く、彩り豊かな花畑。柔らかな花穂が特徴のホルディウムを使って、光や風を感じられるラインを描き、その周りを色とりどりの馴染みある花々で彩り、季節感を演出しました。かえで橋側の大円は、光の起点としての浜名湖花博2024を表現しています。

浜名湖花博2024 記念庭園「汽水園」

世界で活躍する庭園デザイナー、石原和幸さんが監修した記念庭園。二つの風景を１つの庭に見立て、水路沿いのエリアでは、静岡県の象徴である富士山から湧き出た水が川に流れ、海に注ぐ風景を滝や池で表現し、広大な浜名湖の風景は、砂と石、草木を使い、湖に浮かぶ島や豊かな山々を枯山水で表現しました。



みどりの地球

石原和幸さん監修の作品。タマリュウやコケ類などの地被植物を使用し、花と緑に溢れる地球を表現しました。

借景庭園 紅葉（もみじ）の風景

石原和幸さん監修の作品。紅葉を中心に、様々な高さや形の植物を立体的に植え、借景を取り入れることで、豊かな風景を演出しました。小さな空間でも工夫次第で立体感ある緑を表現することができます。

ユニバーサルガーデン

植物は色や香りなどで人の五感を刺激し、心身にいやしや好影響をもたらします。ユニバーサルデザインを取り入れ「香りのエリア」「触れるエリア」「食のエリア」「色のエリア」「音のエリア」の5つのゾーンに分け、植物がもたらすセラピー効果が体感できるようにデザインしました。

ふれあい花壇

ふれあい花壇は、学校をはじめ、家族や企業・団体などのグループがオーナーになる花壇。今回の花博では、ガーデンデザイナーの統一感あるデザインをベースに、それぞれのオーナーが工夫を凝らしました。

新感性ローズガーデン × R（コラボローズ）

浜名湖ガーデンパーク花美の庭の匠・井村義人氏によるローズガーデンが出現。12のテーマで構成され、様々なバラと特色ある植物のコラボレーションが楽しめました。

ポタジェガーデン

バラや球根、宿根草などの草花とともに野菜も一緒に楽しめるガーデン。家庭菜園で活かせる庭作りのヒントも盛りだくさんでした。

フラワーガーデンコンテスト 浜名湖花博2024

日本全国から集まった26団体のガーデナーが、「心安らぐ水辺の風景」をテーマに、3部門で腕を競いました。A部門は受賞歴のあるプロによる４ガーデン、B部門はプロからセミプロのガーデナーによる12ガーデン、C部門は一般の花壇愛好家・学校関係者等による10ガーデン。個性豊かなガーデンができ上がりました。

A部門

グランプリ（「実行委員会会長賞」）

「五感で感じる水辺のヒーリングガーデン」
GARDENS（香川県高松市）

準グランプリ（「審査委員長賞」）

「A Garden For Living」
ニコラス レナハン（長野県諏訪市）

「garage garden」
garage（愛知県豊橋市）

「Canal Garden」
江崎 真吾 グリーンプラザみやま（岐阜県山県市）

B部門

グランプリ（「実行委員会会長賞」）／静岡県知事賞

「花陽の季（はなひかりのとき）」
天龍造園建設株式会社（静岡県浜松市）

準グランプリ（「審査委員長賞」）

「共に巡る~Together in Harmony~」
晴照造園（静岡県伊豆の国市）

園芸研究家 小黒晃特別賞／當間ローズ特別賞

「テムズ川を渡る風」
オープンガーデン豊橋（愛知県豊橋市）

植栽家 河合伸志特別賞

「笑顔になれる場所」
Rose Branch まーちゃんチーム（滋賀県米原市）

Garden Story 編集長特別賞

「Natural Harmony～爽やかな風～」
松田 恵（東京都調布市）

「さざなみ」
河合 佳江 多田 みゆき（兵庫県三田市）

「MANYOU2024 ～令和の万葉～」
ミルフィーユクラブ 今村 ゆかり(静岡県浜松市)

「浜松市に合うドライガーデン」
MAISAKA（静岡県浜松市）

「Borderless Border」
平間 淳子（東京都目黒区）

「夜明けの風景・浜名湖」
チーム 稲岡一乃（千葉県佐倉市）

「Natural harmony」
蓮の花 chisato's garden
原田 知里（静岡県静岡市）

「浜名湖の風」
小関 葉子（東京都府中市）

C部門

グランプリ（「実行委員会会長賞」）／静岡県知事賞

「浜辺のナチュラルガーデン」
広岡 千恵子（静岡県藤枝市）

準グランプリ（「審査委員長賞」）

「御前崎市制20周年!水辺に浮かぶ船に乗り未来に出発」
御前崎市花の会（静岡県御前崎市）

Garden Story 編集長特別賞

「水鳥達が飛び立つ川のある風景」
浜松モザイカルチャー普及協会（静岡県浜松市）

園芸研究家 小黒晃特別賞

「春うらら」
日本ハンギングバスケット協会静岡県西部（静岡県浜松市）

當間ローズ特別賞

「季節の訪れを水車小屋から届けます～ルンルン♥」
FOREVER（静岡県浜松市）

植栽家 河合伸志特別賞

「春色のボーダーガーデン」
わすれなぐさ（静岡県静岡市）

「大西洋の真珠」
静岡県立農林環境専門職大学短期大学部（静岡県磐田市）

「家康公も愛した遠江国、浜名湖」
長尾川の土手花の会
（グリーンバンク 生きがい創造花壇グループワーク）
（静岡県静岡市）

「小川の中のマーガレット畑」
静岡県立浜松湖北高等学校（静岡県浜松市）

「春の波濤」
静岡県立磐田農業高等学校（静岡県磐田市）

全国花のまちづくりコンクール受賞者記念花壇

「花あそび」
佐野 誉志照・恵美子

「海・空・緑 みんなが優しい牧之原」
静岡県牧之原市立萩間小学校

「天使の恋占い」
天浜線 人と時代をつなぐ 花のリレー・プロジェクト

母の日植栽花壇

国際庭園

国際庭園内の資材を再利用し、新たに枯山水の日本庭園「浜名湖石庭」を整備しました。台杉に囲まれた空間で休憩しながら、日中韓の庭園文化の違いを比較して楽しめるようにしました。

日本

日本

日本

ネパール

中国

韓国

林の中のプライベートガーデン

イタリア

インドネシア

ハンギング通り＆かえで橋ギャラリー

ハンギングバスケットの展示や、一般から募集した花緑に関する作品展示も行われました。

花ゆれる散歩道

2023年11月の県民参加型植栽（「球根ばらまき植え」「たねダンゴ」®づくり）で参加者の方に植えつけてもらったナチュラリスティックな花壇。光や風といった自然の心地よさを感じられるようにしました。

マーガレットガーデン #望郷のカナリア

マーガレットのふるさとは、カナリア諸島です。静岡県の伊豆地域はマーガレットの生産が盛んで、温暖な気候がカナリア諸島に似ていると言われています。

マーガレットガーデン #進化の系譜

静岡県農林技術研究所では、多様なマーガレット品種の育成を行ってきました。世界で初めてマーガレット以外の植物の交配で誕生した静岡県生まれのマーガレット類を展示しました。

市町出展花壇

静岡県内各市町の個性あふれる花壇の出展が行われました。

磐田市

袋井市

静岡市

藤枝市

牧之原市

吉田町

三島市

富士宮市

富士市

長泉町

小山町

下田市

各種花壇

団体等からの出展花壇です。

富士山静岡空港

2027年国際園芸博覧会

奇跡の白い花「あいりちゃん」の花壇

花装飾デザインコンクール

県内の幼児、小学生、中学生を対象に、花装飾の原図画を描くコンクールを実施しました。約200点の応募の中から優秀な作品を県内産の花きで再現しました。

小学生の部

中学生の部

幼児の部

花装飾デザインコンクール受賞者とFlorist gram.の方々

添景物

スズキキャリイ「農繁スペシャル」の花車（切花）

銘石（怪獣岩）

チェーンソーアート

スズキキャリイ「農繁スペシャル」の花車（鉢物）

大盆栽

印象派庭園「花美の庭」（花の美術館）

2004年に開催された浜名湖花博の際に造られた「花の美術館」。今回は、「Beautiful Harmony」をテーマに、植物の魅力を麗しく調和した、美しく品格のある情緒をカタチにしました。

花の都しずおかの花展示

「花の都しずおか」の生産者、市町、デザイナー、華道家等が総力を結集して「しずおかの花」の魅力をPR。
浜名湖花博2024 PR大使である當間ローズさんによる作品展も開催されました。

Immersive Museum HAMANAKO（イマーシブミュージアム浜名湖）

東京・大阪で開催され話題となった没入型デジタルアートミュージアムが東海エリアで初開催。鑑賞する絵画から、体感する絵画へ。音と映像とともに花咲く印象派の世界に没入する新感覚な体験を用意しました。

スマート農業体験

最先端のスマート農業技術を結集したトマト栽培温室の展示、農作業のVR体験など、子どもも楽しめる体験を用意しました。

デジタルコンテンツ

おともたび

浜名湖花博2024限定の特別音声ガイドで会場内見所の庭園・花壇を紹介しました。庭園デザイナーの話をスマホで聞きながら、新しい庭園の楽しみ方を提案しました。

いきものコレクションアプリ「BIOME」
～みんなでつくる！デジタル花マップ～

指定された植物を探すクエストを開催。クリアすると植物の種をプレゼントする企画を実施しました。

花博ナビ［協力：スズキ（株）］

スズキのアプリで移動を便利で快適に。見どころ・イベント・お食事処、浜名湖花博2024をより一層楽しむためのおすすめスポット情報が盛りだくさんのアプリを提供しました。スポットまでの道順や所要時間も案内しました。

企業展示コーナー

花緑とデジタルを取り入れた豊かな暮らしの提案をテーマに、市内外の企業団体による体験型展示を週ごとの８つのサブテーマに沿って行いました。

サングリーン青嶋

プチ・フルール

直香園芸

株式会社エフ・シー・シー

静岡県水産・海洋技術研究所浜名湖分場

Colorful Studio

株式会社アイエイアイ

株式会社クリエイトセイブ 風の家工房

ふじのくにアウトドア企業組合

株式会社YAMADA

静岡産業大学スポーツ科学部江間研究室

赤ちゃんと人形のお店 河田

ヤマハ株式会社

株式会社河合楽器製作所

ローランド株式会社

株式会社浜松ホトアグリ

株式会社杏林堂薬局

SHISEIDO

静岡県西部理容美容専門学校

西日本電信電話株式会社 静岡支店

静岡県ジュニアプロコン

静岡県工業技術研究所

（公財）浜松国際交流協会（HICE）
（独）国際協力機構 JICA浜松デスク

オイスカ浜松国際高等学校

デジタルミライ館

静岡文化芸術大学と静岡大学の学生コラボ企画の「デジタルミライ館」は、体験型作品があふれていました。普通の美術作品のように鑑賞するだけでなく、触れて聴いて、作品に入り込めるような仕掛けを施しました。

スマートモビリティ体験

スズキによる自動運転実証車両「のたね号」や自動運転パーソナルモビリティ「のたね号ミニ」による乗車体験が提供されました。また、来園者の移動用に電動車いす「セニアカー」と、電動アシストカートのコンセプトモデル「KUPO」の貸し出しも。車両には静岡文化芸術大学の学生がデザインした浜名湖花博2024のキャラクターのデカールを貼付しました。

自動運転実証車両「のたね号」

自動運転パーソナルモビリティ「のたね号ミニ」

電動車いす「セニアカー」

電動アシストカートのコンセプトモデル「KUPO」

屋外ステージイベント

全国屈指の音楽の都・浜松で開催する心躍る音楽イベントや、県内外からのパフォーマーによるステージイベントを開催しました。

沖縄県伊江村

浜名湖フォークトピア

ちんどんや浜松花蝶ちん

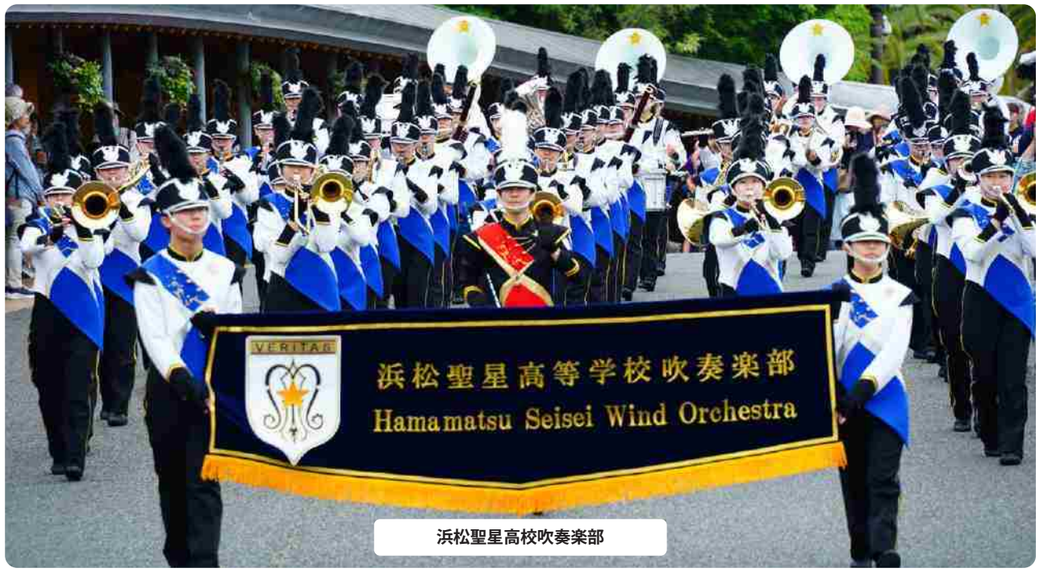
メローサウンズオーケストラ

Ram Maharjan

SPAC（静岡県舞台芸術センター）

河合楽器製作所

Bemy



浜松聖星高校吹奏楽部

桜丘高校吹奏楽部（豊橋）

川根本町赤石太鼓保存会

はまなこハミング

浜松市立高校吹奏楽部

体験教室

市町等PRブース

掛川市

磐田市

袋井市

湖西市

島田市

焼津市

藤枝市

牧之原市

吉田町

川根本町

三島市

富士宮市

沖縄県・伊江村

花博キッチン／食事処のたね・のたねデッキ／公式売店

花博キッチン

公式売店

フレンチレストラン ターブルブルー「LENRI」

浜松パワーフード学会がプロデュースした、花と食を楽しむフレンチレストラン。浜松パワーフードや花博にちなんだエディブルフラワーを使用した特別メニューを提供し、花を眺めながら、静岡県産食材を使用した極上の食を満喫できるようにしました。

ティーカフェ＆ガーデン（里の家）

静岡茶商工業協同組合渾身の静岡県内外産の60種のお茶を取りそろえ、花に囲まれた店内でいただけるカフェ。ローズガーデンに合わせ、ローズティーも用意。ポタジェガーデンを眺めながらのテラス席も設置しました。

花・園芸用品売店／農産物直売所等

花・園芸用品売店

農産物直売所

ペット用品売店

会場運営

北入場ゲート

南入場ゲート

北貸出所

南貸出所

総合案内所

南案内所

救護室

交通輸送

会場内駐車場

北ゲート

南ゲート

料金徴収

北駐車場

南駐車場

西Ａ駐車場

西Ｂ駐車場

芝生駐車場

団体バス駐車場

2輪駐車場

バスターミナル

臨時駐車場

シャトルバス乗降場

臨時駐車場

臨時駐車場

会場の様子

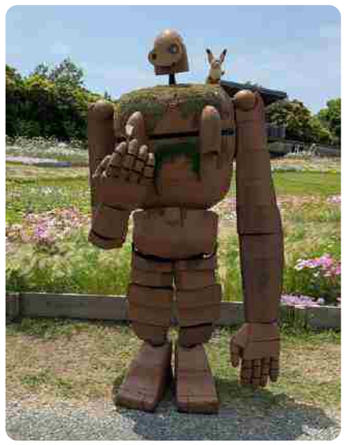
看板

遊覧船ガーデンクルーズ

水上ゲート

イベントシーンや会場を盛り上げてくれたマスコットキャラクターたち

各種イベント



平日花緑配布キャンペーン

平日の来場者への感謝をこめて4月22日以降の毎週初めの平日に、花苗などを配布するキャンペーンを実施しました。

SDGs 花緑配布キャンペーン

浜名湖ガーデンパーク最終日（６月２日）には、展示した花の苗や鉢花の配布、花壇の花の摘み取りのイベントを実施しました。

「温室マスクメロン」プレゼントキャンペーン

５月25日（土）、26日（日）、６月１日（土）、２日（日）には、静岡県産の「温室マスクメロン」を各日50名様に抽選でプレゼントするキャンペーンも実施しました。

スタッフ／ボランティア

運営等スタッフ

交通輸送スタッフ

ボランティア

浜名湖花博20 周年記念事業実行委員会（県部会）事務局

交通輸送班

花緑班

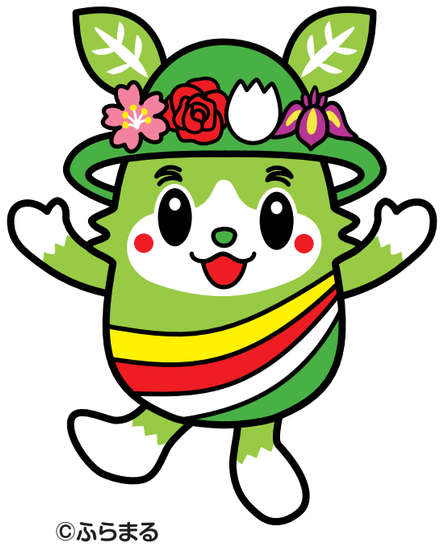
運営班

催事班

20th Anniversary
浜名湖花博2024
LAKE HAMANA HANAHAKU2024

はままつ フラワーパーク 会場

会場チケット



©ふらまる

浜名湖花博2024
はままつフラワーパーク会場

令和6年（2024年）3月23日㊏～6月16日㊐

動物園との往来について

浜名湖ゲート共通門　動物園共通門 を利用して両園の往来が可能です。「フラワー動物園セット券」のQRコードを共通門の機械にかざしてお通りください。
動物園定期利用券と年間パスポートをお持ちのお客様は、入園時に窓口でQRコードを付きチケットを発券しています。
※動物園は16:30閉園のため、16:00以降の往来はできません。

360度映像鑑賞スポット

園内10カ所に設けたボードの二次元コードを読み取ると、360度映像が楽しめます。花みどりを散策しながら、ポイントを探して体験してみてください。
❶水辺の広場の桜とチューリップ
❷スマイルガーデン　❸長フジ棚
❹日本庭園の白フジ　❺ホワイトガーデン
❻ローズガーデン　❼花菖蒲
❽大噴水　❾クリスタルパレス　❿梅

桜は種類によって開花が異なります。

早咲き桜　ソメイヨシノ　枝垂れ桜　八重桜

花みどりの移ろい

桜とチューリップ　スマイルガーデン　ホワイトガーデン

長フジ　白フジ　バラ　花菖蒲　アジサイ

《凡例》
- 総合案内所
- トイレ
- 多目的トイレ
- オストメイト対応
- おむつ替え台
- 授乳室
- 救護室
- AED救護室
- 休憩所
- フードエリア
- ショップ
- Wi-Fi
- 駐車場
- 駐輪場
- 事前精算機

桜とフジの夜間ライトアップ

フラワートレイン
メインエントランス始発で、園内停留所を1周約15分で運行します。車いす対応車両もございます。

運行コース
メインエントランス（始発）
▼
動物園正門 浜名湖ゲート
▼
動物園共通門 ハナショウブ園
▼
こども広場芝生公園
▼
メインエントランス（終点）

お子さんが迷子になった時は
総合案内所（正面ゲート）
お子さんとはぐれてしまったら、まずはお近くのスタッフにお声がけください。

急に具合が悪くなったら
救護室（花みどり館）
気分が悪くなったり、ケガをしたりした場合は、お近くのスタッフに声をお掛けください。また、園内4カ所にAED（自動体外式除細動器）を設置しています。

駐車料金の精算は
事前精算機（ゲート付近）
駐車場出口での精算は現金のみです。クレジット等、キャッシュレスをご利用の場合は、事前精算機をご利用ください。

再入場について
再入場はできません。

新ガーデン：ウェルカムガーデン

英国園芸研究家、ガーデン&プロダクトデザイナー・吉谷桂子さん監修。花博に合わせて新登場したウェルカムガーデンは、来場者を迎える玄関口としてふさわしい華やかなガーデンで、インスタ映えする撮影スポットにもなりました。

新ガーデン：フラワーフォレスト

英国園芸研究家、ガーデン&プロダクトデザイナー・吉谷桂子さん監修。花博2024開催を記念し、園内西側に生まれた新ガーデン。自然の植物の美にすっぽり包まれる没入体験型の庭が楽しまれました。

新ガーデン：はなのはら

浜松市出身のランドスケープ＆ガーデンデザイナー・小倉珠子さん監修。野原のように穂や花が風に揺れ、光に映えて輝くエリアが新たに誕生。宿根草や球根、和の草花が次々と移り変わる持続性の高いガーデンとして、楽しまれました。

桜とチューリップ

1,300本の桜と50万株のチューリップが織りなすはままつフラワーパーク自慢の風景。約500本のソメイヨシノや約200本のヤマザクラ、シダレザクラに続き、約130品種600本の八重桜が次々と見頃を迎えました。また、桜の見頃の時期には夜間ライトアップも行いました。

ホワイトガーデン

葉の形、質感など、様々な白い花が咲く植物で１枚の絵のように描かれたガーデンを実現しました。

虹のフジのトンネル

高台エリアにある150mに及ぶ藤棚でつくられたトンネル。藤棚は昭和白藤、本紅藤、海老茶藤、八重黒龍藤などから構成されています。4月25日（木）～5月5日（日）には、夜間ライトアップが行われました。

日本庭園／藤棚

全国的に藤の管理・指導も行うなど、藤のプロフェッショナルである、はままつフラワーパーク理事長・塚本こなみさんが手がけた藤棚。夜間にはライトアップも行われ、見応えのある九尺藤や昭和白藤などが来場者を楽しませました。

モザイカルチャー「森の仲間たち」

自然との共生をテーマに、ビオラなどの植物約75,800株を使った動物と昆虫たち。作品の一部になれるブランコ型ベンチは人気の撮影スポットになっていました。

ローズガーデン

バラの育種家、植栽プランナー・河合伸志さん監修のバラの世界。音楽の街らしく、音楽にちなんだ名のバラをたくさん収集すると共に、宿根草を混植することで花束のような庭を実現しました。

日本庭園／花菖蒲

日本庭園内にある4,750㎡のハナショウブ園では、オリジナル品種「浜名湖の光」を含め、約70万本の花菖蒲が咲き誇りました。

アジサイ並木／野生アジサイ園

約50種、3,000株の西洋アジサイが連続で咲く600m続く並木道や、ヤマアジサイやガクアジサイなど40品種500株が植えられている野生アジサイ園。6月の見頃の時期に多くの人で賑わいました。

スマイルガーデン

サクラとチューリップ、藤と宿根草の花々の競演。花壇の中を歩くと黄色〜橙〜赤〜黒〜白〜ピンクへの色彩のグラデーションを楽しむことができました。

三角花壇

西側大花壇

原種ツツジ園

噴水池

水鳥の池

こども広場

芝生広場

大温室クリスタルパレス

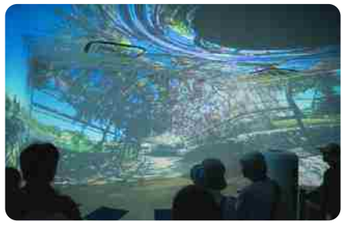
フラワーパークのシンボル・大温室。540種類、5,800本の植物が鑑賞できるほか、花博期間中はガーデンシアターで合唱やコンサートなどのイベントを開催する場所にもなりました。

ウォータースクリーン 大噴水ショー

3月23日(土)～4月6日(土)／4月25日(木)～5月5日(日)に、日本最大級のウォータースクリーンを使った「大噴水ショー」を実施しました。音楽にのって巨大なミツバチやカメ、キャラクターなどが次々と噴水上に現れる音と光と映像の演出を行い、「大噴水ショー」の前に同時開催した「光と音の夜間噴水ショー」では個性の異なる3曲に合わせ、光の色を変えながらダイナミックに踊る噴水と音とのコラボレーションを実施しました。

360度映像特設シアター

美しい花みどりに包まれる感覚を360度の映像から体験できる特設シアターを花みどり館２階に設置しました。また、特設シアターの外側に用意されたVRゴーグルを装着すると、よりリアルな映像の醍醐味と没入感を体感することができました。



主催・誘致イベント

人気アーティストや市民愛好家の方々による音楽ステージや花をテーマにしたトークショー、パフォーマンスを開催しました。

オープニングイベント　浜商OBOG吹奏楽団の演奏　令和6年3月23日（土）

桜月流美剱道　令和6年3月30日（土）

ザ・フラフェスティバル　令和6年3月31日（日）

吉谷桂子と寄せ植え体験　令和6年4月7日（日）

志穂美悦子&浜松開誠館「花生けパフォーマンス」by 浜松PCガーベラ　令和6年4月13日（土）

出張プロムナードコンサート　令和6年4月14日（日）

K-MIX「らじコン」公開生放送　令和6年4月20日（土）

秋川雅史＆鈴木豊乃 スペシャルコンサート　令和6年4月28日（日）

秋川雅史&塚本こなみ トークライブ　令和6年4月28日（日）

ERIKO～花のコンサート～　令和6年5月5日（日）

「氷工房にはし」のフローラルアイスパフォーマンス　令和6年5月6日（月・祝）

庄内学園創立10周年記念式典　令和6年5月18日（土）

キッチンカーフェスタ　令和6年5月18日（土）・19日（日）

オカリナフェス 花博スペシャル　令和6年5月25日（土）・26日（日）

ファイナルイベント　庄内地区煙火やらまい会手筒花火＆浜松市立北星中学校太鼓部の演奏　令和6年6月15日（土）

ファイナルイベント　浜松いわた信用金庫吹奏楽団の演奏　令和6年6月16日（日）

花みどりトーク

花みどりトーク＆ガーデン巡り　吉谷桂子の「イングリッシュガーデンの世界」　令和6年4月6日（土）

三上真史「花みどりトークショー」　令和6年4月21日（日）

花みどりトーク＆ガーデン巡り　塚本こなみの「藤の世界」　令和6年4月29日（月・祝）

花みどりトーク＆ガーデン巡り　河合伸志の「バラの世界」　令和6年5月11日（土）

花みどりトーク＆ガーデン巡り　小倉珠子の「サスティナブルガーデンの世界」　令和6年5月19日（日）

県民・市民参加イベント（体験教室）

フラワードームづくり
令和6年4月7日（日）

固まるフラワーハーバリウムづくり
令和6年4月29日（月・祝）

母の日スワッグづくり
令和6年5月12日（日）

アロマフラワーキャンドルづくり
令和6年5月25日（土）

初心者向け体験型「絵手紙教室」
令和6年6月2日（日）

©ふらまる

その他イベント

舘山寺ランタンプロジェクト × 浜名湖花博 2024 in はままつフラワーパーク　令和6年4月28日（日）・29日（月・祝）

サツキ展
令和6年5月24日（金）～26日（日）

サクラソウ展
令和6年4月13日（土）～21日（日）

入園者限定　浜松市動物園無料化
令和6年6月1日（土）～16日（日）

大道芸パフォーマンス

浜松市消防音楽隊　令和6年6月8日（土）

常葉大学「はままつフラワーパーク芸術祭」　令和6年6月9日（日）

企業・団体出展／利活用PR出展

企業・団体出展

利活用PR出展

県民・市民参加イベント（ステージイベント）

県民市民参加ステージ

コンテスト

コンテナガーデンコンテスト

グランプリ
「初夏の涼風」
只井桂子

浜松市長賞
「雨に唄えば」
早川恵美子

舘山寺温泉観光協会長賞
「想い」
加藤由美

塚本こなみ賞
「ナチュラルガーデン」
川村垚代美

河合伸志賞
「大人可愛いアンティーク」
杉山永子

Instagramフォトコンテスト

優秀賞

入　賞

感動フォトコンテスト

特選
「見上げてごらん夜の長藤を」
手塚光次

理事長賞
「初夏の日射し」
余吾国雄

準特選
「夏に向かってジャンプ!」
池島あゆみ

準特選
「光のファンタジア」
鈴木幸保

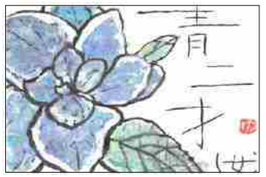
準特選
「おさんぽ」
河原崎郁

フラワーパーク賞
「5色のハーモニー」
小林勤

フラワーパーク賞
「染まる桜街道」
稲垣成憲

フラワーパーク賞
「虹を目指して」
小笠原敦

絵手紙コンテスト



はままつフラワーパーク
理事長賞
中村 有美香

はままつフラワーパーク
理事長賞
駒田 幸江

はままつフラワーパーク
理事長賞
ひさと ゆい

フラワーキッズ賞
「ふたりの秘密の花園」
渡邊理沙

入賞
北村 早築子

入賞
井手 涼賀

入賞
鈴木 三千代

入賞
川瀬 帆乃花

入賞
杉浦 愛子

交通輸送

会場駐車場

臨時駐車場

その他

三差路の交通整理

会場駐車場入り口

シャトルバス乗り場

会場全般

正面ゲート

浜名湖ゲート

レストラン

売店

花博限定スイーツ
エンジェルローズ～天使のバラ～

思いやりエレベーター

スロープカー

フラワートレイン

花みどり図書館

メインエントランス

その他

キッチンカー販売

市長PRキャラバン

オリジナル弁当「はままつ浜名湖 花べんとう」

経済波及効果アンケート調査

パークピアノ

クリスタルピアノ

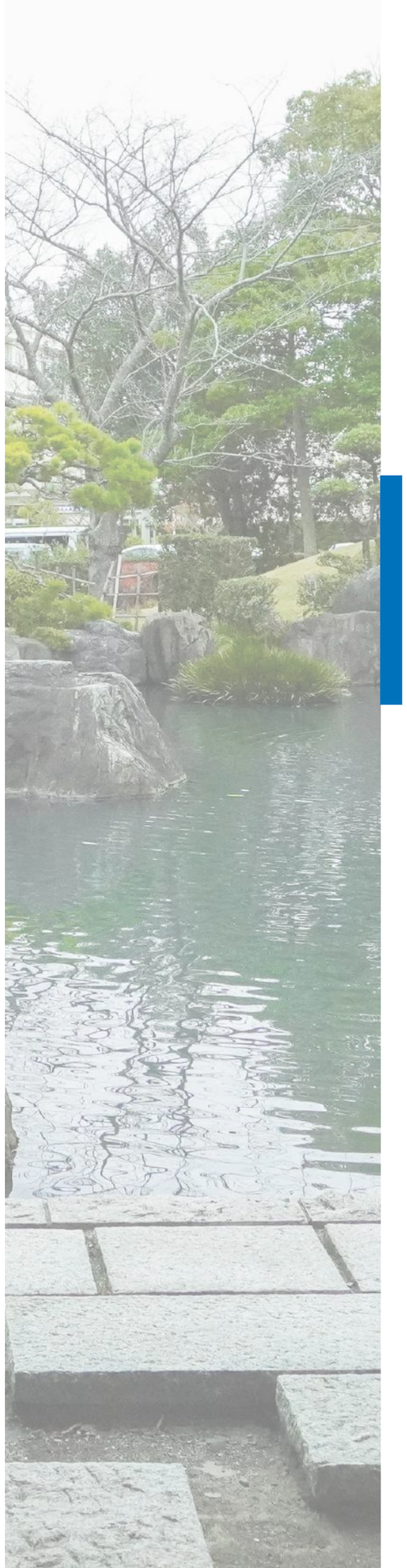
サウンドピアノ

夜間演出

来場者への菊プレゼント

ボランティア／運営スタッフ

©ふらまる



20th Anniversary
浜名湖花博2024
LAKE HAMANA HANAHAKU2024

湖西市会場

うなぽん

© 湖西市

舟運の実施

静岡県と連携し、花博特設駐車場となる浜名港、及び海湖館の２箇所の桟橋を活用し、この２箇所と花博ガーデンパーク会場を舟運ルートで結びました。
渋滞緩和に寄与するだけではなく、花博に来訪される方々に、舟運による非日常的な来訪ルートを提供し、浜名湖の魅力を感じていただきました。

中根金作庭園の公開

湖西市内にある、昭和の小堀遠州と称えられた造園家の中根金作氏及び中根庭園研究所が手掛けた日本庭園を絡めた周遊コースを設定し、中根庭園の素晴らしさが伝わる周遊ツアーを実施しました。
４月７日（日）は、湖西国際交流協会と湖西・新居観光協会が連携し、外国人向けの庭園ツアーを開催し約20名の方にご参加いただきました。４月20日（土）には、湖西市老人福祉センターの中根庭園の説明会とお茶会を絡めたイベントを開催し、約100名の方にご参加いただきました。

「緑花フェア」の開催

毎年春に開催される湖西市の春を告げる緑花フェアを、今年は浜名湖花博2024に合わせ海湖館で開催しました。浜名湖花博2024に負けない“湖西の花博”に約800名の方にご来場いただき、湖西市の花緑を感じていただきました。

「湖(うみ)の見えるMarche」の開催

4月27日(土)には湖西市ならではのマルシェ、「湖(うみ)の見えるMarche」を開催しました。当日は生憎の天候となってしまいましたが、湖西市の地場産品の販売の他、湖西市の観光情報の発信、モノづくりのまち“湖西市”らしく、市内事業所の技術力を感じることができるブースを出店し、約1,000名の方にご来場いただきました。

うなぽん花緑缶バッジラリーの実施

4月6日（土）～ 6月2日（日）の期間、湖西市内の春の花緑を巡る缶バッジラリーを実施しました。各スポットを巡り、湖西市の公式コミュニケーションキャラクターうなぽんと各スポットがコラボした缶バッジをもらえるイベントで152名の方にご参加いただきました。

内覧会

浜名湖ガーデンパーク会場　内覧会

はままつフラワーパーク会場　内覧会

PRイベント出展

春のプレイベント

ラッピングバスお披露目

前売券販売開始セレモニー

浜松花と緑の祭

カウントダウンボード点灯セレモニー

浜松やらまいか交流会2023

秋のプレイベント

2023 “よい仕事おこし” フェア

全国軽トラ市inはままつ

メディアFAM

イオンモール豊川でのPRイベント

イオンモール浜松志都呂でのPRイベント

広報宣伝

中日新聞 開幕時

中日新聞 開幕中

中日新聞 開幕中

カウントダウン企画

静岡新聞 開幕時

東愛知新聞 開幕時

セット入場券

ノベルティ

のぼり旗

フリーペーパー

記念切手

県民手帳

県民だより

広報はままつ

旅行パンフレット

カウントダウンボード（浜松駅）

キタラ看板（浜松駅北口）

ラッピングバス（遠鉄バス）

遠鉄ビジョン（遠鉄百貨店）

横断幕（はままつフラワーパーク）

横断幕（静岡銀行浜松営業部）

横断幕（グランシップ）

店頭サイネージ（杏林堂薬局）

懸垂幕（イオンモール浜松志都呂）

呉服町交差点ビジョン

大形看板（県庁本館前）

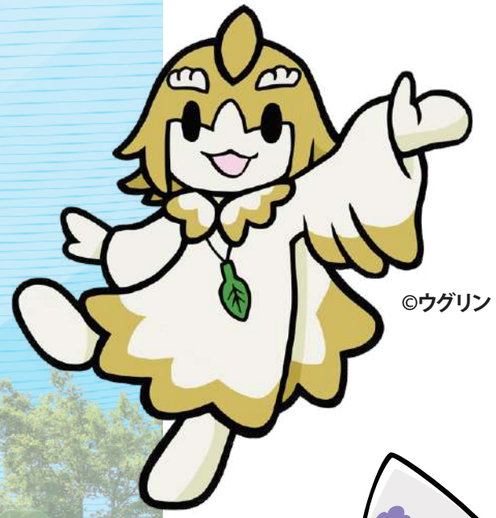
懸垂幕（遠鉄百貨店）

地下道ショーウィンドー（静岡駅）

地下道吊看板（静岡駅）

20th Anniversary
浜名湖花博2024
LAKE HAMANA HANAHAKU2024

資料編



©ウグリン

©てんてん

浜名湖花博 20 周年記念事業の概要

1　事業の実施背景と開催意義・趣旨

事業の実施背景

社会情勢の変化

○「デジタル田園都市国家構想」
　＝我が国のポストコロナ時代の国家戦略
　・新型コロナウイルス感染症との闘い
　・地球規模の環境問題への対応
　・人口減少と少子高齢化の進行
　・SDGs 実現に向けた取組の拡大

○浜名湖花博後の社会の状況変化
　・デジタル技術の飛躍的進歩
　・５Ｇ技術の時代

本県をとりまく環境

○ポストコロナ時代　本県の戦略
　・DX、次世代自動車開発、スマート農業
　・ガストロノミーツーリズム
　・ガーデンツーリズム

○県内花き産業の振興
　・ガーベラやバラをはじめとした全国有数の花き生産（2020 年 全国４位）
　・地域花壇・オープンガーデンの推進
　・花緑コンクールの開催

開催意義・趣旨

都市の活力と豊かな自然環境を併せ持つ浜名湖周辺地域において、2004 年に開催された「浜名湖花博」のレガシーを引き継ぐとともに、花緑に加えて、食と農、芸術文化などの暮らしを彩る要素を盛り込み、デジタル技術を取り入れることで、時代に合った新しい花博を開催

＜浜名湖周辺の地域資源＞

・美しい自然（浜名湖）
・豊かな食材
・歴史に培われた文化
・ゆとりある暮らし空間
・活力ある産業
⇒ 都市の活力、豊かな自然環境

×

＜花緑・時代に合った要素＞

・県産花きの PR、多種多様な花の展示
・花緑に触れる機会の提供
・県産食材を使用した食の提供
・スマートモビリティ、スマート農業
・没入体験型のデジタルアート
・GPS 連動の音声ガイドサービス

↓

新たな花博の開催

2　開催概要

（１）名称
　○正式名称　浜名湖花博 20 周年記念事業
　○通　　称　浜名湖花博 2024（ニーゼロニーヨン）

（２）テーマ
　「人・自然・テクノロジーの架け橋　～レイクハマナ　デジタル田園都市～」

（３）会場
　○浜名湖ガーデンパーク会場
　○はままつフラワーパーク会場

（４）開催期間
○浜名湖ガーデンパーク会場
令和６年４月６日（土）～ ６月２日（日）（58 日間） 9:30 ～ 17:00
○はままつフラワーパーク会場
令和６年３月 23 日（土）～ ６月 16 日（日）（86 日間） 9:00 ～ 17:00

（５）主催者
浜名湖花博 20 周年記念事業実行委員会

（６）目標入場者数
○浜名湖ガーデンパーク会場　50 万人から 55 万人
○はままつフラワーパーク会場　40 万人
計　90 万人から 95 万人

３　開催経過

令和４年度	７月４日	浜名湖花博 20 周年記念事業実行委員会 設立会議及び第１回総会開催 基本構想の策定
	10 月 19 日	浜名湖花博 20 周年記念事業実行委員会 第２回総会開催 基本計画の策定
令和５年度	４月 12 日	浜名湖花博 20 周年記念事業実行委員会 第３回総会開催 実施計画の策定
	９月１日	前売入場券販売開始
	１月 11 日	浜名湖花博 20 周年記念事業実行委員会 第４回総会開催
	３月 23 日	開会式　はままつフラワーパーク会場 開幕
令和６年度	４月６日	浜名湖ガーデンパーク会場 開幕
	６月２日	浜名湖ガーデンパーク会場 閉幕
	６月 16 日	閉会式　はままつフラワーパーク会場 閉幕
	９月 17 日	浜名湖花博 20 周年記念事業実行委員会 第５回総会開催

公式行事

本頁以降については、
浜名湖ガーデンパーク会場を「ＧＰ」、
はままつフラワーパーク会場を「ＦＰ」と記載する。

１　内覧会

３月 22 日（金）に、地元自治会、協賛企業、協力団体、マスコミ関係者等を招待して、ＦＰで内覧会を開催した。

同様に、４月５日（金）にはＧＰで内覧会を開催した。

２　開会式

３月 23 日（土）午前９時 30 分から、ＦＰの大温室クリスタルパレスにおいて、開会式を実施した。

式典では、川勝平太静岡県知事、中野祐介浜松市長、影山剛士湖西市長が主催者挨拶を行った。

引き続き、浜松商工会議所石黒衆副会頭が発起人挨拶を行い、戸田誠浜松市議会議長より祝辞を賜った。

その後、来賓、主催者によるテープカットで開会式を締めくくった。

開会式終了後には、浜商 OBOG 吹奏楽団が演奏を行った。

３　開幕式

４月６日（土）午前９時から、ＧＰの北入場ゲート前において、開幕式を実施した。

静岡県立浜松湖南高等学校吹奏楽部によるウェルカム演奏の後、川勝平太静岡県知事、中野祐介浜松市長、影山剛士湖西市長が主催者挨拶を行った。

続いて、中沢公彦静岡県議会議長、戸田誠浜松市議会議長より祝辞を賜った。

その後、来賓、主催者によるテープカットを行い開幕式を締めくくった。

開幕式終了後、浜松湖南高校吹奏楽部による祝賀演奏を屋外ステージで行った。

４　閉幕式

６月２日（日）午後３時 30 分から、ＧＰ屋外ステージにおいて、閉幕式を実施した。

式に先立ち、フラワーガーデンコンテスト受賞者への表彰式を行った。Ａ～Ｃ部門のグランプリ、準グランプリの他、県知事賞（Ｂ、Ｃ各部門県内参加者最高賞）や審査員特別賞が授与された。

閉幕式では、鈴木康友静岡県知事、中野祐介浜松市長、影山剛士湖西市長が主催者挨拶を行った。続いて、落合愼吾静岡県議会議長より祝辞を賜った。

引き続き、2004 年に開催されたしずおか国際園芸博覧会以降 20 年にわたり活動を継続しているボランティア 65 名に対し感謝状を贈呈し、大団円で閉幕した。

５　閉会式

６月 16 日（日）午後４時 15 分より、ＦＰ「ウェルカムガーデン」において閉会式を実施した。

中野祐介浜松市長、塚本こなみ公益財団法人浜松市花みどり振興財団理事長による挨拶に続き、ＦＰの会場ボランティアを中心とした記念写真の撮影を行った。

引き続き、ガーベラの生花を来場者へプレゼントし、最後に、ＦＰ正面ゲート付近にて、着ぐるみやボランティア、会場スタッフらで来園者をお見送りした。

花き展示

１ 屋外花き展示・出展の概要

（１）概要

浜名湖花博の開催から 20 年を迎えたＧＰで大型イベントを開催するにあたり、老朽化し、修復困難な建造物等を撤去するため、令和４年度から整備事業を開始した。一部庭園を浜名湖花博 2024 後も楽しめる常設庭園として新たに整備したほか、浜名湖花博 2024 期間限定の各種花壇、出展等で会場を彩った。

会場を彩った花は会期中、展示、出展、既存植栽による花を含めて概ね 100 万株に及んだ。

英国チェルシーフラワーショーにおける活躍で知られる石原和幸氏が監修した浜名湖花博 2024 記念庭園「汽水園」をはじめ、全国的に活躍する人気デザイナーの面々が、それぞれの個性を活かし、魅力あふれるデザインを施した庭園・花壇が新たに作られた。

また、出展として、県内市町や県内外の団体・個人に御参加いただいたほか、いくつかの主催者展示エリアにおいても、県内外から申込みされた一般の方々に、デザイン作成や植栽に御参加いただいた。

（２）各庭園・花壇等の名称及びデザイナー等

区　　分	名　　称	デザイナー・出展者　等
主催者展示	記念庭園「汽水園」	(株)石原和幸デザイン研究所 石原 和幸氏
主催者展示	借景庭園　紅葉の風景	(株)石原和幸デザイン研究所 石原 和幸氏
主催者展示	モニュメント　みどりの地球	(株)石原和幸デザイン研究所 石原 和幸氏
出展	大型盆栽展示	一十園
指定管理	ふれあい花壇	ふれあい花壇オーナー 講師：ひかるガーデンズ(有)　徳原 真人氏
主催者展示	花織り畑	ひかるガーデンズ有限会社 徳原 真人氏
主催者展示	浜名湖フラワーパレット	藤田 佐知子氏 講座参加者
主催者展示	フラワーフィルハーモニー交響花壇	ガーデンミュージアム花遊庭 天野 麻里絵氏 講座参加者
出展	市町花壇	県内 13 市町
主催者展示	花装飾デザインコンクール	花装飾デザインコンクール受賞者
出展	静岡空港開港 15 周年展示	富士山静岡空港利用促進協議会
主催者展示	スズキ軽トラック（農繁スペシャル）の花装飾	花咲くしずおかフラワーネットワーク会議 （Florist gram.） （車両提供　スズキ株式会社）
新設庭園	ユニバーサルガーデン	かたくり工房　阿部 容子氏
新設庭園	ポタジェガーデン	斉藤 よし江氏
主催者展示	ハンギング通り	(株)河野自然園　井上 まゆ美氏 アトリエレ・フィーユ 深井 尚子氏 日本ハンギングバスケット協会静岡県支部
主催者展示	デジタルミライ館花壇	花咲くしずおかフラワーネットワーク会議
主催者展示	マーガレットガーデン ＃進化の系譜	藤田 佐知子氏 （協力　静岡県農林技術研究所）
主催者展示	マーガレットガーデン ＃望郷のカナリア	(有)Green Pure Heart 葉音　井村 義人氏
主催者展示	フラワーガーデンコンテスト	フラワーガーデンコンテスト出場者
新設庭園	日本庭園	静岡文化芸術大学　副学長　寒竹 伸一氏
既存庭園改修等	中国庭園	高橋 さゆり氏
既存庭園改修等	韓国庭園	高橋 さゆり氏
既存庭園改修等	ネパール庭園	静岡県立農林環境専門職大学 学生サークル ナマステ・ネパールしずおか 花咲くしずおかフラワーネットワーク会議
既存庭園改修等	インドネシア庭園	高橋 さゆり氏 （協力　浜松インドネシア友好協会）
既存庭園改修等	林の中のプライベートガーデン	大須賀 由美子氏 (有)Green Pure Heart 葉音　土岐 智彦氏 ふじのくに花の都しずおか中遠地域推進協議会
既存庭園改修等	その他国際庭園	(有)Green Pure Heart 葉音 土岐 智彦氏ほか
出展	全国花のまちづくりコンクール受賞者出展花壇	佐野 惠美子氏、誉志照氏 天浜線　人と時代をつなぐ花のリレープロジェクト 牧之原市立萩間小学校
既存庭園改修等 （大規模改修）	百華園の杜　新感性ローズガーデン×R(コラボローズ)	(有)Green Pure Heart 葉音　井村 義人氏
主催者展示	花ゆれる散歩道	小杉 波留夫氏 GARDENER-詠-　平工 詠子氏 講座参加者
出展	竹の路のためのランドスケープハンギングバスケット	日本ハンギングバスケット協会愛知県支部
指定管理者	印象派庭園「花美の庭」	指定管理者

２　基盤整備・新設庭園の概要

（１）基盤整備

浜名湖花博 2024 開催に向け、令和４年度から令和５年度にかけて、老朽化した庭園等の撤去、改修を、県からの委託事業として実行委員会事務局で実施した。整備に際し、公園管理者等と協議を行ったほか、令和４年 10 月６日にＧＰボランティア向けの説明会を行い、会場の整備方針について説明するとともに、開催に向けた協力を依頼した。

ア　国際庭園

老朽化した各種庭園の撤去、改修を行い、フラワーガーデンコンテスト会場として再整備を行った。

撤去	サンタフェ跡、現代庭園跡、ウッドランドガーデン跡、庭園跡、サークルガーデン跡、里山ガーデン
改修	オーストラリア、韓国（塗装）、イタリア、オーストリア、眺めのいい部屋、人と自然のための庭、英国式庭園（塗装）

イ　ユニバーサルガーデン

再整備のため、既存花壇の撤去等を行った。

ウ　百華園

里の家周辺（枝の庭）をポタジェガーデンエリアとして再整備するため、既存花壇の撤去等を行った。

エ　花の美術館

敷地内北側の建物について、静岡文化芸術大学の寒竹副学長に監修いただき、緑を基調とした扉や窓枠等を、白を基調とした色で塗替え、イメージを新たにした。

（２）庭園の新設

ア　日本庭園 ～浜名湖石庭～　監修：静岡文化芸術大学　副学長　寒竹 伸一氏

静岡文化芸術大学の寒竹副学長にデザインを監修いただき、国際庭園エリアに枯山水の日本庭園を新設した。

設計段階から寒竹副学長と打ち合わせを重ね、施工時にも石の配置など、現場で指示をいただいた。

本庭園は、国際庭園内の別の場所で使用されていた石材を再利用しており、卍字に配置した腰掛けや枯山水の石柱など、庭園の印象的なパーツとして生まれ変わっている。

会期中は担当職員が枯山水の砂紋描き等、日々の管理を行った。

また、寒竹副学長には、日本庭園以外にも、花の美術館の建物の塗装（実行委員会発注）、のたね食堂の南側に新設したのたねデッキ（県浜松土木事務所発注）に係るデザインも監修いただいている。

庭園整備前	石材配置	台杉配置

イ　浜名湖花博 2024 記念庭園「汽水園」　監修：（株）石原和幸デザイン研究所　石原 和幸氏

世界的に活躍する庭園デザイナー、石原和幸氏監修の記念庭園を、屋外ステージ横に新設した。場所の決定は石原氏が現地で行っており、「水路沿いの立地を活かして、対岸や船上からも庭園を楽しんでいただける」といった理由からステージ横が選ばれた。本庭園は、静岡県の魅力ある風景をテーマとし、「富士山の湧水が海に注ぐ様子」と「浜名湖の眺望」という２つの風景を１つの庭で表現した。閉幕後は、維持管理が容易にできるよう、植物の植え替えや池の改修等を行った。

石原氏には記念庭園のほか、２種類のモニュメント、「みどりの地球」、「借景庭園 紅葉（もみじ）の風景」も監修いただき、北入場ゲート側のエントランスのフォトスポットとして設置した。

また、花緑の普及や、景観を生かしたまちづくりを行う人材を育成するため、令和５年５月に、公募を経て選ばれた静岡文化芸術大学の学生２名を石原和幸氏のチームメンバーとして英国チェルシーフラワーショーへ派遣した。派遣された学生は、フラワーフィルハーモニー交響花壇の植栽にも参加するなど、チェルシーフラワーショーでの経験を活かし、花博の会場づくりに携わった。

ウ　ユニバーサルガーデン　監修：かたくり工房　阿部 容子氏

20 年前にユニバーサルガーデンとして整備されたエリアを、誰もが五感でガーデンセラピーを体感できる場所として再整備した。「香り」「触れる」「食」「色」「音」の５つのエリアに分かれており、自宅の庭でも取り入れられるようなアイデアが詰まっている。本ガーデンは、「少しずつ譲り合って全員が快適に過ごせるようにする」というユニバーサルデザインのコンセプトに基づき設計されており、バリアフリーとは異なる。その象徴として、階段とスロープ両方の入口が用意されている。足腰が弱く、スロープがつらい人に向けて設置された階段は、車椅子を押して上がりやすい設計にもなっており、利用者が自身の状況に合った入口を選択することができる。実際、会期中には、車椅子を押して階段を上がる来園者の姿が見受けられた。

また、各所に解説パネルを設置し、「高さの異なるレイズドベッド花壇」や「芝生のベンチ」など、説明を読むことで設計のアイデアが伝わるような工夫を行った。特に、雑草取りの労力を低減させる、防草シートを活用した「ノンストレスガーデン工法」や、グランドカバープランツとして使用した「クラピア」が来園者の関心を集めていた。会期中は、阿部容子氏によるハンギングバスケット実演セミナーやガイドツアーを実施し、多くの来園者に御参加いただいた。

なお、花の生産、植え付け作業の一部は、湖西市にある浜名学園（障害者支援施設）の皆さんに御協力いただいた。

解説パネル	芝生のベンチ	雑草を抑えるクラピア

エ　ポタジェガーデン　監修：斉藤　よし江氏

里の家周辺をポタジェガーデンとして整備した。ポタジェとはフランス語で家庭菜園のことで、野菜やハーブなどの食べられる物と草花が一緒に植えられ、収穫と鑑賞が楽しめる庭を指す。

本ガーデンは、オープンガーデン「グリーンローズガーデン」のオーナーである斉藤よし江氏が監修し、香りの良いバラやハーブを多く用い、里山の暮らしをテーマに制作した。また、里の家を飾り棚の設置やスワッグ等の装飾によりポタジェガーデンと一帯的な空間に仕上げ、期間中お茶を提供するカフェとして活用した。

会期中は、斉藤よし江氏による、クリスマスローズを使ったワークショップを開催し、ワークショップ後は「ティーカフェ＆ガーデン」の和紅茶とお菓子をお楽しみいただいた。

ポタジェガーデン（里の家側）	里の家　スワッグ装飾	里の家 飾り棚

３　屋外花き展示修景の設計と実際の植栽

（１）基本計画・実施計画策定

令和４年７月に策定した基本構想に基づき、令和４年10月に基本計画、令和５年４月に実施計画を策定した。両計画は、プロポーザル審査により選定された、「有限会社 Green Pure Heart 葉音」（花の美術館管理者）が作成した案を元に策定している。

基本計画では、エリアごとのテーマに合った修景アイデア、県民参加型の植栽、フラワーガーデンコンテストの実施等、主軸となる方針を定めた。実施計画では、基本計画に基づき、修景デザインイメージをより具体化させ、植物維持・調達管理の実務スキームを定めた。また、県産花卉７割程度の使用を目標とした植栽施工の基本設計を行い、令和４年度中に早期発注が必要な植物については、先行してリストを作成し、発注を行った。植物維持管理に関しては、一定以上の管理レベルを維持できる体制の構築が必要であったが、実際には、イベント時のみの期間限定での委託となるため、優秀な人材の確保が難しく、一部は自主施工を取り入れて実施した。

（２）実施設計

実施設計は事務手続きの関係もあり、令和５年４月から策定の作業に入った。

通常の実施設計では、植物調達監理者と花壇デザイナーが使用植物についての調整を繰り返しながら進め、植物調達計画を確定する。一方で、種苗の調達や挿し木などの時期の都合もあり、生産や調達が難しい植物が発生したため、そのたびに使用植物の変更が生じ、それに伴って植栽デザインも変更となった。

今回の設計の中で良かった点としては、花壇ごとに詳細な植栽図面を作成するのではなく、花壇デザイナーが直接現場にて植物を配置したり、配植指示を出した点が挙げられる。10周年の際には、使用植物が変更になると、それに応じて配植パターン図などの書き直し作業が生じ、膨大な作業時間を要していたが、今回は植栽図面を簡略化したことでその作業時間が削られた。また、デザイナーが直接現場で指示したり、自身で植物を配置することにより、デザイナーのイメージに近い植栽が可能となった。

（３）各花壇

ア　花織り畑　監修：徳原真人氏

ネモフィラで例年人気を集めている花ひろばは、例年、花ひろばにおけるネモフィラは播種だが、今回はグラデーションを見せるため、播種ではなくセル苗による植栽を行うこととし、上部の花織り畑（第１工区植栽）と一体的に見えるデザインとした。

秋植栽では、セル苗植栽後の温湿度・風・霜などの環境圧に不安があり、防草シートによる霜対策や、トンネル掛けなども検討したが、結果としては、気候に大きな問題が生じることがなかったため、特段の対策を講じることなく、大きな損害も生じることがなかった。一方で、排水不良によるネモフィラの生育にムラが生じたため、会期中も含め、追加でネモフィラ苗を調達し、補植を２度実施した。

なお、２月頃の異常な気温の高さで、４月上旬にはネモフィラの見頃が終了してしまうことが危

惧されたが、３月下旬以降、気温が低かったせいもあり、４月当初から植え替えを実施する 21 日頃まで見頃が続いた。

初夏植替えは、GW 前までの短い期間で植え替えを完了させるため、閉園後に抜取り早朝に苗配置・植栽（植栽は開園時間中も実施）にて対応いただいた。なお、面積的に５つのエリアに分けて５日間かけて植え替えを実施した。初夏植栽においては、開花時期が異なる３種類のヒマワリを植栽する計画で、それぞれがリレーするように開花する予定となっていた。最も早いヒマワリ（サンリッチ）は、生産者による加温等の成長促進を行い、植栽時には花やつぼみが付いていた。背が高いヒマワリだったので、倒伏しやすい状況であったため、サンリッチを一部の区画のみにまとめて植栽するデザインに急きょ修正（植栽し直）した。その後、開花したスマイルラッシュやサンフィニティは大きな問題なく、閉幕までヒマワリが咲き続け、来園者に好評であった。

イ　ふれあい花壇　監修：徳原真人氏

ふれあい花壇は、浜名湖花博で造成され、以後 20 年にわたり県内のグループや企業等が参加して植栽・管理等を行ってきた花壇である。

今回はこうした取り組みを活かし、今後より一層発展するきっかけとするため、令和５年春に研修会を実施し、全体のレベルアップを図った。

会期中のふれあい花壇の維持管理は、原則として植栽維持管理ボランティアに対応を依頼した。また、除草や切り戻しといった簡単な作業を条件として、会期中にふれあい花壇オーナーがメンテナンスできる期間を一部設定し、希望者は作業を行った。

ウ　花ゆれる散歩道　監修：平工詠子氏、小杉波留夫氏

令和５年 11 月に南主園路を彩るために２つの県民参加型植栽イベント（球根ばらまき植え体験、たねダンゴ®づくり体験）を実施し、整備した。監修は平工詠子氏（球根ばらまき植え）と小杉波留夫氏（たねダンゴ®）。イベントには、公募による一般参加者をはじめ、近隣小学校の児童やブラジル人学校の生徒等、年齢や性別、国籍等を問わず、沢山の方々に参加いただいた。

球根ばらまき植え体験では、チューリップをはじめとした球根類に加え、アネモネの植え付けも行った。ナチュラルな景観づくりのために、園路沿いの目につく場所のみならず、木々の茂みの中にもばらまくように心掛け、まんべんなく植え付けを行った。既存の芝生に穴を空けて植え付けを行うため、多大な労力が必要であったが、植栽維持管理ボランティアらの協力もあり無事終えることができた。

たねダンゴ®づくり体験では、ネモフィラやヤグルマギク、リナリア等の種子を使用し、体験内で作ったたねダンゴ®約 1,000 個を植え付けた。

球根等が植わった芝生の中に来場者が入って写真撮影や休憩できるように、植え付けしていないエリアを作り、ロープピングし、机・椅子を設置した。

当初は花博開幕時に見頃を迎えるような想定であったが、暖冬の影響で球根類の開花が早く、３月中旬頃から見頃を迎え始めた。開幕時は満開ではなかったが、少し遅咲きのチューリップ類が咲き始め、来場者をお出迎えした。たねダンゴ®は想定したほど発芽・開花せず、少し物足りなかった。見頃を終えたチューリップ等の花がら摘みは植栽維持管理ボランティアに依頼し、景観維持に協力いただいた。

エ　フラワーフィルハーモニー交響花壇　監修：天野麻里絵氏

令和５年７月のデザイン講座を経て、同年 11 月に県民参加型植栽イベントを実施し、クスノキ並木の足下を彩る花壇を整備した。監修はガーデニングミュージアム花遊庭（愛知県豊田市）のヘッドガーデナー　天野麻里絵氏。計 36 区画の花壇は、縁に配置された共通のカラーリーフ等により全体の統一感を出しつつ、区画ごとのテーマカラーが異なるグラデーションの花壇を制作した。

会期中にも、第３回講座を実施し、過去の講座で植栽を行った同花壇の鑑賞会を行った。講座で知り合った仲間とこれまでの講座を振り返りつつ、花壇をゆっくりと愛でる充実した時間を過ごすことができた。

また当日の飛び込み参加も可能としたところ、一般の来場者 20 人程度に参加いただいた。

オ　浜名湖フラワーパレット花壇　監修：藤田佐知子氏

令和６年３月に開催した講習会で参加者が植栽を行い、既存樹木の足下のツリーサークルをガーデンとして活用した本花壇が完成した。監修は国営武蔵丘陵森林公園（埼玉県比企郡滑川町）のガーデナー　藤田佐知子氏。様々な色や葉の形の組み合わせ等、花壇づくりのテキストをそのまま再現したような、様々な趣向を凝らした作品となった。

広い通路に面しており、花のすぐ近くで写真を撮ることができるため、ベビーカーやワンちゃんとの撮影スポットとしても人気であった。

会期中には、藤田氏自らが解説を行うガーデンハイクツアーを開催した。参加いただいた方が、熱心に耳を傾ける姿が印象的だった。

カ　ハンギング通り　監修：井上まゆ美氏、深井尚子氏

令和６年３月にハンギングバスケット講習会を開催し、静岡県ハンギングバスケット協会静岡県支部会員の方々に計 15 基作っていただいた。講師は井上まゆ美氏。制作したハンギングバスケットはハンギング通りを華やかに彩った。

また、会期中の４月には、深井尚子氏を講師に迎え講習会を開催し、３月同様にハンギングバスケットを 15 基制作・展示した。

キ　百華園の杜　新感性ローズガーデン×R(コラボローズ）監修：井村義人氏

多彩な園芸品種とそれにまつわる歴史・文化を紹介する庭園として長年親しまれてきた「百華園」を、その特色ある地形を活かし、「ローズガーデン」として生まれ変わらせた。

「花美の庭」ヘッドガーデナー井村義人氏が監修したこのガーデンは、12 のテーマに沿って植えられた多種多様なバラと、特色ある植物とのコラボレーションが楽しめ、自然の中でありのままに根を張り、花を咲かせるバラの姿を再現する「生態展示」を実践した、まさに新感性のローズガーデンとなった。

12 のテーマは、林床、日本、無農薬、香、砂礫、早咲き、中国、ポタジェ、つる、新奇、海岸、否（いぬ）からなり、早咲きのエリアでは４月の中下旬から花を咲かせ、５月以降は各エリアでそれぞれ見ごろを迎えた。特に無農薬や香のエリアでは、多くの来園者が景観や香りを楽しむ様子がみられた。

ク　国際庭園　監修：大須賀由美子氏、高橋さゆり氏、土岐智彦氏
静岡県農林環境専門職大学、花咲くしずおかフラワーネットワーク会議ほか

浜名湖花博にて整備された各国の庭園のモチーフを生かして再整備したエリア。

デザイナーの大須賀由美子氏、高橋さゆり氏、土岐智彦氏が既存の建設物や構造物と調和する植物を用いて、各庭園をデザインした。このうち、「林の中のプライベートガーデン」は、大須賀氏が講師となって「ふじのくに花の都しずおか中遠地域協議会」による研修型植栽として整備した。また、インドネシア庭園は、もとのテイストを活かしながら、インドネシアを感じられる南国風の植物を約 6,000 株追加し、リニューアルした。なおこの庭園の整備・清掃には「浜松インドネシア友好協会」の県西部地域在住インドネシア人の方々にも御協力いただいた。

一方、ネパール庭園は、花壇のデザイン・植栽は静岡県農林環境専門職大学の有志が行った。「香りの記憶」というコンセプトで香る植物を取り入れ「見た目」と「香り」２つの感覚で楽しめる花壇を制作した。また、花咲くしずおかフラワーネットワーク会議がネパールの国花シャクヤク等を用いた色鮮やかな装飾で彩りを添えた。更に、「ナマステ・ネパールしずおか」はじめ多方面のネパール関係者の協力により、お釈迦様やガネーシャ像が展示された。

国際庭園エリア全体が、後述するフラワーガーデンコンテストの会場にもなっており、全国から集まったガーデナーによって特色ある花壇が計 26 箇所制作され、ＧＰの見どころの一つであった。

ケ　マーガレットガーデン

①　マーガレットガーデン　＃進化の系譜　監修：藤田佐知子氏

交配の組み合わせを示す展示など、テーマに沿って県産マーガレット類を植栽し、本県のマーガレット類の魅力や育種の歴史を紹介する花壇を制作。

寒さや天候不順の影響で４月中旬まではやや花が少なかったが、会期後半は株も大きくなり、最後まで見応えのある美しい花を咲かせ続けた。

②　マーガレットガーデン　＃望郷のカナリア　監修：井村義人氏

県産マーガレット類を主体に、マーガレットの故郷であるカナリア諸島原産の植物等を組み合わせ、ここにしかない特別な景色が広がるガーデンを制作。

前半は白色のマーガレット類、後半は濃いピンク色のマーガレット類を植栽し、前半と後半で雰囲気が一変した。５月上旬は１メートルを超すエキウムとのコラボレーションが来場者の目を釘付けにし、大人気のフォトスポットとなった。

（４）設計監理

修景花壇の設計監理は、花壇や納品植物などの現場状況を把握して、重要な変更内容を除いては、植物維持監理者に指示し、施工監理を任せることが通例となっているが、生産状況による調達植物や造成基盤の状況により、設計の変更や、デザインの修正等の対応が多く発生することが想定されたため、多く花壇デザイナーには現場に足を運んでいただき、植物配置や配植指示をいただく、現実的な対応が有効であった。また、花壇デザイナーの現場指示を待たなければ施工できない花壇もいくつか発生したが、施工業者側の柔軟な対応のおかげで、大きく遅延することなく植栽が完了した。

（５）植物監理

設計意図が反映された会場整備を実現するためには、設計された植物が生産、納品、現場施工まで的確にリレーされ、また、それらの過程やその後の維持管理までを一貫した植物知識のもとで監理することが重要になる。

花博では、次章の「植物調達」で記載のとおり、多彩な植物を時期を変えて植栽することに加え、調達される品目の生長度合いによる植栽の変更なども避けられない。

こうした変更事項の多い植物のリスト管理や生産者団体との調整は、基本的には実行委員会職員が実施したが、納品計画の立案やバックヤード（以下、「BY」という。）に納品された植物の維持管理、植栽業者へ引渡すための分荷作業、植栽後の余り苗や予備苗の管理、予備苗の有効利用の立案、植栽業者への植栽・維持管理、植物についての指導・助言、さらには、植栽された植物の情報発信などは、設計監理とともに各者に業務委託をし、植物の管理体制を構築した。

４　植物調達とバックヤード管理

（１）概要

日本を代表する有名デザイナー達が設計したＧＰの花壇は混色花壇が多く、必要となる植物は少量多品目となり、調達した植物の種類は 2,249 品種 382,565 株にも及んだ。

調達にあたっては、本県の花き生産振興につなげるため、県内生産者によって組織された浜名湖花博 20 周年記念事業生産者協議会を中心に調達した。

納品は秋・春・初夏の３期に分け、それぞれ納品前に中間検査を実施し、良質な苗を調達するとともにスムーズに納品ができるよう努めた。最終的には約 38 万株を調達し、そのうち、県内生産者が７割以上を納入した。

（２）植物生産・調達体制の構築

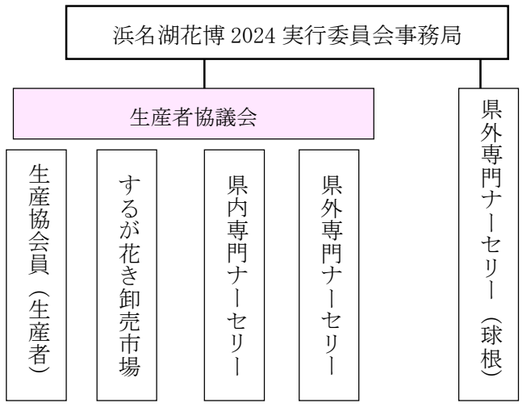
デザイナーの設計を基に作成された植物リストは少量多品目で、品種・規格・数量・納品時期等が細かく指定されており、一般流通しない特殊な規格や納品時期のものも多く、浜名湖花博 2024 のために特別に生産を依頼する必要があった。そこで、浜名湖花博 2024 で使用する植物を安定的に供給する体制を整備するため、生産力を持つ県内生産者を構成員とした「浜名湖花博 20 周年記念事業生産者協議会（会長：渡邉　隆司　31 名、事務局：㈱するが花き卸売市場。以下、「生産協」という。）を令和４年 12 月に設立し、生産協を中心に調達を進めた。

また、生産協の事務局は㈱するが花き卸売市場が担い、生産協会員では生産できない植物の調達やイレギュラー時の対応、集荷・配送ができる体制を整えた。

さらに、約２千品種 38 万株もの植物を県内生産者や市場だけで調達することは非常に困難であったため、県内外の専門ナーセリーに生産協のメンバーに加わってもらい、調達能力を高めた。

「新感性ローズガーデン×Ｒ」など使用する特殊なバラは手に一般的な調達方法では手に入らないものが多いため、設計者である㈲GreenPureHeart 葉音が中心となって調達した。

球根のまま花壇に植栽するチューリップは、必要な数量や十分に肥大した球根を確保するため、国内の球根生産者組合から調達した。



（３）植物生産・調達の調整

調達体制が整い、令和５年１月から速やかに植物生産・調達の調整を開始した。随時、生産協役員会を開催して受注者を調整していったが、実施設計の進捗や設計変更に伴って常時品目や数量の追加・修正等があり、植物リストの変更と同時並行で調達を進めていく必要があったため、調整は困難であった。一部の樹木類は生育期間が数年間に渡るため、開幕一年前では受注生産ができず、全国の生産者から既存の植物を集めざるを得なかった。

調達が難しい場合は、調達監理ディレクターが受注状況に合わせ設計者と調整して受注可能な植物に変更したり、生産協以外の県内生産者を訪問して協力依頼するなどして調達先を確保した。納品時のイレギュラーや急な調達については主に㈱するが花き卸売市場が手配した。

（４）検査および納品

納品は秋、春及び初夏の計３回行い、それぞれの納品時期の約１ヵ月前に、生産協役員、生産協事務局、植物検査員、農林事務所、実行委員会が連携して中間検査を実施した。まず書面により生産状況を確認する書面調査を行い、その後、地域ごと計３日ほどかけて現地巡回を行い、生育状況を確認するとともに、納品までの管理方法や仕立てについて指示を行った。検査後、納品までに十分な生育が見込めない植物については、調達監理ディレクターに報告するとともに、場合によっては設計変更や代替品の手配を行った。

納品にあたっては、植物調達監理ディレクターが施工業者や生産者の状況等と調整して納品計画を作成し、生産協事務局が集荷やトラックの手配を行った。納品場所はＧＰの園内及び BY 駐車場の一角に設置し、納品検査日の当日朝に持ち込まれた植物を生産協役員、生産協事務局、植物検査員、実行委員会の４者で検品した。台車交換による輸送としたため、トラックの搬入・搬出はスムーズであった。また、県外産は段ボール輸送も多く、その場合は納品検査日前日までに届くよう手配した。

納品検査では、数量、規格、生育状況及び根回りの状態等について確認し、欠品が発生した場合は代替品の手配や設計変更を迅速に行った。

（５）植物調達後の管理（バックヤード管理）

ア　バックヤード管理体制の構築

植物が納品されてから速やかに植栽が行われることが好ましいが、実際は施工業者の工程や、立ち会うデザイナーのスケジュールの兼ね合い、植物の欠品、生育不良等により植栽が行われるまでに期間を要することが多い。また、数多くの品種が納品されている植物の中から、限られた植栽期間で施工しなければならない業者が、正しい品種、数量を持ち出していくことは大変困難である。

そのため、植物が納品されてから施工業者に引き渡すまでBYにて植物を管理し、かつ適正な品種、数量を施工業者に引き渡すことを目的とした業務を外部に委託することにした。

BY管理のために必要な場所は、植物納品及び植物運搬の際に用いる運搬用台車が平坦な場所である方が取り回しやすいことから、アスファルト敷きの場所を用いることにした。また、秋・春植栽時には納品される植物が多かったこともあり、園内の一部もBYとして用いることにした。

イ　バックヤード管理の役割

業務委託者（以下、「BY管理者」という。）は、①植物納品時における荷下ろし場所の指定、②植物の仕分け、③かん水・花がら摘み・スペーシング等の管理、④施工業者への引渡しを実施した。

①　植物納品時における荷下ろし場所の指定

BY面積の適正活用及び円滑な植物管理のため、植物納品時においてBY管理者が荷下ろし場所を指定した。場所の指定については、BYをエリア名で区分けし、当日BY管理者の立会いのもと実施した。

②　植物の仕分け

今回、施工業者が２者おり、また施工業者以外の植栽（印象派庭園「花美の庭」、ふれあい花壇、県民参加型イベント用、添景物等の事務局実施分など）も多くあることから、持ち出す者ごとに植物を仕分けする必要があった。

仕分けにあたっては、施工業者（第１工区）、施工業者（第２工区）、その他の３種類の色付きプレート札を作成し、品種ごとに各者の数量を仕分け、そこにプレート札を挿していった。

③　かん水・花がら摘み・スペーシング等の管理

植物検品以降、施工業者等へ引き渡すまでの間、植物の適正な管理を行った。かん水は天候や気温を勘案しながら行い、花がら摘みについては、植栽時期や開花想定時期を考慮して実施した。植物の蒸れや地熱等による影響も鑑みて、スペーシングや、裏にしたトレイを下に置くなどの管理も行った。これらの管理は、別で委託した植物維持監理業務委託者と相談しながら実施した。

④　施工業者への引渡し

BYの植物の数量等を引渡しにあたっては、適正な品種・数量を引き渡す必要があることから、原則BY管理者の立会いのもと実施された。BY管理者は植物リストを元に引渡し監理リストを作成し、引き渡した植物の品種・数量を把握した。

（６）会場を賑わした主な花

ア　マーガレット類

本県で育成したマーガレット類の魅力を発信するため、“マーガレットガーデン”等のマーガレット類に特化した花壇を整備し、最新品種を含め静岡県育成の21品種約28,000株ものマーガレット類を調達した。株数が多く、ポット径や草丈を細かく指定する必要があることから、ほとんどを生産協会員が受注生産した。会場の各所に植栽された多種多様なマーガレット類は、鉢物としてだけではなく、花壇苗としての新たなマーガレットの可能性を感じさせた。

イ　バラ

今回の目玉の一つである「新感性ローズガーデン×Ｒ」を中心に415品種1,020株を植栽した。ローズガーデンでは12の空間にそれぞれ「香り」や「砂礫」などのテーマを設け、他では見られない特徴的なバラが庭園の形や性質に合うよう他の植物とともに展示され、前例のないローズガーデンが誕生し、会期後半の集客に大きく貢献した。

ウ　ネモフィラ

会場を代表する花織り畑を彩る重要な品目であるため、プラグ苗44,000株を生産協会員に受注生産してもらい、12月中旬に納品・植栽した。植栽後、寒さや強風により欠株になってしまった箇所については、ネモフィラのポット苗を追加発注して補植するなどして対応した。花織り畑のネモフィラは４月下旬近くまで見ごろを保ち、この「青い絨毯」を目的に多くの来場者が訪れた。

エ　ヒマワリ

花織り畑の初夏の植替え用として、５品種、約12,000株を調達した。株数が多く、納品時期や荷姿を細かく指定する必要があることから、生産協会員に依頼し、特別に受注生産してもらった。

特に多花性の「サンフィニティ」は、生産者も栽培経験がないことから、種苗会社の担当者と綿密に打合せを行うなど、確実に納品できるよう留意した。

ネモフィラからの植替えが始まる４月中旬以降、５品種がリレーで花を咲かせるよう設計し、「サンリッチシリーズ」の３品種は４月上中旬に満開を迎え、４月下旬からは矮性の「スマイルラッシュ」が咲き始め、５月末からは「サンフィニティ」が開花した。

会期後半の花織り畑ではヒマワリが咲き続ける景色を実現することができ、来場者は夏のイメージが強いヒマワリを春に楽しめることに驚きの声をあげていた。

オ　チューリップ

開幕時のメインとなるため、会場全体で119品種74,858球を植栽した。特に、「花ゆれる散歩道」には、県民参加型イベントにより、約30品種40,000球 を「球根ばらまき」により植栽した。

暖冬による影響が懸念されたが、４月中旬頃まで順次咲き続け、多くの来場者をを楽しませた。

【植物の調達先と主な内容】

調達先	時期	品種数	数量	主な植物
花博 20 周年記念事業生産者協議会	秋	1,029	167,912 株	ﾈﾓﾌｨﾗ、ﾊﾞﾗ、ﾋﾞｵﾗ、ｷﾝｷﾞｮｿｳ、ﾁｭｰﾘｯﾌﾟ、ｱﾈﾓﾈ、ｱﾘｳﾑ等
	春	481	69,122 株	ﾏｰｶﾞﾚｯﾄ類、ﾈﾓﾌｨﾗ、ﾘﾋﾞﾝｸﾞｽﾄﾝﾃﾞｰｼﾞｰ、ﾛｰﾀﾞﾝｾﾏﾑ、ﾕﾘ等
	初夏	341	94,252 株	ﾏｰｶﾞﾚｯﾄ類、ﾋﾏﾜﾘ、ｺｽﾓｽ、ｼﾞﾆｱ、ﾏﾘｰｺﾞｰﾙﾄﾞ、ｻﾙﾋﾞｱ等
富山県花卉球根農業協同組合	秋	98	48,290 球	チューリップ
静岡県鉢物生産振興会	初夏	8	2,240 株	ﾍﾟﾁｭﾆｱ、ﾏﾘｰｺﾞｰﾙﾄﾞ
㈲GreenPureHeart 葉音	早期	291	748 株	バラ
大協造園緑化㈱	春	1	1 株	ツバキ
合計		2,249	382,565 株	

5　植栽・維持管理

（１）花壇植栽等の実施体制の整備

造園工事については、東西水路の南北で工区を分け北側及び花織り畑上部を１工区、南側を２工区としてそれぞれ造園業者に発注した。

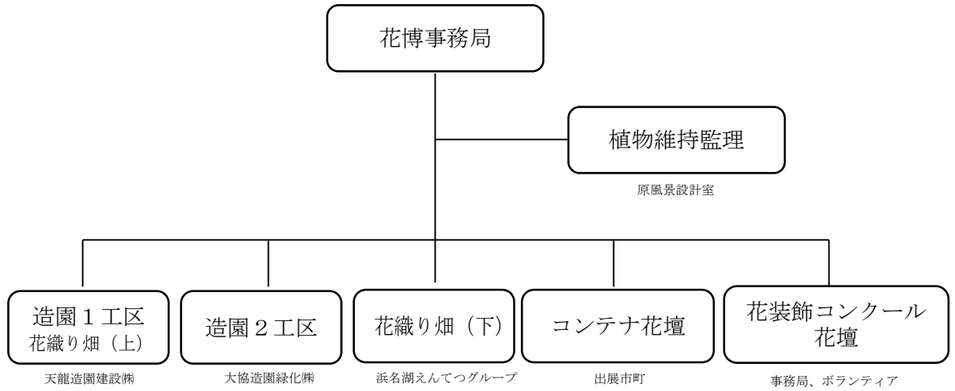
工事の内容としては、会期前の秋植栽から会期中の維持管理、会期後の原形復旧までを網羅するものとし、その工期は長期（10 ヶ月）に及んだ。

花織り畑（下部）については、指定管理者が例年植栽しているネモフィラ、ヒマワリを生かした内容であったことから、公園の指定管理者に委託を行った。

修景デザインを損なわず、会場全体の花を良い状態で維持するために、主たる設計者として携わり、デザイナーとの認識の共有を図ることに長けている設計者に植物の維持監理を委託した。

会場の賑わい創出のため、園内には平面花壇以外にも、コンテナ花壇や花装飾コンクール花壇、大盆栽、ハンギングバスケット等を配置した。コンテナについては、市町出展により各市町自らが植栽及び植え替えを行い、花装飾コンクール花壇については事務局及びボランティアにて配置、植え替えを行った。

＜花壇および修景物の実施体制＞



（２）花壇造成と植栽

ア　秋植栽

花壇の造成及び植栽は、基本的に秋に実施する計画で進めた。しかし、植物の生産・調達状況に応じて花壇設計の変更が多発したことや、施工内容について実行委員会と設計者の間で協議が長引いたことなどにより、造園工事の契約は 10 月となり、工事の準備期間が短い状況となったが、造園業者の作業班を増員してもらうことで 12 月下旬で秋植栽を完了することができた。その後は、一部の植物で防寒対策を実施し、植物は概ね良好に生育をした。

秋植栽用の植物は、納品検査の段階では、一部に数量違いや規格の不足、品質不良が見られたが、生産協の代替品目や追加調達の対応により、植栽図面の変更などの大きな問題が生じることはな

かった。

イ　春植栽

春植栽は秋植栽ほどの数量がなかったが、秋植栽を行った花壇への追加植栽のほか、花織り畑（上部）、マーガレットガーデンといった新規花壇への植栽があったため、一部では土壌改良などの基盤整備を行った。

花織り畑（上部）はそれまで芝であったため土壌改良が必要だと想定していたが、傾斜があり土壌流亡が懸念されることから、１月に試掘を行い、降雨による土壌流亡の様子を確認した上で土壌改良の程度を決定した。

植栽自体は、２月下旬から３月下旬の１ヶ月の間に実施された。

ウ　補植、初夏植栽

開園以降、日々の巡回の中で植物の生育が悪い箇所や枯れが生じた場所については補植もしくは植替えを行った。特に花織り畑（下部）のネモフィラは２度の補植を実施した。補植・植替えについては、植物維持監理業務委託者及び設計監理業務委託者と相談の上、植物の品種や数量を決定した。

初夏植栽については、フラワーパレット、インドネシア庭園、コンテスト花壇、花織り畑（上下）が主であった。フラワーパレットや花織り畑（上部）をはじめ、想定していたよりも植物が良好な状態で維持されていたため、きれいな状態で見られる植物はなるべく植替え時期を遅らせるよう工程を工夫し、４月中下旬から５月中旬までの間で初夏植栽を実施した。

（３）会期中の植栽・維持管理

ア　管理体制

各花壇等の維持管理は、それぞれの請負者が実施し、市町等のコンテナ花壇や花装飾デザインコンクール花壇、大盆栽の日々のかん水管理は１工区の受託業者が実施した。会期中の造園業者の作業員は早朝班と通常班の２班体制とし、早朝班は５時から 12 時までの勤務とした。早朝班のメリットとしては、会場内に車両が進入できる時間が長く取れることや、気温が高くなる日中を避けることで、作業の効率が非常によいことがあげられる。

また、一日当たり 20 名程度が参加した植栽維持管理ボランティアには、指定管理者のボランティア指導員のもと、マーガレットやペチュニアなど、花壇における花がら摘みや、花壇内やその周辺の除草などの作業を依頼した。会期の中盤以降からは花装飾デザインコンクール花壇のポットの入れ替えなども実施いただいた。また、ふれあい花壇の維持管理も植栽ボランティアに依頼したほか、除草や切り戻しといった作業を、会期中にふれあい花壇オーナーがメンテナンスできる期間を４月と５月に１週間ずつ設定した。

その他、石原和幸氏監修として製作された「みどりの地球」、「借景庭園　紅葉の風景」については、実行委員会職員が直営でかん水及び花がら摘みを実施した。

イ　植栽会議の実施

花壇等の植栽・維持管理を円滑に進めるため、会期中毎日午前 11 時半から植栽会議を実施した。①花がら摘み、除草、病虫害の発生等の状況報告、②造園業者による維持管理作業の内容および予定、③指定管理者による維持管理作業の内容および予定、④花みどりボランティアの作業の内容および予定生育状況、⑤実行委員会によるイベント内容および予定など、情報を共有するとともに、その対応方針を決定する場とした。

参加者は、主に、事務局屋外展示担当、造園工事請負業者及び指定管理者だった。植物維持監理業務受託者は都合により週に１回程度の参加になったが、毎朝の巡回後に造園工事請負業者に対して指示を出していたため、参加者には造園工事請負業者を通じて共有が行われた。

会議で出された維持管理上の問題点については、その日の午後もしくは翌日の早朝の作業内容に反映し、早期に解決を図った。特に、雨の後の花がら摘みや、会期後半の気温の高さを考慮した除草作業や枯れ下部撤去など、作業を先読みしながら対処していくことが求められた。

ウ　花壇周辺・芝生地・落ち葉清掃等

花壇周辺や既存芝生地等の管理については、公園の指定管理者が通常行っている業務の一環として対応を依頼した。

ただし、作業の内容については、植物維持監理者による巡回の中で挙げられた作業内容のうち、植栽会議の中で各者相談のうえ優先順位を決めて作業してもらうことが多かった。

４月はクスノキ、竹など、５月はマツ、スギなどの落葉が雨上がりや強風の日に多く発生し、落ち葉清掃は運営の清掃業務に入っていなかったが、前日の降雨によりかん水作業が必要ない日が多かったこともあり、主に造園業者により対応いただいた。

（４）会期後の原形復旧

会期後の原形復旧にあたっては、指定管理者と協議の上、そのまま存置する花壇と芝生等に復旧する花壇の仕分けを行った。復旧については、事務局が実施するものと指定管理者が実施するものと区分し、事務局が実施するものについては６月末までに終了した。なお、指定管理者が実施するもののうち、芝生等に原形復旧する花壇にある宿根草等については、存置する花壇への移植など有効活用を図った。

６　協働による会場づくり（県民参加型植栽）

会場であるＧＰは浜名湖花博以後、県民参加により維持管理され、多くの来場者に親しまれてきた。

この財産を発展させ、更に次代へ引き継ぐため、浜名湖花博 2024 においては、令和５年春の段階から、多くの県民の皆様に御参加いただき、会場づくりを進めた。

（１）ふれあい花壇

＜参加者＞ふれあい花壇オーナー

＜講　師＞徳原　真人氏

ふれあい花壇は、2004 年の浜名湖花博当時から、県内の地域グループや企業等約 50 団体が各小区画花壇をオーナーとして管理している。

木々に囲まれた高低差のある空間が特徴で、各花壇を形作る壁の素材等が異なる５つのエリア（白練、茜、瑠璃、琥珀、萌黄）に分かれている。

令和５年６月、2004 年の浜名湖花博でふれあい花壇をデザインした徳原真人氏を講師に迎え、オーナーを対象とする研修会を実施した。各エリア毎に異なる宿根草（KEY 植物）を用いて、それらの特徴を活かしたデザインや植栽方法について学んだ。

そして令和５年秋、研修で学んだことを活かして各花壇に植栽した。

こうした取組により、個々の花壇のレベルアップが図られるとともに、エリア全体としても調和のとれた景観を形成することができた。

（２）花ゆれる散歩道

＜参加者＞幼児～大人の一般県民（公募）

小学校・外国人学校生徒

浜松インドネシア友好協会

＜講　師＞（球根ばらまき）平工　詠子氏

（たねダンゴ®）　小杉　波留夫氏

南主園路を、賑やかで癒やしを感じられる散歩道にするために、令和５年 11 月に２つの県民参加型植栽イベントを実施した。

球根ばらまき植え体験には、公募による一般参加者はじめ、村櫛小学校の児童や県内在住のインドネシア人等、様々な方々に参加いただき、初春のＧＰを彩った。本体験の講師には、３分割したそれぞれのエリアで使用する球根の品種を調整いただき、エリアごとの色の雰囲気と楽しめる時期を工夫いただいた。

たねダンゴ®づくり体験にも、一般参加者に加え、ムンド・デ・アレグリア（ブラジル人学校）の生徒にも参加いただき、非常に賑やかな体験となった。

南主園路は花博会期中は心地よい散歩道として、来場者に沢山の癒やしをもたらした。咲き終わった花の花がら摘みは植栽ボランティアに行っていただき、景観維持に努めた。

（３）フラワーフィルハーモニー交響花壇

＜参加者＞一般県民（公募）、チェルシーフラワーショー派遣静岡文化芸術大学生

＜講　師＞天野　麻里絵氏

既存のクスノキ並木花壇を花博限定で「フラワーフィルハーモニー交響花壇」としてリニューアルした。令和５年７月に花壇デザインを学ぶ研修会を開催し、11 月に講師の添削を受けた参加者のデザインを基に植栽した。会期中の令和６年４月には３回目の講座として講師との鑑賞会を開催した。植物の色や高さ、配置を工夫し、全体の統一感を保ちつつ、少しずつ景色が移り変わる花壇が完成した。

（４）浜名湖フラワーパレット

＜参加者＞一般県民（公募）

＜講　師＞藤田　佐知子氏

既存樹木の足下のツリーサークルをガーデンとして活用した本花壇は、今回の花博オリジナルの花壇である。ガーデンデザインに関する座学と植栽を１日で体験することができる講習会を令和６年３月に開催。講師のデザインに基づき、講座参加者が植栽を行った。色彩デザインの理論を実地で見事に実現させた、丁寧に計算されつくした花壇は、来場者を魅了し、フォトスポットとして人気を博した。

（５）ユニバーサルガーデン

＜参加者＞浜名学園組合　障害者支援施設 浜名学園

日本ハンギングバスケット協会静岡県支部

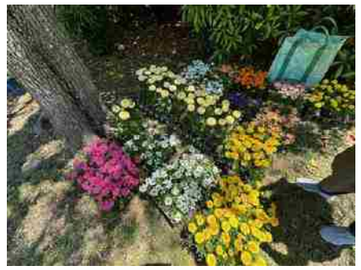
社会福祉法人昴会 大山ファーム（就労継続支援Ｂ型施設）

＜講　師＞阿部　容子氏

湖西市にある障害者支援施設浜名学園の皆さんに、ユニバーサルガーデンに植える花苗の生産及び植栽について御協力いただいた。アリッサムやバーベナなど合計 800 ポット以上の苗を納品いただき、12 月と５月にデザイナーの阿部容子氏と一緒に植栽を行った。

また、日本ハンギングバスケット協会静岡県支部には、ガーデン内に飾るハンギングバスケットを講師と共に作成いただいた。

会期中は社会福祉法人昴会 大山ファームの利用者の方々に庭園管理の一部を依頼した。

浜名学園　花苗	浜名学園　植栽の様子
	

（６）インドネシア庭園

＜参加者＞浜松インドネシア友好協会

「浜松インドネシア友好協会」の在住インドネシア人の方々の協力によりインドネシア庭園の整備・清掃が行われ 20 年前に設置した石像に付着した積年の汚れも除去された。また在住インドネシア人の方々のリクエストに応じ、ジャスミンなどインドネシアでなじみのある植物を植栽した。

（７）ネパール庭園

＜参加者＞社会福祉法人昴会 大山ファーム（就労継続支援Ｂ型施設）

ナマステ・ネパールしずおか

静岡県農林環境専門職大学　学生サークル

花咲くしずおかフラワーネットワーク会議

ネパール庭園は 20 年前の花博の際にネパールから調達した材料を用いて現地と同様の施工法で建築され、老朽化が進んでいるものの 20 年とほぼ変わらない姿を維持している。しかし、地面や壁面のレンガには積年の汚れが付着しており、入りづらい雰囲気であったため、社会福祉法人昴会大山ファーム（就労継続支援Ｂ型施設）に清掃をしてもらい、見違えるほど美しくなった。

そして、県内在住のネパール人の団体「ナマステ・ネパールしずおか」はじめとする多方面からの協力により、お釈迦様の仏像やガネーシャ、ネパール国旗等が展示された。

花壇のデザインと植栽は静岡県農林環境専門職大学の学生有志が行い、「香りの記憶」というコンセプトで香料となる植物を取り入れ、「見た目」と「香り」２つの感覚で楽しめる庭園になった。加えて、花咲くしずおかフラワーネットワーク会議及び事務局直営でシャクナゲやマリーゴールドといったネパールで馴染みのある植物を多数植栽したことで、ネパールらしさを感じられる華やかな庭園に生まれ変わり、期間中多くの来場者が訪れる人気庭園となった。

（８）林の中のプライベートガーデン

＜参加者＞ふじのくに花の都しずおか中遠地域協議会

＜講　師＞大須賀由美子氏

大須賀由美子氏が監修した国際庭園内のガーデンでは、「ふじのくに花の都しずおか中遠地域協議会」が 12 月に花壇作り研修を行い、約 20 人が大須賀氏の指導のもと植栽を行った。

7　花緑イベント・会場装飾・おもてなし

（１）スポーツチームとの協働　(2023.12.17)

県民参加型植栽イベントの一環として、県西部地域に拠点を置くスポーツチームの選手・スタッフ・サポーターらが花織り畑のネモフィラを植え付けた。

浜名湖花博 2024 開幕約４ヶ月前の 12 月 17 日、女子サッカーなでしこリーグ１部の静岡 SSU ボニータや、バレーボールＶリーグ女子２部のブレス浜松の選手ら約 20 人が参加し、約 200 ㎡の花壇に約 4,000 株のネモフィラのプラグ苗を植栽した。冷たい強風が吹き非常に寒い日であったが、参加者たちは和気藹々とした雰囲気で作業し、「ネモフィラがどんな風に育つかワクワクする」と、ネモフィラの見頃を待ち望んでいた。

ネモフィラ苗の植栽

植栽後の記念写真

（２）チューリップ花摘み体験　(2024.4.8)

開幕早々の４月８日、チューリップが満開に咲き誇る中、“球根ばらまき”の監修者平工詠子氏による参加型イベント（チューリップ花摘み体験）を花ゆれる散歩道で開催した。

チューリップの開花に合わせて急遽企画したイベントであったが、監修者による生の説明が聞けるとあって、今にも雨が降り出しそうな天候の中、多数の来場者が参加し、講師の説明を熱心に聞き入った。

チューリップ
花摘み体験の様子

（３）花キューピットの日記念　87 歳記念おはなプレゼント（2024.4.13）

87 歳の女性

４月 13 日の花キューピットの日に合わせ、4 月 13 日現在 87（はな）歳である来場者にトルコギキョウやカーネーション等の県産花きでつくった花束をプレゼントした。

娘さんと来場されたという 87 歳の女性は、娘さんと共に非常に喜んでいらした。

（４）ユニバーサルガーデン（2024.4.15 ほか）

ユニバーサルガーデン監修者である阿部容子氏を講師に招き、参加型イベントを実施した。

ア　ハンギングバスケット実演セミナー（2024.4.15）

・ハンギングバスケット協会静岡県支部の協力を得ながら、コンパニオンプランツを使った実演セミナーを行った。

・壁掛型・吊り下げ型のハンギングバスケットの制作を実演したほか、ネットを使ったつる植物の見せ方を紹介し、多くの来園者が参加した。

イ　ユニバーサルガーデンガイドツアー（2024.5.19）

・阿部容子氏の説明を聞きながら、ゆったりとガーデンを鑑賞するガイドツアーを開催した。

・当日の午前中は「園芸福祉シンポジウム」が屋外ステージで開催され、阿部氏もパネリストとして登壇した。午後のツアーには、シンポジウム参加者のほか、園内放送を聞いて立ち寄った来園者など、常時 50 名近くが参加した。

ハンギングバスケット実演セミナー

ユニバーサルガーデンガイドツアー

（５）ガーベラの日　（2024.4.18）

４月 18 日のガーベラの日に合わせ、静岡県が全国１位のガーベラ生産県であることを PR するため、会場内の各トイレをガーベラの花で装飾した。装飾にあたっては、静岡県農林技術研究所で開発したメンテナンスフリーゼリーを活用し、植栽維持管理ボランティアがミニ飾りを作成した。

（６）印象派庭園 花美の庭（通期）

花美の庭は、絵画の中に入り込んだような「日本最高峰の印象派庭園」として生きた芸術作品として展開している。会期中は、花と美を満喫できるテーマ施設として、以下を基本に運営した。

・印象派技法によってデザインされた庭をわかりやすく伝えること

・花と芸術文化（美術・音楽など）が共鳴し合う時空間の創造すること

・各種芸術家（アートサークル会員）との協働による活動を行うこと

ア　花美の庭ホスピタリティ day（2024.5.25～31、6.2）

花美の庭来園者を「おもてなし」する日として、キャストによる花景色や植物の説明、写真撮影などを積極的に行った。また花美の庭にまつわる紙芝居や花美の庭アートサークル会員による演出も来園者を楽しませた。

イ　ドライストーンウォーリング・デモンストレーション（2024.4.20）

花博のために花美の庭内にフレンチトラディショナル六角ベンチが新設されたことを記念し、英国式石積みを学ぶことができるデモンストレーションを開催した。

伝統的な石積みの保存や次世代への技術継承等の活動を行っている「Dry Stone Walling Association of Japan」のメンバーが講師を務め、モルタル等を一切使わず、ストーンの形を調整しながら積むだけで完成した構造物とその技法に多くの来場者が驚いていた。

ドライストーンウォーリング・デモンストレーション

ウ　「バラの大アーチ」の通り抜け（2024.4.27～6.2）

４月 27 日～６月２日の 37 日間、通常は進入禁止としている「バラの大アーチ」の園路規制を解除し、来場者が美しいバラのアーチを近くで堪能できるようにした。

エ　レイトオープンアーリークローズ（通期）

庭園管理の観点から、花美の庭は原則として「10 時開門・16 時 30 分閉門」とした。

毎日開門前から多くの来場者が入口に並ぶ状況となったため、開門 15 分前からスタッフが花美の庭の解説や見頃の花、催事などの話をし、開園時にはスタッフ全員でお出迎えをするようにした。

オ　動線誘導

人気施設であることに加え、園路幅が十分でないことから、入退場口を分け、一方通行を設けるなどして、見頃のスポットが変わる中で強制動線を臨機応変に設定した。また運営本部との連携を心がけ、入口付近では警備員による動線誘導や入場制限を行い、効率的な観覧動線の確保に努めた。

（７）チェーンソーアート実演イベント（2024.4.21）

４月 21 日、森林組合連合会に協力のもと、オーストリア庭園内でチェーンソーアート実演イベントを実施した。県内在住のチェーンソーアーティスト宮澤五郎氏がチェーンソーを使って丸太から「のたねファミリー」７体を制作し、作品はオーストリア庭園内に展示され、子どもを中心に人気スポットとなった。会期後半は花織り畑に場所を移し、ヒマワリ畑の中の「のたねファミリー」が会場を盛り上げた。

（８）ヒマワリの装飾及びプレゼント（2024.4.22 ほか）

強風等の影響により植栽が困難となったヒマワリ苗について、花織り畑の一角に集めて展示し、フォトスポットを制作した。

また、一部のヒマワリは切花に仕立て直し、公式売店の購入者やアンケート回答者等へプレゼントした。なお、プレゼントの作成や配布にあたっては、植物維持管理ボランティアに協力いただいた。

公式売店配布のヒマワリ

アンケート回答者へのヒマワリ配布

ヒマワリのフォトスポット

（９）ポタジェガーデン(2024.4.24～25)

ポタジェガーデンの監修者、斉藤よし江氏による参加型イベントを実施した。

～ワークショップ「クリスマスローズで遊ぼう」～

クリスマスローズを使ってブーケを作り、ブーケ作りが終わった後は斉藤氏の話を聞きながら､「ティーカフェ＆ガーデン」が提供するローズの和紅茶とお菓子を楽しんだ。

有料イベントだったが、監修者の話を直接聞くことができる貴重な機会であり、500 円でブーケ作りができるというリーズナブルなワークショップであったため、両日とも定員 15 名を超える参加者が集まった。

ポタジェガーデンワークショップ

(10) 協賛企業による花織り畑前における PR（2024.4.25）

ア　株式会社東海化成

会場装飾にあたり、一部で東海化成製の生分解性ポリポットを使用したこと、環境に優しいポットの特徴等を来場者に説明した。

イ　株式会社ＴＦ－ＭＥＴＡＬ

工場から排出される廃棄物を再利用して作った環境に優しいリン酸肥料を来場者に配布するとともに、会社の取組を PR した。

(11) フラワーガーデンコンテスト(通期)

コンテスト出場者が自身のガーデンを紹介するツアーやサロンを随時開催した。

ア　ガーデンツアー（2024.4.20～21）

後述のガーデンマーケットの一環で、コンテストＡ部門およびＢ部門の出場者９組が自身の制作したガーデンを紹介するガーデンツアーを開催した。

参加費 1,000 円の有料イベントであったが、定員 20 名に対し参加希望者は 40 人以上となるほど盛況であった。ツアーではガーデンの制作秘話や使用植物の紹介があり、参加者も大変満足していた。

イ　ガーデンサロン（2024.5.11）

Ａ部門出場者であるニコラス・レナハン氏によるガーデンサロンを開催した。自身のガーデン内で、お茶をしながら花や庭、自然に関して参加者と語り合った。参加費 500 円の有料イベントであったが、定員 15 人に対して申し込みが殺到し、満員御礼であった。

ガーデンツアー

ガーデンサロン

(12) 百華園の杜　新感性ローズガーデン「×Ｒ」(通期)

会場内の装飾として、「浜松科学館みらいーら」全面監修のもと、バラのアーチを改造した天然プラネタリウム「星空のタイムトンネル」を制作した。

（協賛：オレゴン産業株式会社）

タイムトンネルは、過去から現在、未来への時の流れを象徴し、トンネル内では、天然の太陽光で表現した星空が広がり、幻想的な空間が来場者の目を楽しませた。

また、百華園内のバラ管理に携わった、佐倉草ぶえの丘バラ園（千葉県佐倉市）の稲岡一乃氏によるガーデナーズサロンを開催した。バラの解説に加えて、お茶をしながら語り合える貴重な機会とあって、大変好評なイベントであった。

星空のタイムトンネル

ガーデナーズサロン

(13) ガーデンハイクツアー（通期）

園内の花の見どころをガイド付きで巡る「ガーデンハイクツアー」を会期中に約 50 回実施した。主に花博全体の花修景計画を策定した葉音の佐原宏康氏がガイドを務め、タイミングがあえば会場修景に携わったデザイナーがガイドすることあった。

実施の告知は公式 HP のみであったが、実施直前の呼び込みもあり、1 回あたり平均 20 人程度の来場者が参加した。周回ルートは参加者からの要望等に応じて毎回調整し、浜名湖フラワーパレット花壇やフラワーフィルハーモニー交響花壇、花織り畑、ガーデンコンテスト花壇、ローズガーデ

ン、花美の庭等を巡った。開催日によってルートやガイド内容が異なるため、複数回参加される方も多く、口コミでツアーを知って参加される方もいた。

(14) ガーデンマーケット（2024.4.20～21）

フラワーガーデンコンテストでも使用されている植物やガーデンツール、植物がモチーフの雑貨やアクセサリー等を取り扱う約15店が全国から集結し、水辺広場は園芸愛好家で大賑わいだった。

また、期間中には「植物との暮らし」をテーマにした４種類のワークショップも開催した。参加費2,800円～7,700円の有料イベントだったが、各回定員15名に対して、どの回も定員を上回る申込みがあり、抽選により参加者を決めるほど盛況であった。

ガーデンハイク

ガーデンマーケット

(15) ブーケパフォーマンス（2024.5.4）

来場者の多いGW後半の５月４日、フラワーパフォーマンス集団 Florist gram.によるブーケパフォーマンスを実施した。ステージ上で各メンバーが色とりどりの県産花きを用いて次々とブーケを作っていき、出来上がったブーケを誕生日が近い方や一番遠くから来られた方といった観客にその場でプレゼントした。ブーケがもらえなかった観客にも花苗をプレゼントし、会場では素敵なプレゼントをもらった方々の笑顔の花も咲き誇った。

なお、当日のステージ台には、互大商工株式会社の御協力により浜松天竜材の間伐材でできた木製パレットを使用した。

ブーケパフォーマンス

地元間伐材を使った木製パレット

県産花きを使ってブーケを制作

(16) 母の日植栽イベント（2024.5.12）

母の日に合わせ、来場者親子で花を植栽するイベントを実施した。コンテナ花壇に幼児から高校生までの子どもが、好きな花苗を選び、自由にデザインして植栽した。植栽維持管理ボランティアのアドバイスのもと、家族とも協力しながら、上手に植えることができた。

また、植栽後、コンテナの壁面に自由に絵を描いた。花の絵、木の絵、人の絵、海の絵、いきものの絵などが描かれ、海外から来られた方、日本在住の外国人の方も参加し、にぎやかなイベントとなった。

(17) Gardeners' Jamboree(2024.6.1)

花博の会場修景に携わったデザイナーやガーデナー、ガーデンコンテスト出場者らが一堂に会して、一般来場者も交えて今回の花博を振り返った。ジャンボリーでは関係者が一人ずつ登壇し、今回のデザインコンセプトや花博出展に至ったいきさつ・想いといった花博秘話を紹介した。関係者からは達成感や充実感が感じられ、花博の成功に感極まり涙する方もいた。

(18) 閉幕直前SDGs花プレゼント（2024.6. 1～2）

ア　花装飾デザインコンクール使用苗のプレゼント(先着450名)

閉幕日前日の６月１日、花装飾デザインコンクールで使用した花苗を来場者にプレゼントした。整理券は事前に配布した。各自好きな花苗を２ポットずつ、花装飾デザインコンクールの展示台から選んで持ち帰った。花苗は過密状態で展示されていたため、決して良い状態の苗ではなかったが、SDGsの趣旨を理解し、喜んでいただいた。このイベントについても植物維持管理ボランティアから多大なる御協力を頂いた。

イ　スズキキャリイ「農繁スペシャル」花車 装飾鉢のプレゼント（100名）

閉幕日、軽トラック装飾等に使用した鉢花類を来場者にプレゼントするじゃんけん大会を開催した。あいにくの雨であったが、数多くの来場者が参加し、熱気あふれるイベントとなった。

ウ　花織り畑に植えられたお花のプレゼント（先着300名）

閉幕日、「閉幕式を花で彩ろう！」というコンセプトで、花織り畑の花を来場者にプレゼントした。整理券を受け取った来場者は、まずメンテナンスフリーゼリー入りのカップを全日本女子チア部のメンバーから受け取った。そして、植栽維持管理ボランティアとペアになり、花織り畑で好きな花を選んでボランティアに採花してもらいカップに挿し、閉幕式に参加した。

一面の花畑から花を摘める最終日ならではのイベントとして、好評を博した。

８　特別出展及び構造物を用いた屋外花き展示

（１）概要

浜名湖花博 2024 では、デザイナーによる花修景以外に、特別出展として、全国花のまちづくりコンクール受賞者による庭園が作庭されたほか、コンテナ等の構造物を設置して花装飾を行う展示や出展を取り入れた。

構造物を用いたものとしては、県内市町出展による「市町花壇」、幼児から中学生が参加した「花装飾デザインコンクール」、切花と鉢物による「軽トラックの花装飾」、樹齢数十年の「大盆栽」のほか、「2027 年国際園芸博覧会の PR 展示」などもあり、会場に彩りを添えた。

（２）全国花のまちづくりコンクール受賞者による出展

ア　概要

「2022 年全国花のまちづくりコンクール」の大賞受賞者３者に出展依頼をし、国際庭園エリアに特別出展花壇を制作していただいた。

イ　牧之原市立萩間小学校

５・６年生による「花いっぱい委員会」を中心に、年間約 6,000 本の苗を種から育て、作った花苗を地域の郵便局や保育園に配るなど、児童と地域が協働し、地域愛を深めている活動を行っている。

花壇のデザインは児童が考案し、自分たちで栽培した花苗や実行委員会が支給した県産マーガレット等を中心に使用した。植栽は６年生全員で行い、牧之原の海のような爽やかさをネモフィラやビオラ、ペチュニア等で表現し、色のグラデーションが美しい約 25 ㎡の花壇を制作した。

また、花壇の隣には牧之原市のキャラクター「チャーフィン」の模型を設置し、フォトスポットとして大人気であった。

ウ　天竜浜名湖鉄道株式会社（花のリレープロジェクト）

浜松いわた信用金庫、天竜浜名湖鉄道株式会社、ＦＰが母体となり 2018 年から天竜浜名湖鉄道の駅や沿線を中心に花壇づくりを展開。多くの企業・団体・学校が活動に参加し、地域コミュニティの再生や観光振興に寄与している。

今回はプロジェクトメンバー約 50 名が一堂に会して植栽し、約 30 ㎡の花壇を制作。静岡県産のマーガレット類のみを使い、恋のプロローグ「心に秘めた愛」からエピローグ「真実の愛」への恋のストーリーをマーガレット類の色と高さで表した。

エ　佐野誉志照氏・惠美子氏

自宅でオープンガーデンを 15 年間実施し、花作り講座の講師など、地域の花のまちづくり活動の中心的存在として情熱を持った活動を行っている。

今回は「花あそび」をテーマに静岡県産のマーガレットを主体とした約 30 ㎡の花壇を講座の受講生と共に制作した。季節に合った宿根草を中心に競い合い咲き誇るように植込みをし、ガーデン作りの見本となるような美しい花壇は多くの人が立ち止まって写真を撮った。

萩間小学校の植栽

佐野氏の植栽

花のリレープロジェクトの植栽

（３）市町花壇

出展の意向があった全 12 市町が参加してコンテナ花壇を作成した。コンテナの大きさは一律ではなく、それぞれの市町の要望に応じた大きさとした。基本のコンテナは「浜名湖花博 15 年目の春」で展示され、引き続きＧＰで使用されている 100㎝×100㎝の正方形のものであった。塗装がかなり痛んでたことから再塗装したが、色については春開催のイベントらしく、かつ植物の色彩を干渉しないよう、クリーム色を選定した。平米コンテナについては、一部数量が不足したので、不足分は静岡県森林組合に委託し作成した。オプションのコンテナとしては、平米コンテナの２分の１サイズのコンテナを実行委員会で用意した。こちらについては、色を統一せず、各市町の要望に応じて着色した。また２市町においては、市町持ち込みの構造物や実行委員会が市町から依頼を受け製作した特別サイズのコンテナなども使用して、大がかりな展示を作り上げた。

植栽についても、一年草、宿根草だけでなく多肉植物や樹木も多く取り入れられた。市町にゆかりのある植物の植栽、ゆかりのあるデザインの採用のほか、オリジナル品種の植栽、ご当地キャラクターの造形物等の展示もあり、賑やかでバラエティに富んだ景観になった。なお、コンテナの一部については南出株式会社の協賛により設置した。

植栽は開幕前の３月下旬から４月上旬に実施された。植栽にあたっては、各市町の花の会、園芸店、造園会社、市町職員等のメンバーで行われた。会期中、複数の市町が植替作業や管理作業を実施した。中には、花の咲く前には造花の鉢を設置し、花が咲く時期に本物の花が咲く鉢と入れ替えるというイリュージョンのような展示もあり、リピーターの来場者を驚かせていた。

＜出展市町＞

静岡市、三島市、富士宮市、富士市、磐田市、藤枝市、袋井市、下田市、牧之原市、長泉町、小山町、吉田町

（４）花装飾デザインコンクール

県内の多くの子どもに浜名湖花博 2024 について知ってもらい、関わってもらうことを目的に、絵画のコンクールを実施した。応募者が作成した花の絵に基づいて、県産の花苗を地上絵のように並べるというコンセプトであり、以下の団体のほか、個人の方々からも多数応募いただいた。幼児部門、小学生部門、中学生部門の計３部門の応募の中から、各部門最優秀作品１点を選び、その作品を花で再現した。優勝作品以外にも、絵そのものだけでなく、添えられたメッセージにも心打たれる作品が多かった。

募集は令和５年７月から９月にかけてホームページ等で行った。デザイン確定後、静岡県鉢物生産振興会への委託により花苗を生産した。また、環境に配慮し、ポットは生分解性ポリポットを使用した。

なお、花苗生産上の都合から、展示は４月下旬とした。展示にあたっては、マックスバリュ東海（株）の新規採用職員研修の一環として実施いただいた。参加者を３チームに分け、各チームごと、子どもが描いた絵に基づいて花を展示台に装飾していった。

表彰式は５月４日に行われた。表彰状に加え、フラワーパフォーマンス集団 Florist gram. が目の前で作成した花束も贈呈された。

当初は、２週間程度の展示を想定していたが、子ども達が描いた絵と花苗を見比べて、感想を言い合う来場者が多くみらるなど、反響が大きく好評であったことから閉幕まで継続展示した。

ただし、花の老化に伴い、若干図柄を変更しつつの継続展示となった。また、想定以上の展示期間になったため、生分解性ポリポットの分解が進み、管理に苦心した。

＜応募団体（五十音順）＞

アトリエユレーラ、全国心臓病の子どもを守る会静岡県支部、西方造形 class、NPO 法人 浜松外国人子ども教育支援協会（TOMO２）、浜松市立白脇小学校、浜松市立富塚中学校、浜松市立村櫛小学校、YAMANE art club、その他個人の方々

＜最優秀作品作成者＞学年は応募時のもの（令和５年）

幼児の部　　年長　　増岡 由莉さん
小学生の部　小学３年　杉山 萌子さん
中学生の部　中学３年　渡部 由希乃さん

（５）スズキ軽トラックの花装飾

スズキ株式会社に車両をお借りして、花装飾を実施した。

当初、車種は未定であったが、スズキ株式会社と花咲くしずおかフラワーネットワーク会議のデザイナーらで打ち合わせを重ね、最終的にスズキキャリイ農繁スペシャルを花で装飾することとなった。

県内の花き産業では切花・鉢物ともに生産が盛んであり、切花生産者も鉢物生産者もスズキの軽トラックを使用していることから、切花・鉢物両方の展示を実施した。

まずは４月上旬に静岡県産マーガレットやパンジー、ビオラなどの色とりどりの鉢物で装飾した。GW の５月４日には、フラワーパフォーマンス集団 Florist gram. が、ガーベラ、バラ、トルコギキョウ、オンシジューム、ダリア、ストレリチア等の県産切花や葉物類をふんだんに用いて、来場者の目の前で軽トラックを立体的に装飾した。さらに、スズキ株式会社のスローガン「小さなクルマ、大きな未来」になぞらえ、「小さなテノヒラ、大きな未来。小さなオハナ、大きな未来。」として、当日来場した子ども達にも小さな手で、色とりどりの花などを描いてもらい、軽トラックを彩った。切花展示後、再度鉢物を展示した。また、５月からは農繁スペシャルという車の仕様に合わせ、花のみならず果樹の苗木や野菜苗、鈴の鳴る木（通称スズ木）の展示も行った。

（６）大盆栽の展示

浜松市浜名区の一十園の全面協力により、超大型盆栽展示を実施した。

一十園が所有する推定樹齢 60 年～120 年の赤松、黒松、ハイビャクシン等の銘木の数々を、一十園独自の技術で特別展示した。ＧＰの入場ゲートを入ってすぐ、南エボ橋と北エボ橋をつなぐ 200m弱の通路を大盆栽でつないだ景色は大変壮観な景色で、来場者を驚かせていた。

また、全国から集められた銘石の展示も行った。今回展示されたのは、怪獣のように見える巨大石で、来場者の注目を集めた。

（７）2027 年国際園芸博覧会の PR 展示

2027 年国際園芸博覧会を PR するため、展望タワー手前の人通りが多いスペースに、緑化ユニットシステム「どこでもガーデン」による特別展示が作られた。国際園芸博覧会のバックパネルも飾られ、パネル前で記念写真を撮影する来場者が多くみられた。

３年後の開催になるが、多くの来場者から期待する声が聞かれ、関心の高さが伺われた。

（８）あいりちゃん@（フランスギク）

アイリンブループロジェクト実行委員会静岡県支部の御協力により、奇跡の白い花「あいりちゃん@」を展示した。アイリンブループロジェクトとは、東日本大震災で亡くなられた愛梨ちゃんの最後の場所に咲いた花を、全国各地で育てることで、震災の風化を防ぎ、命の大切さを伝えるプロジェクトである。浜名湖花博 2024 のように、平時であるからこそ開催できるイベントの来場者に対し、改めて防災や命の大切さについて意識してもらうために企画した。なお、コンテナは南出株式会社の協力で設置した。市町花壇など四角形をベースとした色彩豊かなコンテナ類が展示される中、丸くて白いコンテナに凛と植栽された白い花のあいりちゃん@は、目を引く存在であった。

９　フラワーガーデンコンテスト

（１）コンテスト概要

静岡県は、ガーベラをはじめとした全国有数の花き生産地である一方、消費量は全国的に少なく、消費拡大が喫緊の課題となっている。そこで、県民に花緑を少しでも多く生活に取り入れていただきたいという思いから、本コンテストを実施した。コンテストテーマの一つに「持続可能なガーデンの提案」を掲げており、花緑を日常に取り入れる際の障壁となりがちな日常的なメンテナンスが極力少なく済み、管理しやすいガーデンの提案を期待した。

（２）準備期間中の対応

ア　コンテスト出場者の対応

公募により集まった申込者の中から事務局による書類審査を経て、フラワーガーデンコンテストの出場者が決定した。令和５年７月 27 日に出場者向け説明会を開催し、会場の整備状況や今後のスケジュール、コンテストレギュレーションなどの概要説明及び現地確認を行うとともに、ガーデンの割り当てを決定した（各出場者に希望のガーデンを伺い、希望が重なった場合はくじでガーデンの位置を決定）。また、植栽が可能な期間として秋植栽期間（11 月 17 日～12 月３日、対象：Ａ、Ｂ部門）と春植栽期間（３月 11 日～３月 26 日、対象：全部門）を設定した。

イ　出展区画の基盤整備について

出展区画は、事務局スタッフがメジャーやポケットコンパス等で測量し、位置出しを行った後、造園業者が芝を剥がし、耕耘・土壌改良を行い、すぐに植栽できる状態で出場者に引き渡した。

ウ　電源・かん水設備の整備について

出場者による電力の使用は禁止とした。また、植栽期間のかん水に関しては希望があればホースを最寄りの散水栓付近に配置し、自由にかん水できるようにした。

（３）会期前の維持管理

出場者による植栽後、開幕までの約４ヶ月間は、除草やかん水等の維持管理を事務局スタッフが全て行った。特に、かん水に関しては各出場者から注意点（水切れしやすいもの等の情報）を聞き取り、現場の状況を判断しながら慎重に行った。肥培管理や病害虫対策も計画的に実施した。

（４）会期中の調整

ア　出展花壇の保全や管理

一部ガーデンについて、敷板の破損が見られたため、造園業者に修繕を至急依頼した。また、植栽の状態が悪い場合には、出場者に現状写真を送付し、対応を伺った。原則として開園時間中の植物の抜き取りは禁止とし、開園前または開園後の作業を依頼した。

イ　ガーデン区画内の立入りについて

ガーデン内の植栽や構造物の破損の恐れがあるため、原則としてガーデン内は立入禁止とした（犬は芝生も進入禁止）。ただし、出場者へ事前に確認し、了承が得られた場合は、ガーデン内通路等、一部立入りを認めた。

立入りを禁止していても、来場者が立ち入るケースが散見されたため、会期途中からロープ柵等を設置するケースもあった。幸いにも来場者による意図的なガーデン内の破損等は発生しなかった。

（５）会期中の維持管理

４月６日から６月２日までの会期中にはかん水や花がら摘み等の維持管理を行った。ガーデンの植栽維持管理を担当する造園業者や植栽メンテナンスを担当したコンテスト運営補助委託業者に加え、事務局スタッフ等が直営で実施した内容も多かった。現在の植栽状況を踏まえた今後の管理方針は、植栽維持管理ディレクターの意見も参考にした。各部門ごとに、管理体制を下記のとおり定めた。

審査基準の１つを「持続可能なガーデンへの配慮」としており、ローメンテナンスなガーデン作りを出場者には推奨してきた。出場者による植栽完了時に、最低限の管理を条件に、今後行ってほしい管理内容を聞き取り、その内容をもとにコンテスト運営補助委託業者が管理を行った。会期中に行った管理内容とその作業に要した時間はメモしておき、審査時の参考とした。

【管理体制（主担当：◎、サポート：〇、部分的に実施：△、未実施：—）】

Ａ部門	造園業者（２工区）	コンテスト運営補助委託業者	事務局ｽﾀｯﾌ	植栽維持管理ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ	出場者 ※会期中に３回（３日間）メンテナンス可能
かん水	◎	—	〇	—	△
植栽メンテナンス	—	◎	〇	—	△
除草	—	〇	◎	△	△
病害虫防除	◎	〇	△	—	△
薬剤散布	◎	〇	—	—	△

Ｂ部門	造園業者（２工区）	コンテスト運営補助委託業者	事務局ｽﾀｯﾌ	植栽維持管理ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ
かん水	◎	—	〇	—
植栽メンテナンス	—	◎	〇	—
除草	—	〇	◎	△
病害虫防除	◎	〇	△	—
薬剤散布	◎	〇	—	—

Ｃ部門	造園業者（２工区）	コンテスト運営補助委託業者	事務局ｽﾀｯﾌ	植栽維持管理ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ	出場者※グランプリ、準グランプリ受賞者のみ
かん水	◎	―	○	―	○
植栽メンテナンス	○	◎	○	○	○
除草	―	○	◎	△	○
病害虫防除	◎	○	△	―	―
薬剤散布	◎	○	―	―	―

ア　かん水

各出場者から注意点（水切れしやすいもの等の情報）を聞き取り、かん水を担当する造園業者へ伝達した。造園業者（２工区）は、天気や花壇状況に応じて、かん水を行った。

イ　植栽メンテナンス

ガーデン内の切り戻しや支柱立て、花がら摘みといった植栽メンテナンス全般は、出場者の意見も伺いながらコンテスト運営補助委託業者が中心に行った。

ウ　除草

ガーデン内及びその周辺の除草は事務局スタッフが中心に行った。

エ　病害虫防除・薬剤散布

ガーデン内の病害虫防除と薬剤散布は、コンテスト以外の植栽と併せて造園業者が実施した。

オ　改植

主に一年生植物を植栽したＣ部門のガーデンは、花の見頃が終わる GW 前から改植を行った。

グランプリ及び準グランプリ受賞花壇は、出場者がガーデンのメンテナンスや改植を行い、新たなガーデンを制作した。審査委員特別賞受賞ガーデンは、造園業者が既存の植物や構造物を生かしつつ一部改植を行った。受賞以外のガーデンは、造園業者が植物の抜き取りや構造物を撤去を行い、新たにマーガレット類を植栽した。

カ　清掃

園路及び区画内の落葉やゴミ等については、ボランティアや事務局スタッフ等が毎日清掃を行った。また、サインプレートが汚れている場合（鳥や虫の糞、泥等）には拭き取りを行った。

キ　ベンチ拭き

面積の広いＡ部門に限ってはガーデン内に休憩スペースの確保を可能としたため、降雨の翌日や朝露により出展区画内外のベンチ等が濡れている場合には、事務局スタッフやボランティアが拭き取りを行った。晴天であっても朝露が発生することが多く、注意が必要であった。

ク　その他

国際庭園エリアでは、透水性側溝の経年劣化等により、園路の排水が不良であったため、降水量が多い日には園路及び出展区画の一部が冠水した。出展区画の冠水は、植栽の根腐れが懸念されたため、迅速な排水対策を行った。

（６）審査・表彰

本コンテストは「心安らぐ水辺の風景」をテーマに、従前の花博で開催した作庭のコンテストではなく、植栽メインのコンテストとした。審査基準は植栽デザインやテーマ性・新規性に加え、持続可能なガーデンへの配慮とし、下記３つの部門ごとに審査した。

表彰式は、6/2（日）の閉幕式内で実施し、各部門のグランプリ（３組）、準グランプリ（３組）、静岡県知事賞（２組（B、C 部門各１組））及び審査委員特別賞を代表して當間ローズ特別賞受賞者（２組（B、C 部門各１組））が登壇し、すべての登壇者に賞状と県産花きの花束を授与した。また、グランプリ、準グランプリにはトロフィーを授与した。副賞として、グランプリには FDA ペア往復旅行券、準グランプリには FDA シングル往復旅行券、静岡県知事賞受賞者にはグランドホテル浜松のペア宿泊券を授与した。

【コンテスト概要】

部門	A	B	C
出場団体・出場者数	4	12	10
出場団体・出場者	プロのガーデナーで、同様のコンテストで受賞歴等のある方	プロ～セミプロのガーデナー	一般の花壇愛好家や学校関係者等
制作面積 ※面積は目安	140m^2 （幅 14m×奥行 10m）	54m^2 （幅 18m×奥行 3m）	13.5m^2 （幅 9m×奥行 1.5m）
制作支給費用	140 万円	50 万円	11 万円
植栽時期	秋植栽：R５年 11 月 17 日～12 月３日 春植栽：R６年３月 11 日～26 日		R６年３月 11 日～26 日
審査方法	来場者によるモニター審査（有効審査票数：245 票）	５名の審査委員による審査	

審査時期	4/23（火）～5/12（日）のうち９日間	4/15（月）、5/16（木）の全２回審査	4/15（月）
その他ルール	・樹木の高さは 3m まで ・会期中に３回（３日間）までメンテナンス可能	・樹木の高さは 1.2m まで	・樹木の高さは 1.2m まで ・課題植物（KEY 植物）として県産マーガレット（県伊豆農業研究センター育種）40 株を事務局より支給

コンテストガーデン（Ａ部門グランプリ）

【受賞者一覧】

部門	賞名	受賞団体・受賞者	タイトル
A	グランプリ （実行委員会会長賞）	GARDENS （香川県高松市）	五感で感じる水辺のヒーリングガーデン
	準グランプリ （審査委委員長賞）	ニコラス　レナハン （長野県諏訪市）	A Garden For Living
B	・グランプリ （実行委員会会長賞） ・静岡県知事賞※	天龍造園建設株式会社 （静岡県浜松市）	花陽（はなひかりのとき）の季
	準グランプリ （審査委員長賞）	晴照造園 （静岡県伊豆の国市）	共に巡る ～Together in Harmony～
	・園芸研究家小黒晃特別賞 ・當間ローズ特別賞	オープンガーデン豊橋 （愛知県豊橋市）	テムズ川を渡る風
	植栽家　河合伸志特別賞	Rose Branch まーちゃんチーム （滋賀県米原市）	笑顔になれる場所
	Garden Story 編集長特別賞	松田　恵 （東京都調布市）	Natural　Harmony～爽やかな風～
C	・グランプリ （実行委員会会長賞） ・静岡県知事賞※	広岡　千恵子 （静岡県藤枝市）	浜辺のナチュラルガーデン
	準グランプリ （審査委員長賞）	御前崎市花の会 （静岡県御前崎市）	御前崎市制 20 周年！水辺に浮かぶ船に乗り未来に出発
	Garden Story 編集長特別賞	浜松モザイカルチャー普及協会 （静岡県浜松市）	水鳥達が飛び立つ川のある風景
	園芸研究家　小黒晃特別賞	日本ハンギングバスケット協会静岡県西部 （静岡県浜松市）	春うらら
	當間ローズ特別賞	FOREVER （静岡県浜松市）	季節の訪れを水車小屋から届けます～ルンルン❣
	植栽家　河合伸志特別賞	わすれなぐさ （静岡県静岡市）	春色のボーダーガーデン

※静岡県知事賞は、静岡県内在住のＢ、Ｃ部門の出場者・出場団体のうち、各部門で最上位の者・団体

【フラワーガーデンコンテスト審査委員】

区分	氏名※	備考
審査委員 ※敬称略	石原　和幸	・審査委員長 ・株式会社石原和幸デザイン研究所　代表
	小黒　晃	・宿根草のスペシャリスト
	河合　伸志	・第 33 回全国都市緑化よこはまフェア　アドバイザー 育種家、植栽プランナー
	倉重　香理	・WEB マガジン『ガーデンストーリー』編集長
	當間　ローズ	・タレント、華道家 ・浜名湖花博 2024PR 大使

審査委員による審査の様子

10　園内花緑情報の発信

（１）各種サインによる情報発信

花壇や庭園、植物を紹介するサインを作成し、各所に設置した。

サイン作成にあたっては、既存の看板土台を再利用し、頻繁に更新するサインはラミネートで対応する等、経費・資源の削減を図った。

サインのデザイン・原稿作成については、予算の都合上外部への委託が難しかったため、職員がイラストレーターソフトを用いて作成した。デザインについては、サインの種類ごとに統一した基本デザインを作成し、まとまりを意識した。原稿については、簡潔でわかりやすい文章を心がけ、花壇によってはデザイナーと打ち合わせを行った上で原稿を作成し、デザインに落とし込んだ。

また、今回の浜名湖花博 2024 では、音声ガイド「おともたび」を導入したため、各看板に、QR コードを掲示し、デザイナー等による詳しい音声説明に誘導した。

	内容	仕様	主な設置箇所
1	庭園説明	W600×H600	ローズガーデン、ユニバーサルガーデン、マーガレットガーデン、浜名湖花博 2024 記念庭園
2	花壇説明	①自立式(W900×H600)	花織り畑、フラワーガーデンコンテスト
		②自立式（A3）	みどりの地球、浜名湖フラワーパレット等
		③A4	フラワーガーデンコンテスト、国際庭園内各所、花のまちづくりコンクール受賞者記念花壇
		④W220×H330 ⑤W220×H220	ユニバーサルガーデン
		⑥A5	ローズガーデン、花の都しずおか花壇（市町出展）
3	展示説明	A3	チェーンソーアート等
4	植物紹介	A5	浜名湖フラワーパレット、ローズガーデン等
5	花みごろマップ	自立式（W900×H600） マグネットポケット設置	展望塔付近、国際庭園入口

＜看板写真＞

1　庭園説明（ローズガーデンエリア説明）	2-①　花壇説明（フラワーガーデンコンテスト）
おともたび QR コードを掲示	

2-②③　花壇説明	5　花みごろマップ
	マグネットケース内の情報を毎週入れ替え

（２）紙媒体による情報発信

１週間の花みごろ情報を毎週土曜日に更新し、南北エボ橋先の広告塔、案内所掲示板等、会場内の複数箇所に掲示した。1 回あたり 12 種類の植物を紹介し、そのうち 10 種類は見ごろの県産花きを中心に紹介した。残りの 1 種類は「花の都しずおか花展示」の切花等、もう 1 種類は浜名湖ガーデンパーク既存植栽植物の中から植栽指定管理者が選定したものを掲載した。また、フォトスポットや花のみどころを紹介するマップを別途作成し、配布・配架した。

（資料編：広報・宣伝参照）

（３）インターネットを活用した情報発信

上記の花みごろ情報を公式ホームページ及びＧＰホームページにも掲載するとともに、公式SNS（Facebook、Instagram）で職員が撮影した見ごろの花や庭園をリアルタイムで頻繁に発信し、最新の花情報を提供することを心がけた。

（４）園内のガイド等による情報発信

園内の花の見どころをガイド付きで巡る「ガーデンハイクツアー」（開催回数：約 50 回）や、指定管理者が管理する「花美の庭」で来場者のおもてなしをする「花美の庭ホスピタリティ day」（開催日数：８日間）で会場修景の秘話や旬の花情報、メディア上で取り上げられた花、庭園、オブジェ作品など屋外展示物について園内ガイドを定期的に開催した。参加者からの要望等を参考に、ツアールートやガイド内容を調整し、参加者に寄り添う形で実施した。

また、園内デザインや植栽等に携わったデザイナー・ガーデナーらと会場を巡る特別ガイドツアーやお茶をしながら語り合うサロンを不定期で開催した。

参加者と主催者との対話が生まれ、花博に対する来場者の生の声を聞く機会にもなった。

ガーデンハイクツアー

11　屋内展示「花の都しずおか花展示」

（１）基本的な考え方

開催テーマ「人・自然・テクノロジーの架け橋～レイクハマナ　デジタル田園都市～」の具現化を目指し、「心豊かな暮らし（Well-being）」、「持続可能な環境・社会・経済（Sustainability）」、「地域発の産業革新（Innovation）」を体感できる展示会場として、ＧＰ体験学習館内に本県特産の花や産業技術を体感できるディスプレイを展示し、“花の都しずおか”の魅力を来場者に向けて発信した。

（２）わがまち自慢の花展示

“花の都しずおか”の構成要素として、①花の生産地、②花の名所が挙げられる。

この２つの構成要素をそれぞれ有する２市の展示を実施した。

ア　湖西市産業振興課

全国一の産出額を誇る“こでまり”を中心としたフラワーアレンジ

（展示協力：佐原淑代氏、谷中正博氏）

＜展示説明＞

湖西市は、浜名湖畔の温暖な立地条件に囲まれ、「こでまり」の栽培に適した地域と言われる湖西市で生産された「こでまり」は、北海道から九州まで全国に出荷され、全国 80 パーセントのシェアを誇っています。つまり、全国で飾られている「こでまり」のほとんどが湖西から出荷されたものなんです。

純白で小さな無数の花が「てまり」のように咲く清楚な花で、優雅で品があり、生け花の添え、結婚式のブーケなどに人気です。どんな花にも調和する「こでまり」を添え花として、ご家庭でも花を飾ってみてはいかがですか。

イ　下田市観光交流課

日本一の花数の群生と言われる“あじさい”の PR 展示

＜展示説明＞

本市では、毎年 6 月 1 日から 6 月 30 日に「伊豆下田温泉あじさい祭」が開催され、今年で第 53 回を迎えます。会場となるのは、下田（しもだ）市街と下田港（しもだこう）を見下ろすことができる小高い丘の上にある下田（しもだ）公園（こうえん）。広大な敷地を埋め尽くす、およそ 300 万輪のあじさいは訪れた人を圧倒するほどの迫力です。

「クロジク西洋アジサイ」「ウズアジサイ」「アナベル」など 100 種以上を見ることができます。期間中は地場産品の販売や様々なイベントを開催いたしますのでぜひお越しください！

（３）テーマフラワーの展示

静岡県を代表する花を“テーマフラワー”として各期に設けた。そして、「花咲くしずおかフラワーネットワーク会議」所属のフラワーデザイナーが“テーマフラワー”を中心に、県産花きの魅力を最大限に生かした展示を行った。

日程	テーマフラワー	作成者
4 月 6 日～4 月 14 日	カーネーション	斉藤　仰（斉藤生花店）
4 月 13 日～4 月 19 日	ガーベラ	池谷友伯（花徳）
4 月 20 日～4 月 26 日	トルコギキョウ	良知みどり（良知園芸）
4 月 27 日～5 月 17 日	鉢物	花城みゆき（岩﨑園芸店）
5 月 18 日～5 月 24 日	バラ	唐木翔平（フラワーショップのなか）
5 月 25 日～6 月 2 日	マム	飯野佑美（カネキ）

（４）静岡県花卉園芸組合連合会による展示（切花）

静岡県温暖な気候に恵まれ、作付面積で全国３位、産出額で全国４位という花きの大産地である。

県内の伊豆地域から湖西市まで、広い地域で花き類が生産されており、また、その種類も多岐にわたっている。

今回、これらの多種多様かつ高品質な県産花きを会期を通じて、週替わりで展示した。

来場者は、見たことのないような個性的な品種、またボリューム感あふれる存在感のある花々に感心している様子であった。また、生産者が思いを語る動画に、じっくりと見入る様子も見受けられた。

１階スペースの展示日程

日程	展示団体名	主な花の種類
4 月 6 日～4 月 14 日	静岡県花卉園芸組合連合会（JA ふじ伊豆、JA 静岡市、JA 大井川、JA 掛川市、JA 遠州夢咲、JA 遠州中央、JA とぴあ浜松）	ガーベラ、輪ギク、スプレーギク、ディスパットマム、枝物、エピテンドラム、トルコギキョウ、バラ、ヒマワリ、ナデシコ、ガーベラ、オンシジューム、カーネーション、ストレリチア
4 月 13 日～4 月 19 日	大井川農業協同組合	バラサムライ 08 ガーベラ エピテンドラム プパルディア なでしこ　キウィグリーン
4 月 27 日～5 月 3 日	とぴあ浜松農業協同組合	輪キク（神馬、精興光明、秀の日向、スプレーマム、ＬＡユリ、トルコギキョウ、ストレリチア、デルフィニウム、アマリリス、クジャクヒバ、丸葉ユーカリ、ニューサイラン、天文草、スノーボール、梅花ウツギ、ソケイ
5 月 11 日～5 月 24 日	とぴあ浜松農業協同組合	ガーベラ　シャガール板展示
5 月 25 日～6 月 2 日	静岡県花卉園芸組合連合会（JA ふじ伊豆、JA 静岡市、JA 大井川、JA 掛川市、JA 遠州夢咲、JA 遠州中央、JA とぴあ浜松）	バラ、トルコギキョウ、カーネーション、オンシジューム、ガーベラ、輪ギク、スプレーギク、ディスパットマム、クルクマ、スモークツリー

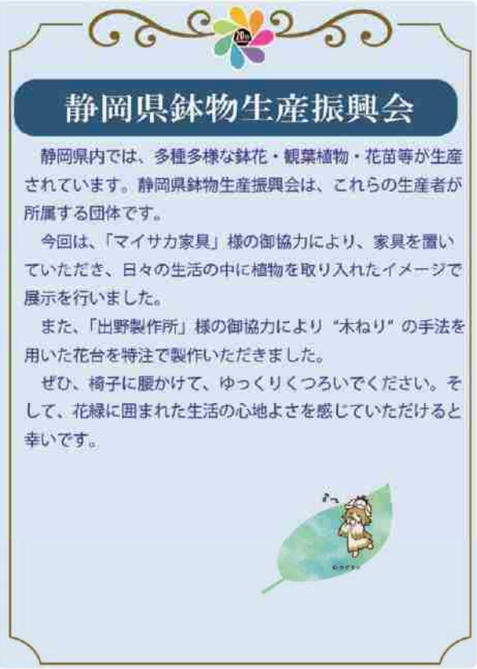
（５）静岡県鉢物生産振興会による展示（鉢物）

静岡県内では、多種多様な鉢花・観葉植物・花苗等が生産されており、静岡県鉢物生産振興会は、これらの県内鉢物生産者によって構成されている団体である。

今回は、振興会のメンバーが生産した個性豊かな鉢物を開催テーマに沿った空間で展示した。

来場者に花に囲まれ「心豊かな暮らし（Well-being）」を体感してもらうため、地元家具店「マイサカ家具」の協力により、展示場に家具を配置。生活空間で味わう鉢物の魅力を演出した。

さらに、「地域発の産業革新（Innovation）」の一環として、地元企業「株式会社出野製作所」に鉢花をディスプレイする台を浜名湖花博 2024 オリジナルデザインで作成いただいた。コンピューター制御による新開発の特殊局面ルーターの活用で木材をひねったような形を作出し、来場者の関心を誘った。



静岡県鉢物生産振興会

静岡県内では、多種多様な鉢花・観葉植物・花苗等が生産されています。静岡県鉢物生産振興会は、これらの生産者が所属する団体です。

今回は、「マイサカ家具」様の御協力により、家具を置いていただき、日々の生活の中に植物を取り入れたイメージで展示を行いました。

また、「出野製作所」様の御協力により“木ねり”の手法を用いた花台を特注で製作いただきました。

ぜひ、椅子に腰かけて、ゆっくりくつろいでください。そして、花緑に囲まれた生活の心地よさを感じていただけると幸いです。

マイサカ家具

日本一植物を使った家具店!? マイサカ家具では、お庭と家具をトータルで考えています。

屋外、屋内と分けるのではなく緑を基調とし、ふっとした瞬間に良い時間だなと感じられる空間づくりをご提案しています。

出野製作所

天然素材の新しいカタチ

株式会社 出野製作所

TEL.053-485-3011 FAX.053-485-3012

Mail : ideno@ka.tnc.ne.jp

静岡県鉢物生産振興会展示植物名
マーガレット（シェリーフレア、ラズベリーフレア、ピーチフレア、レディフレア、ファイヤークラッカー等）ユーフォルビア、トレニア・カタリーナ・ブルーリバー、観葉植物アレンジメント、カトレア、ツワブキ（雪姫、浮雲錦）、トキワシノブ、パキポディウム（ラメリー、ルテンベルギアナム、石化）、ゾンビプランツ、ラクティア石化、ユーフォルビア各種、デルフィニウム・ハンキードリーブルー、カトレア、ユーリキニア・カスタネア・スピラリス、アガパンサス・サマーラブ・ダリア等

（６）生花を活用した週替わりの装飾展示

公募により応募のあった団体及び花咲くしずおかフラワーネットワーク会議に所属する団体が週替わりで花を用いた装飾展示を行った。

ア　第１期　４月６日～４月 14 日　DOQULE

＜展示説明＞Flower　dorm～未来を彩る希望と活力～

『今、感染、戦争、災害、と混沌とした世界のなかを彷徨いながら希望の未来に差し込む光を求め進んでいこうというパワーメッセージを込めフラワリードームを製作しました。

ドームを１周しそれぞれにパワーメッセージを受け取ってもらい、明日からの活力にしていただきたいです。2004 年花博開幕から 2014 年と続き３度目の浜名湖花博出展させていただけた事に光栄と感謝の気持ちでいっぱいです。今回もお花の魅力を皆様に発信したい思いでこの素敵な機会にドゥクレの本質のフラワーデザインに魅せられ 10 年以上学ばれてきた講師３名が初の大型共同作品に挑みました。

作者紹介：盛高優子・松下恭子・岡本一美　ドゥクレ協会代表：岡﨑久美子

出展協力：株式会社　松下工業、Atelier Fleur cocon、レゾンレジール袋井、有限会社フリーライディング、日本エネルギー開発株式会社、ボワ・ドゥ・フルール』

なお、最終日の夕方には、展示された花のプレゼントが実施され、大勢の人で賑わった。

イ　第２期　４月 13 日～４月 19 日　松濤流いけばな

＜展示説明＞海の詩物語

～澄み渡る海の水、波の音とともに咲く花々は、私たちの心を優しく包み込みます～

『松濤流は伝統の花から現代花まで、いけばなを通して様々な表現をする、浜松市で誕生した流派です。1999 年に、音楽、スポットライトで会場全体を一つの芸術空間として演出する「流氷物語」を遠鉄百貨店にて開催。2004 年浜名湖花博国際園芸博覧会では「海の小宇宙」を発表し、国際コンテストにおいて金賞、銀賞、銅賞を 26 作品が受賞しました。

また源氏物語千年紀には「源氏花物語」として展示とパフォーマンスを試みました。

浜名湖花博 2024 では、海と花が奏でる音、花々が織りなす彩りなど海の神秘的な美しさや豊かさを詩情豊かに表現します。心の豊かさや喜びを共感できますれば幸いです。

華道　松濤流家元　三澤飛水』

ウ　第３期　４月 20 日～４月 26 日　花咲くしずおかフラワーネットワーク会議

＜展示説明＞花咲くしずおかの木

県内各地で生花店を営む「花キューピット 57 静岡支部」のメンバーの総力を結集して、迫力ある大きな作品を作り上げました。

『流木や枯れ木を組んで、大木を作りました。みかんのように木から吊り下がったボールは、静岡県産のお茶の葉で出来ています。静岡県産のお花もふんだんに使っています。

見た目はもちろん、お茶の香りも、ぜひお楽しみ下さい。』

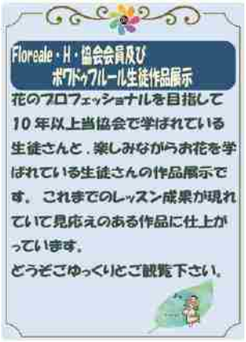
エ　第４期　４月 27 日～５月３日　Floreale･H 協会会員及ポワドゥフルール生徒作品展示

＜展示説明＞

『花のプロフェッショナルを目指して 10 年以上当協会で学ばれている生徒さんと、楽しみながらお花を学ばれている生徒さんの作品展示です。これまでのレッスン成果が現れていて見応えのある作品に仕上がっています。』

初心者からベテランの作品まで様々なタイプの作品が展示された。

来場者による人気投票も実施され、好評を博した。



オ　第５期　５月４日～５月 10 日　フラワースタジオＭ

＜展示説明＞フレッシュフラワーアレンジメント・プリザーブドフラワーアレンジメント作品展

『プリザーブドフラワーとは、丹念に育てられた新鮮な生花の中から加工に適する花を厳選し、独自の技術で組織を保ちながら、生花のようなしなやかさを長く楽しむことができる花です。

水を与える必要がないうえ、生花より軽く、プリザーブド液と一緒に色を吸わせることで様々なバリエーション楽しむことができる、生花とドライフラワーの両方の良さを兼ね備えた画期的な花材です。

プリザーブドフラワーやアーテフィッシャルフラワー・オーナメント・リボンなどを組み合わせて、行事や季節感をテーマにした作品を展示致します。

フレッシュフラワーアレンジメントでは、季節の花々にグリーンなどを添えて生花ならではのフレッシュで爽やかな季節感あふれる作品を展示いたします。花が持つ不思議な力に癒され心豊かな時間を共有できましたら幸いです

フラワースタジオＭ　三澤純子』

カ　第６期　５月 11 日～５月 17 日　日本フラワーデザイナー協会　静岡県支部

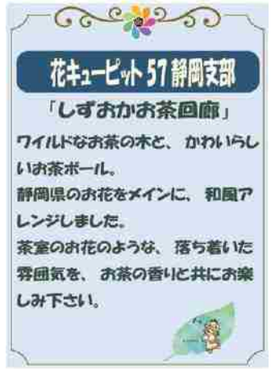
＜展示説明＞「母の日・母の月」

『テーマに合わせ、「フラワーデザイナー資格検定試験」の１級から３級の各級の出題テーマから発想した作品を、当協会の静岡県支部に在籍するフラワーデザイナーが制作しました。入り口には、英国の伝統的なスタイルを応用したウエルカムフラワー、奥にはフラワーアーチのフォトスポットを設置。使用しているのは、主に静岡県内産の花きと、デザイナー自身が庭やプランターで育てた植物です。切り花とガーデニングで育てた植物を組み合わせて、装飾的でありながら、植物の姿形や自然の風情を生かしたフラワーデザイン。人々の暮らしと自然を繋ぐ身近な文化の一つです。』

キ　第７期　５月 18 日～５月 24 日　花咲くしずおかフラワーネットワーク会議

＜しずおか お茶回廊＞

花咲くしずおかフラワーネットワーク会議の構成団体である「花キューピット 57 静岡支部」の若手メンバーが、本物の自然仕立ての“チャノキ”と県産花きを融合した展示を行った。チャの香り漂う室内にシャクヤクを初めとする華やかな県産花きが彩りを添えており、視覚・嗅覚でしずおかの魅力を感じることができた。



ク　第８期　５月 25 日～６月２日　　フルリール

＜展示説明＞花と針金で『暮らしをより楽しく、より豊かに・・・』

2013 年に花アート＆クラフト Fleurir を立ち上げ、花作家としてスタート。

日々の暮らしの中にお花を気軽に取り入れて頂けるよう、身近な素材で簡単に出来るナチュラルな花雑貨～スタイリッシュなフラワーアート作品を製作しています。自宅教室の他、浜松市生涯学習講座やＧＰ体験教室、イベントワークショップ等、多岐に活動中。

2024 年春よりこれまでのフラワークラフトに１本の針金から作るワイヤーアートをプラスして『より楽しく、より豊かに・・・』をコンセプトに暮らしを演出する作品をお届けしていきます。

花と針金 Fleurir（フルリール）　　倉橋美奈

（７）静岡県華道連盟による県産花き活用いけばな作品展示および人気投票

JA ふじ伊豆産のカーネーション、JA おおいがわ産のバラ、JA とぴあ浜松産のガーベラを使用し、連盟所属の 12 流派が、日頃の腕を奮って作り上げたいけばな作品を展示した。

流派の違いや作者の個性の違いなども感じられる展示として好評であった。

また、今回特別企画として、来場者による人気投票を実施した。なお、この投票に関しては、植物維持管理ボランティアの協力により、華道愛好家から生まれて初めて華道作品を鑑賞する方まで老若男女約２千名の来場者に投票いただいた。

アバランチェ、サムライ 08、ミニオンローズ、リメンブランス、ジュミリア、カルピディーム等のバラのほか、カーネーション、ガーベラから各々が好きな種類を選択し、他の自由選択花材も加え製作した。

各回入賞者（敬称略）

回	順　位	流　派	雅　号
第１回	第１位	東山源氏千家古流千月会	池貝恭舟女
〃	第２位	水月流	渥美清芳
〃	第３位	小原流	亀澤玉礼
第２回	第１位	華道瑩心流	伊熊紀雲
〃	第２位	花芸安達流	村木双瞳
〃	第３位	花芸安達流	山本福瞳
第３回	第１位	龍生派	鈴木貴洋
〃	第２位	日本生花司松月堂古流	堀　宜峰庵
〃	第３位	京古流	村上緑秋

（８）浜名湖花博メモリアル展示と伊江島ハイビスカス展示

しずおか国際園芸博覧会「浜名湖花博」当時のジオラマや公式記録集、有志が撮影した当時の写真を展示し、20 年前を懐かしむ空間を創出した。

また、「浜名湖花博」で展示したハイビスカスの“里帰り企画”として、5 月 18 日～5 月 24 日には伊江島ハイビスカス園のハイビスカスの展示即売が行われた。

20 年前、「浜名湖花博」で展示されたハイビスカスは、当時、花を活用した観光に力を入れていた伊江島に引き取られた。そして、伊江島での長年に渡る品種改良を経て、この度の里帰り展示となった。

なお、今回の浜名湖花博 2024 で展示したハイビスカスは、展示期間終了後、静岡県内の観光施設のほか、伊江島と縁の深い磐田市の小中学校へ寄贈された。

（９）浜松モザイカルチャー普及協会によるモザイカルチャー展示

浜松モザイカルチャー世界博 2009 以降、モザイカルチャーを広く普及するために活動している市民団体によるモザイカルチャー作品の展示。

動物を模した作品や今年の干支である龍を模した作品のほか、同団体がフラワーガーデンコンテスト内で展示している水鳥の骨組み等の展示もあり、フォトスポットとして幅広い世代から好評を博した。イマーシブミュージアムと同じ建物内にあるため、明るさの確保が大きな課題であったが、協会員のきめこまやかな手入れの甲斐もあり、期間中、見事な外観を保つことができた。

（10）浜名湖花博 2024PR 大使　當間ローズ氏　特別展示

浜名湖花博 2024PR 大使として任命されたタレント及び華道家である當間ローズ氏の作品を全期間を通じて展示した。全期間展示を行ったのは、枯れ盆栽の大型作品２点。枯れてしまった盆栽に新たな命を吹き込んだ氏の作品に、多くの来場者が感銘を受けている様子であった。

さらに、５月４日から 17 日にかけては、展示面積を大幅に拡大し、大小様々な枯れ盆栽のほか、県産花き、メンテナンスフリーゼリーを活用した生花アレンジ、そして氏が手がけた陶器作品の数々を展示し、和の空間を演出した。

また、出野製作所が作成した浜名湖花博 2024 オリジナル花台も用いられ、地域発の産業革新技術との共演が図られた。

←浜名湖花博 2024
オリジナル花台
（出野製作所作成）

（11）産業技術の展示

ア　静岡県の研究成果展示

静岡県農林技術研究所と静岡県工業技術研究所による最新の研究内容紹介コーナーとして、ポスター掲示と週替わりで実物の研究成果を展示した。農林技術研究所では「農林産物のブランド力強化」をテーマに、会場で植栽されているマーガレットを始めとし、ミカンやイチゴ、チャやスギ等、様々な農林産物の新品種を試飲・試食も織り交ぜ展示した。

工業技術研究所ブースでは金属３Ｄプリンタで実際のバラをスキャンして作られた「金属のバラ」や、レーザー加工機を活用した組子風のボードの展示等、最先端の技術を活用した花博オリジナルの展示物が展示された。

イ　花等をモチーフとした細工菓子の展示

浜松調理菓子専門学校の協力により、飴細工、砂糖細工、餅細工による美しい芸術作品を展示した。飴細工の中にはＧＰのマスコットキャラクター「のたねと仲間たち」も登場し、花をモチーフにしたオリジナルの細工菓子の数々が来園者を釘付けにした。

12　はままつフラワーパーク会場

（１）花修景の概要

ＦＰでは、「世界一美しい桜とチューリップの庭園」をはじめ、藤棚、ローズガーデン、スマイルガーデンなど、通常運営で管理する美しい庭園や花壇を基盤とし、花博事業として、新たに３つのメイン花壇「フラワーフォレスト」「はなのはら」「ウェルカムガーデン」を整備した。

また、来場者へのおもてなしや更なる美しさの追求を図るため、浜名湖ゲートや通常庭園及び花壇へ追加植栽を行った。会期後は、展示を一過性とせず、ＦＰの新たな目玉花壇として１年草植栽やプランターなど可動施設物除き、継続展示することとした。

ア　フラワーフォレスト

「没入体験型の庭で自然の美に包まれる」をテーマに制作された花壇で、ガーデンデザイナー吉谷桂子氏がデザインした。花博 20 周年に因み 20 個の花形をした花壇に、八重シダレザクラなど花に包まれる感覚を味わえる植物を効果的に植栽し、桜の花の森をつくり上げた。また、約 12,000 株球の宿根草や球根などを多種植栽し、華やかな春の花の森を演出した。

面積	花壇面積 200 ㎡、全体面積 950 ㎡（芝生含む）		
主要植物	【中高木】	20 本・6 品種	八重シダレザクラ 11 本、オモイガワサクラ 2 本、オオシマシダレザクラ 3 本、マグノリア・ロベルスドリーム１本、ツツジ・エクスバリー１本、ミツバツツジ 2 本
	【低木】	322 本・8 品種	コバノミツバツツジ、コデマリ、ボケ、ユキヤナギ(ピンク)、斑入りユキヤナギ、八重ヤマブキ、シロヤマブキ、ベニバナトキワマンサク
	【球根】	約 8,000 球・10 品種	イフェイオン、チューリップ、スイセン、イキシア
	【花苗】	約 4,000 ﾎﾟｯﾄ・22 品種	アネモネ、パンジー、アリッサム、エリシマム、タマリュウ、アジュガなど

イ　はなのはら

野原のようなナチュラルな風情のあるサステナブルガーデンをテーマに制作された花壇で、浜松市出身のガーデンデザイナー小倉珠子氏がデザインした。見頃の異なる植物や生き物が好む植物など約 20,000 株球の宿根草や球根を多種組み合わせて植栽し、日々変化をもたらす植物相豊かな花壇とした。また、植物が成長する姿も鑑賞の一つとし、新たな花壇の楽しみ方を提案した。

面積	全体面積約 290 ㎡		
主要植物	【低中木】	16 本・7 品種	アメリカテマリシモツケ、ビバーナムなど
	【球根】	約 17,000 球・26 品種	チューリップ、スイセン、アネモネ、カマシア、アリウム、クロッカス、シラー、バイモユリなど
	【宿根草類】	約 2,000 株・40 品種	イチハツ、オミナエシ、キキョウ、ワレモコウ、ノコンギク、アガスタシェ、アムソニアなど
	【花苗】	約 600 ﾎﾟｯﾄ・２品種	プリムラマラコイデス、ビオラ

ウ　ウェルカムガーデン

撮影スポットや小規模なイベントができるシンボリック花壇「フローラサークル」と花の移り変わりと共に展示替えをするエントランス花壇で構成された花壇で、吉谷桂子氏がデザイン監修をした。入園した際のワクワク感やおもてなし感を大切にインパクトのある展示を目指した。展示替えは２回行い、フジやバラなど見頃の花を中心に構成をした。

面積	花壇面積約 130 ㎡		
主要植物	◆フローラサークル		
	【中木】	10 本	ベニバナトキワマンサク
	【花苗・球根】	約 1,200 株	パンジー、アネモネ、チューリップ、スイセンなど （5 月一部植替え予定）ベチュニア、サンパチェンスなど
	◆エントランス花壇		
	春展示（開幕～4 月中旬）		チューリップ、ヒヤシンス、ビオラ、カレンデュラなど
	【花苗・球根類】	約 3,100 株	
	フジ展示 （4 月下旬～5 月上旬）		フジ、マトリカリア、アヤメ、シャクヤクなど
	【低木・花苗】	約 500 株	
	初夏展示（5 月中旬～閉幕）		バラ、アジサイ、サルビア、マリーゴールドなど
	【低木・花苗】	約 1,400 株	

（２）夜間ライトアップ

桜とフジの満開期は、夜間ライトアップを行い、日中とは異なる花と光の幻想的な世界を演出した。

・桜ライトアップ　　：３月 23 日～４月６日
・フジライトアップ　　：４月 25 日～５月５日

（３）大温室クリスタルパレス

大温室クリスタルパレスでは、展示テーマを設け 3 回の展示替えを行った。また、ヒマラヤの青いケシや青い胡蝶蘭の大鉢展示など特別展示を並行して行い、常に美しい花々が溢れる空間を創出した。

ア　テーマ展示

期　間	テーマ	主な植物
3/23(土)～4/21(日)	春ラン漫	ラン、デルフィニウム　など
4/25(木)～5/19(日)	穏やかなひととき	バラ、ジギタリス　など
5/25(土)～6/16（日）	涼をもとめて	ヤシ、ビカクシダ　など

イ　特別展示

期　間	展示内容	展示場所
3/23(土)～6/16(日)	青い胡蝶蘭（青い色素で染色）	カスケード池
4/11(木)～4/21(日)	ガーベラ（浜松 PC ガーベラ協力）	温室入口
4/27(土)～5/6（月）	キク（㈱デリフロールジャパン協力）	
3/23(土)～4/7（日）	ブラックアイリス	室内各所
4/9(火)～4/21(日)	食虫植物の花	
4/26(金)～5/19(日)	ヒマラヤの青いケシ	
5/18(土)～5/26（日）	ガーベラのフラワードレス	
5/28(火)～6/16(日)	きらめく植物(ジュエルオーキッドなど)	

行催事

【ＧＰ】

１　基本的な考え方

・県内企業、県民参加を主体に、開催テーマにちなんだ様々な企画内容とする。
・花みどりとデジタルを多様な切り口で紹介し花みどり、デジタルへの興味・関心を深める契機とする。
・花博のレガシーである「豊かな暮らしの創造」をもとに、花みどりとデジタルだけでなく多様なテーマに合わせたイベントを開催し、幅広い層に花博への興味・関心を抱いてもらう契機とする。

２　行催事の枠組み

	区　分	内　容	実施場所
行事	開幕式	オープニングセレモニー	北入場ゲート
	節目入場記念	20・50・70・95 万人目入場者に対する記念セレモニー	園内各所
	閉幕式	来園者、関係者と、しずおか国際園芸博覧会以降 20 年活動継続中のボランティア等へ謝意を伝えるセレモニー	屋外ステージ
催事	主催・誘致イベント	イマーシブミュージアム 企業出展イベント スマート農業体験 デジタルミライ館 スズキ（株）協力イベント	体験交流ひろば、スマート農業体験、デジタルミライ館、園内
	行政・協賛イベント	県内外市町や花博 2024 協賛企業・団体を来園者に PR する場	日替わりイベントブース他
	県民参加イベント（ステージ・体験教室・作品展示）	県民を中心とした公募イベント	屋外ステージ、体験交流ひろば、かえで橋ギャラリー

３　主催・誘致イベント

（１）イマーシブミュージアム

メインテーマである花×デジタルの実現かつ集客の目玉として取り入れた、没入型デジタルアートミュージアム。モネの絵画をモチーフにした内容で、会場の「印象派庭園　花美の庭」とのシナジーを意識した。運営の委託先である電通東日本が施工から運営まで含め実施。会場入場料とは別に有料で実施した。

（２）企業出展イベント

浜名湖花博 2024 の開催意義である花緑とデジタルを取り入れた豊かな暮らしの提案をテーマに主催した。週替わりでのサブテーマを８つ設定し、令和５年９月に公募した結果、期間中 28 社（団体）が出展した。体験交流ひろばに設営した 20m 四方の仮設大型テント内特設ブースや園内各所にて、「体験」を軸にした各イベントが行われた。出展者調整及びブース運営は運営委託先の電通東日本が実施した。

（３）スマート農業体験

静岡県のスマート農業技術の PR の場としてのコンテンツ設営及び運営について、県内で先進的な取組を行う企業が参画する AOI フォーラムの会員に対し５月に案内し、株式会社 HappyQuality が受託した。会場では最先端の技術を投入したトマト栽培温室展示や農作業ＶＲ体験などが行われた。

（４）デジタルミライ館

実行委員会委員である静岡文化芸術大学デザイン学科の和田教授指揮のもと、静岡文化芸術大学と静岡大学の学生によるコラボレーション展示を実施。最新のデジタル技術を駆使した様々な体験型のデジタルアートイベントを実施した。２大学の学生を主体に、電通東日本、ボランティアによる補助もありつつ運営した。

（５）スズキ（株）協力イベント

浜名湖花博当時から友好的な関係を築いてきた「スズキ株式会社」の協力により、園内で様々なイベントを開催期間を通して実施した。通期では園内最奥部「印象派庭園　花美の庭」と入口を繋ぐ自動運転車両乗車体験「フローラムーバー2024」をはじめ、電動モビリティベースユニット操作体験、音声ガイド機能付きセニアカーの貸出、ワーケーション車両の展示を実施した。期間限定では電動アシストカート「KUPO」の貸し出しやスズキクリーンオーシャンプロジェクトと連携した講演会や浜辺の観察園の清掃活動を実施した。なお、電動モビリティベースユニット操作体験、セニアカーの貸出は電通東日本に運営を委託して実施し、期間限定イベントやフローラムーバー2024 はスズキ株式会社による自主運営で実施した。

４　県民参加イベントの公募

浜名湖花博 2024 における会場内の賑わい創出のため、県民参加イベントの募集リーフレット「イベント参加者募集のご案内」を作製し、参加促進を図った。

リーフレットは HP での掲載広報を中心に、ＧＰや市内各施設等に設置し、令和５年 10 月から令和６年２月にかけて、県民等主催によるステージイベント、体験教室及び作品展示の募集を行った。

５　行政・協賛イベントの実施

ＧＰにおける、行政が参加可能なイベントを設定し、県内外へ参加を募った。

この結果、30 団体（県内 20 市町３団体、県行政組織４団体、県外３団体）が参加し、各県・市町・団体の独自の企画・運営による特色ある郷土芸能・音楽等の披露、観光資源・特産品等の各種 PR を行った。また、協賛企業による PR の場も提供した。

６　イベント（催事）実施件数

種類		ＧＰ
主催・誘致イベント		5 件
行政・協賛イベント		33 件
県民参加イベント	ステージ	68 件
	体験教室	42 件
	作品展示	10 件
計		158 件

７　イベントの実績

企業出展イベント

（１）定期ブース出展

【花緑・園芸week】４月６日（土）～４月14日（日）

直香園芸	サングリーン青嶋	プチ・フルール	

【浜名湖week】４月15日（月）～４月21日（日）

エフ・シー・シー	ウォット・水産技術研究所	カラフルスタジオ	

【ものづくりweek】４月22日（月）～４月28日（日）

風の家工房	株式会社アイエイアイ		

【アクティブweek】４月29日（月・祝）～５月５日（日）

静岡産業大学	ふじのくにアウトドア企業組合	株式会社YAMADA	赤ちゃんと人形の店 河田

【音楽week】５月６日（月・祝）～５月12日（日）

ヤマハ株式会社	ローランド株式会社	株式会社河合楽器製作所	

【美容・健康week】５月13日（月）～５月19日（日）

浜松ホトアグリ	西部理容美容専門学校	株式会社資生堂	株式会社杏林堂薬局

【デジタルweek】５月20日（月）～５月26日（日）

NTT西日本	ジュニアプロコン	浜松工業技術支援センター	

【internationalweek】５月27日（月）～６月２日（日）

オイスカ浜松国際高校	（独）国際協力機構 JICA浜松デスク	（公財）浜松国際交流協会（HICE）	

【常設展示】４月６日（土）～６月２日（日）

スズキ株式会社	ヤマハ発動機株式会社	株式会社ソミックトランスフォーメーション	静岡県新産業集積課

（２）不定期出展

４月６日・７日

トヨタ自動車株式会社	傘モビ乗車体験

毎週土曜日

株式会社ソミックトランスフォーメーション	SUPPOT追従体験

５月18日・25日・６月１日

株式会社イシグロ	親子釣り教室

５月25日・26日

静岡県酒造組合	日本酒試飲イベント

不定期出展

株式会社EX.あおば	休憩スペース展示

ステージイベント

月日	出演団体
4月6日	浜松湖南高校吹奏楽部（オープニングイベント）
	Ram Maharjan
	MAASA
	ちんどんや浜松花蝶ちん
	JOUU SHOUU
4月7日	THE GRAND PARTY
	ジャック＆ジル
4月13日	Festa do Brasil
4月14日	ハンマーダルシマー　平野明子
	浜名湖フォークトピア
4月20日	ハクビ京都きもの学院
	アワプヒフラ ホアピリ
	イエーィエ
	モルトピアチェーレ
	KENZO
4月21日	スズキ 海の環境教育
	メケアロハプメハナフラスタジオ
	アワプヒフラ
	袋井市スポーツ協会
	Tommy
	浜松インドネシア友好協会
4月27日	和地ドレミ会
	ハンマーダルシマーズ
	浜松市消防音楽隊
	道化師（Joker）
	メローサウンズオーケストラ
4月28日	ICHIMI
	アラカーン
	常葉大学浜松キャンパス地域貢献サークルCocoa
4月29日	あいみぃ
	ホシノオトHAMAMATSU
	魁鼓／KAIKO・500
5月3日	うたぶえオーケストラ
	ぐ～び～す
	Mika
5月4日	村櫛秋祭り実行委員会
	てぃあーず
	川根本町赤石太鼓保存会
	みなみ～ず
5月5日	吹奏楽フェスティバル（浜北西、桜丘（豊橋）、浜松市立）
5月6日	吹奏楽フェスティバル（浜松修学舎、光ヶ丘女子（岡崎）、浜松聖星）

ステージイベント

月日	出演団体
5月11日	よさこい平松連
	横浜国際園芸博覧会協会
	河合楽器製作所
	歳田彩雅
5月12日	バンダナス
	VIXIE
	澄みじ会
	河合楽器製作所
	静岡ＳＳＵボニータ＋ヤナギアオ
5月18日	ヤマハ吹奏楽団
	杏林堂薬局
	Sozone
5月19日	園芸福祉シンポジウム
	トゥーシースマイル
	フィ・フラ・オ・レイアロハ
	伊江村
	引佐吹奏楽団
5月25日	SPAC（静岡県舞台芸術センター）
5月26日	とあるとふたり
	ルーシーズ
	ヘリオス
	常葉大学浜松キャンパス地域貢献サークルCocoa
6月1日	はまなこハミング
	ガーデナーズジャンボリー
6月2日	湖西市
	Bemy
	フラワーガーデンコンテスト表彰式、閉幕式

体験教室（ワークショップ）

月	日	実施団体
4	6	リメイクデコ
		KEI　FLOWER
4	7	なでしこ絵手紙倶楽部
		KEI　FLOWER
4	8	アンジェリークローズ
		押し花アート
4	9	アンジェリークローズ
		押し花アート
		草笛愛好会
4	10	アンジェリークローズ
		折り紙教室
4	11	アンジェリークローズ
		折り紙教室
4	12	FITデザイン研究室
		折り紙教室
4	13	FITデザイン研究室
		レク楽の会
4	14	木もく工房
		レク楽の会
4	15	木もく工房
		MUSK
4	16	手描き染め教室
		MUSK
4	17	手描き染め教室
		MUSK
4	18	手描き染め教室
		MUSK
4	19	手描き染め教室
		MUSK
4	20	ヤマハ　おとの森プロジェクト
		るみ工房
4	21	アロマぶらんこ
		wan nyan 50
4	22	フルリール
		wan nyan 50
4	23	フルリール
		wan nyan 50
		草笛愛好会
4	24	フルリール
		KEI　FLOWER

体験教室（ワークショップ）

月	日	実施団体
4	25	フルリール
		KEI　FLOWER
4	26	フルリール
		KEI　FLOWER
4	27	Sozone
		ドゥクレ協会
4	28	パステルメリー
		ドゥクレ協会
4	29	ドゥクレ協会
4	30	木好師倶楽部
		ドゥクレ協会
5	1	Tiny House
		木好師倶楽部
5	2	Tiny House
		ドゥクレ協会
5	3	Tiny House
		ドゥクレ協会
		キッズバイク体験
5	4	Tiny House
		FITデザイン研究室
5	5	Tiny House
		FITデザイン研究室
5	6	糸かけHAT
		なでしこ絵手紙倶楽部
5	7	糸かけHAT
		なでしこ絵手紙倶楽部
		草笛愛好会
5	8	浜名湖花倶楽部
		Lea Lea Kukuna
5	9	フラワースタジオM
		Lea Lea Kukuna
5	10	フラワースタジオM
		Lea Lea Kukuna
5	11	フラワースタジオM
		Lea Lea Kukuna
5	12	フラワースタジオM
		Lea Lea Kukuna
5	13	アンジェリークローズ
		wan nyan 50
5	14	アンジェリークローズ
		wan nyan 50

体験教室（ワークショップ）

月	日	実施団体
5	15	なごみ茶屋
		どんぐりっこ
		草笛協会
5	16	押し花アート
5	17	押し花アート
		KEI　FLOWER
5	18	国立印刷局
		花工房ことの葉
		杏林堂薬局
5	19	Cozy Place
		手作り編み物
5	20	Sozone
		木好師倶楽部
5	21	Sozone
		木好師倶楽部
		草笛愛好会
5	22	Sozone
5	23	Sozone
		木好師倶楽部
5	24	西部県民生活センター
		MOCOBO
5	25	Sozone
		花工房ことの葉
5	26	Sozone
		ふじのくに竹王国企業組合
5	27	木もく工房
		MOCOBO
5	28	木もく工房
		MOCOBO
5	29	なごみ茶屋
		フルリール
5	30	御花印帳.com
		フルリール
5	31	御花印帳.com
		KEI　FLOWER
6	1	御花印帳.com
		静岡県立美術館
6	2	UDS素材専門店プリザ
		静岡県立美術館

日替わり PR イベント（市町・協賛）

月	日	出展団体
4	6～12	浜松市
4	6	下田市
4	7～12	静岡県森林・林業局
4	14	藤枝市
4	19～20	三島市
4	20	静岡県農芸振興課
4	21	焼津市
		エスパルスドリームプラザ
4	26～27	富士市
4	27	日本郵便株式会社 浜松地区連絡会
4	28	掛川市
		マックスバリュ東海
4	28～29	静岡県空港振興局・観光交流局
4	29	森町
5	3	牧之原市
5	3～4	磐田市
5	4	川根本町
5	5	菊川市
5	6	東伊豆町
		御前崎市
5	11	吉田町
		袋井市
		遠州信用金庫
5	12	御殿場市
5	12～17	富士宮市
5	18～19	沖縄県伊江村・磐田市
5	21～24	島田市
5	23～24	岐阜県
5	25	遠州信用金庫
5	25～26	山梨県南アルプス市
		静岡県自然保護課・自然保護財団
6	1	自衛隊静岡地方協力部
6	1～2	志太３市１町（島田市、焼津市、藤枝市、川根本町）
6	2	湖西市

かえで橋ギャラリー（作品展示）

月	日	実施団体
4	6～14	JAとぴあ浜松女性部
4	6～14	ペーパークイリング・折り紙
4	15～28	ココロをつなぐリースの会
4	29～5/5	布の花　モラアート
4	29～5/5	JAとぴあ浜松女性部
5	6～12	ちぎり絵と水彩画展
5	6～26	静岡県道路公社写真展
5	13～26	レカンフラワーとグラスアート展
5	27～6/2	糸かけ工房
5	27～6/2	押し花アート展

【ＦＰ】

１　基本的な考え方

・浜松市民や浜松市内の企業・団体を主体に、開催テーマにちなんだ様々な企画内容とする。
・デジタル技術を活用し、花みどりの新しい愉しみ方を提案することで、花みどりへの興味・関心を深める契機とする。
・花みどり関係者の交流促進や、浜松市の魅力を発信するイベント等を展開する。

２　行催事の枠組み

区　分		内　容	実施場所
行事	開会式	主催者挨拶、発起人挨拶、来賓祝辞、テープカット	大温室クリスタルパレス
	節目入場記念	10・30・80・100 万人目入場者に対する記念セレモニー	ウェルカムガーデン
	閉会式	主催者挨拶、ガーベラプレゼント、お見送り	ウェルカムガーデン
催事	主催・誘致イベント	ウォータースクリーン大噴水ショー 花みどり映像館 ステージイベント 企業・団体出展 利活用 PR 出展 浜松市動物園の無料化 庄内地区無料招待	噴水池、花みどり館、ウェルカムガーデン、大温室クリスタルパレス、ウッドデッキステージ、展示プラザ、フラマウンド、見晴らしの丘、園路
	県民・市民参加イベント（ステージ・体験教室）	県民・市民を中心とした公募イベント	大温室クリスタルパレス、ウッドデッキステージ、フラマウンド、花みどり館

３　主催・誘致イベント

（１）ウォータースクリーン大噴水ショー

デジタル技術の活用かつ集客の目玉として、大噴水ショーを実施した。日本最大級のウォータースクリーンでは、巨大キャラクターが次々と現れる音と光と映像の演出で、大人から子供まで幅広く楽しめるコンテンツとなるよう意識した。会場全体の運営委託先である株式会社 SBS プロモーション・エイエイピー・TOPPAN 株式会社特定委託業務共同企業体（以下、「共同企業体」という。）が施工から運営まで実施した。

（２）花みどり映像館

ＦＰの花々の魅力の新たな愉しみ方の提案として、360 度映像を体感する特設シアター「花みどり映像館」を展開した。ＦＰの旬の花々をはじめとした没入感のある 360 度映像を、シアターに見立てた部屋の天井や壁に投影した。多様な愉しみ方を体験していただくため、同様の映像を VR ゴーグルで視聴できるブースも設けた。会場全体の運営委託先である共同企業体が施工から運営まで実施した。

（３）浜松市動物園の無料化

６月１日（土）から６月 16 日（日）において、ＦＰ入場者を対象に、隣接する浜松市動物園の入園料無料化を実施した。期間中は、延べ 21,614 名が本事業により動物園に入園した。

（４）庄内地区無料招待

６月 15 日（土）（午後２時～午後８時 30 分）、６月 16 日（日）（午後２時～午後５時）の２日間、庄内地区９町（深萩町、平松町、呉松町、白洲町、舘山寺町、庄内町、協和町、庄和町、村櫛町）の住民を対象に、ＦＰの無料招待を行った。２日間で合計 1,027 名が来場した。

（５）ステージイベント

著名人のスペシャルコンサートやオカリナフェス、プロムナードコンサートなど、「音楽の都・浜松」を象徴する音楽イベントを多数実施した。その他、フラフェスティバルや桜月流美剱道のステージなど文化的なイベントを実施した。

（６）企業・団体出展

ＦＰにおいて、企業・団体が出展可能なイベントブースを園内展示プラザに設け、令和５年９月から募集を行った。この結果、23 の企業・団体が参加し製品の展示や技術の体験等の PR を実施した。

（７）利活用 PR 出展（庁内）

ＦＰにおいて、浜松市が実施する事業の PR の場として庁内関係課に会場を提供した。この結果、延べ 27 課が参加し、事業の PR を実施した。

4　県民・市民参加イベント

ＦＰの賑わい創出のため、県民・市民が参加可能なステージイベントを実施した。令和５年９月から 11 月まで募集したところ 97 団体が参加し、ダンスなど幅広いジャンルのステージが展開された。

5　イベント（催事）実施件数

種　類		件　数
主催・誘致イベント	主催者企画など	38 件
	企業・団体出展	27 件
	利活用 PR 出展	27 件
県民・市民参加イベント	ステージイベント	97 件
	体験教室	8 件
計		197 件

6　イベントの実績

主催・誘致イベント（主催者企画など）

月	日	催事概要（タイトル・出演者等）
3	23～31	ウォータースクリーン大噴水ショー
4	1～6	
4	25～30	
5	1～5	
3	23	浜商OBOG吹奏楽団
3	30	桜月流美剱道
3	31	ザ・フラフェスティバル
4	6	吉谷桂子さんの「イングリッシュガーデンの世界」
4	7	吉谷桂子さんと寄せ植え体験
4	13	志穂美悦子&浜松開誠館「花生けパフォーマンス」by浜松PCガーベラ
4	13～21	サクラソウ展
4	14	プロムナードコンサート、サクラソウ講座
4	20	K-MIX「らじコン」公開生放送企画
4	21	三上真史「花みどりトークショー」
4	28	秋川雅史&鈴木豊乃スペシャルコンサート
		秋川雅史&塚本こなみトークライブ
4	29	塚本こなみさんの「藤の世界」
4	28～29	舘山寺ランタンプロジェクト×浜名湖花博2024
5	5	ERIKO～花のコンサート～
5	6	氷工房にはしのフローラルアイスパフォーマンス
5	11	河合伸志さんの「バラの世界」
5	18	庄内学園創立10周年記念式典
5	18～19	キッチンカーフェスタ
5	19	小倉珠子さんの「サスティナブルガーデンの世界」
5	20	大菊の育て方入門教室
5	24～26	サツキ展
5	25～26	オカリナフェス花博スペシャル
6	1～16	浜松市動物園の無料化
6	8	浜松市消防音楽隊
6	9	常葉大学「はままつフラワーパーク芸術祭」
6	15～16	庄内地区無料招待
6	15	浜松市立北星中学校太鼓部、庄内地区煙火やらまい会手筒花火
6	16	浜松いわた信用金庫吹奏楽団
全期間		花みどり映像館、大道芸パフォーマンス
コンテスト		コンテナガーデン、感動フォト、インスタグラム、絵手紙

主催・誘致イベント（企業・団体出展）

月	日	出展企業/団体
3	23～28	風の家工房
		ピーロートジャパン株式会社
		草木染め工房ファブリック鈴忠
		株式会社Colorful Studio
		株式会社ハマナコベリーズファーム
3	29～31	株式会社マラナタ
		株式会社内山商会
		湖西市新居・中根庭園を研究する会
4	1～9	三遠庭園研究会
		株式会社D-on
		一般財団法人浜松公園緑地協会（4月5日～4月9日のみ）
4	25～30	一般社団法人ユニバーサルデザイナーズ協会静岡教室
		ピーロートジャパン株式会社
		草木染め工房ファブリック鈴忠
		アロマぶらんこ
5	1	my succulents
		株式会社ハマナコベリーズファーム
5	7～20	橋本エンジニアリング株式会社
		株式会社Magic Shields
		はまきた施術院　小池店
		株式会社YAMADA
		YK・コラボ株式会社（5月7日～13日のみ）
		Green Box
5	30～31	三河ミクロン株式会社
6	1～5	一般財団法人浜松公園緑地協会
		幸福、無限のクローバー
6	6～12	有限会社池谷製作所

主催・誘致イベント（利活用 PR 出展）

月	日	関係課
3	23	農業振興課
3	24	農業振興課
		道路企画課
3	27	企画課
3	30	農業振興課
4	6	産業振興課
4	7	企画課
4	14	産業振興課
		創造都市・文化振興課
4	26	農業水産課
4	27	農業水産課
4	28	農業水産課
		産業振興課
4	29	産業振興課
5	12	市民生活課
5	14	観光・シティプロモーション課
5	18	健康増進課
		こども若者政策課
		道路企画課
5	19	児童相談所
		農業振興課
5	25	西消防署
5	26	西消防署
6	2	一般廃棄物対策課
6	8	消防総務課
6	9	農業振興課
6	15	農業振興課

県民・市民参加イベント（ステージイベント）

月	日	出演団体
3	31	ヒークフーク
		Molto Piacere
		Mika
4	6	てぃあーず
		くれな と ちはや
		フルーピア
		ハワイアンフラサークルピカケ
		パンダ山46
4	13	よさこい平松連
		ICHIMI
4	14	和地ドレミ会
		ベル アンジェ
		N.D.D.
		ののアンサンブル
4	20	オカリナバンド森のなかま
		oasis hamamatsu
		Solo Uno
4	21	プリモアンサンブル
		pomecolo
		Clover
		レイナアラ
		全日本健康音楽研究会
4	27	NENKINZ
		浜名リコーダーアンサンブル
		夢見月duo
		天竜B&G海洋センター　レインボーガールズ
		アワプヒフラ ホアピリ
		NICK
		チームさいさい
4	29	アワプヒ フラ
		龍星百色
		ロコポールムジカ
		むつみとちはや with Dance zone Respect
		敬心会中国舞踊部
		紙芝居ふくちゃん
4	30	kimono musette
		ととここ
		hoa hele(ホア ヘレ)
5	1	うたぶえオーケストラ
		はぴぷるん
		二胡彩音
5	2	らいと♪ハーモニー
		りっぷるとぉん
		あぃみぃ
		とらちゃんず
5	3	Comfy
		なないろ
		Nクラリネットアカデミー
		SoBerry
		ハーラウ・ハウオリ
5	4	湖東ビッグバンドクラブ
		月刊MAVERICK
		小島羚瑒(こじまれいよう)
		ぐ～び～ず
		They bloom slowly
5	6	二胡アンサンブル美麗花
		トゥーシースマイル
		NPO music club
		えみしの阿空♪
		鞍バンド
5	11	AOIハーモニック浜松
		フルートデュオ　そよ風
		中部二胡之会
		Nā Lehua ナーレフア
		Nā Lei O Kapalai
		Nalu Pili Aloha
		玉すだれ楽会
5	12	Anointed mass choir
		クローバー
		フルハウス浜松
		みずきん☆with Fendy
		ファミリークワイア
6	1	ウクレレアンサンブル花咲組とパンダナス
		ホール コスモス
		ハンドレッド・ドアーズ
		パンダナス with Hula
6	2	ゆうころんと愉快な仲間たち
		夢グループ
		和の奏うたら
		な・ま・す・て
		民謡鈴木流　峰晴会
6	8	オギさんたち
		Revos
		花音
		Wacho & Students
6	9	Hui Ia O Kahula
6	15	クリスタル・リンガーズ
		アカペラサークルフルハウス NiFTY
		夕方ふれんど
		浜名湖フォークトピア
		NEW STEP
6	16	浜松スティールパンバンド
		Hale ’Ohana
		4628(ヨロズヤ)楽団
		メケアロハプメハナ
		TEAM BLENDA
		都田ジャズオーケストラ

県民・市民参加イベント（体験教室）

月	日	実施団体
3	30	ガーベラと松ぼっくりを使ったフラワーアレンジメント
4	7	フラワードームづくり
4	20	ガーベラと松ぼっくりを使ったフラワーアレンジメント
4	29	固まるフラワーハーバリウムづくり
5	12	母の日スワッグづくり
5	19	ステンドグラスミニプランターづくり
5	25	アロマフラワーキャンドルづくり
6	2	絵手紙教室

会場運営

１　概要

ＧＰは、浜名湖花博 20 周年記念事業実行委員会（県部会）が、運営業務受託者である株式会社電通東日本静岡支社とともに運営し、ＦＰは、浜名湖花博 20 周年記念事業実行委員会（浜松市部会）が指定管理者である公益財団法人浜松市花みどり振興財団、会場全体の運営委託先である共同企業体と連携・調整して運営を行った。

両会場において、来場者が安全で快適に「浜名湖花博 2024」を楽しんでいただくため、「サービス窓口」として総合案内所を設け、イベント等の情報発信、会場内における来場者からの問い合わせ対応、体調不良者等の緊急案件などの情報集約の対応を行った。

会場サービスの提供にあたっては、運営スタッフだけでなく、ボランティアの方々の多大な協力に支えられた。

２　会場サービス

（１）会場案内

ＧＰでは、会場内の「総合サービス窓口」として、総合案内所、南案内所、東案内所を設置し、来場者問い合わせの対応を行った。問い合わせで多かったものは、会場内の花の見どころ、庭園の場所、展示・催事の内容、シャトルバスやＧＰと浜名湖畔をつなぐ舟運の発着時刻や、周辺の観光施設に関するものだった。問い合わせ内容に対しては無線により、常にディレクター、スタッフ同士で情報交換・情報収集を行うとともに、運営本部、会場内放送を担当する情報センターと連携し、迅速に対応した。

また、ＧＰでは、デジタルを活用して来場者が楽しく情報収集ができる取組として、イベント情報や花の見頃情報を週替わりで提供するデジタルサイネージの設置、来場者のスマートフォンを使って楽しめる位置情報を使ったガイドサービスおともたびや草木の検索ができるアプリバイオームを花博仕様に整備した。また、HP では会場の様子や情報を得ることができるメタバースを整備し、多くの方が楽しみながら花博について情報を得ることができるようなコンテンツを作成した。

ＦＰでは、総合案内所・正面ゲート・浜名湖ゲートを設置し、毎朝予約団体、イベントの内容の印刷掲示を行って情報共有化に努めた。無線を使用して常にディレクター、スタッフ同士で情報交換を行うとともに、管理事務所とも連携し、来場者からの問い合わせに迅速に対応した。

具体的には、会場マップを利用し、展示内容、催事、シャトルバスや周辺交通機関に関する問い合わせに対応した。また、観光案内パンフレット等を配架し、浜名湖花博 2024 以外の周辺観光施設に関する問い合わせにも、可能な範囲で迅速に対応した。

（２）貸出サービス

ＧＰでは、北貸出所、南貸出所、東案内所の３箇所で車いす・ベビーカー・シルバーカーの貸出を行った。車いすについては、荷物の運搬など目的外の使用の制限、ベビーカーについては、２歳以上の使用を制限するなどの貸出条件を設けた。貸し出した場所への返却を基本としたが、他の貸出所への返却にも柔軟に対応した。

既存の車いす・ベビーカー・シルバーカーをそれぞれ 28 台、６台、４台運用したが、車いすは多くの需要があり返却待ちの状態となる日が発生したため、期間中にレンタルを追加し、待ち時間の短縮を図った。返却待ち発生時には、貸出箇所を北貸出所に集約し、案内を統一した。貸出状況は無線で常に各貸出所での残数を把握し、的確な案内に努めた。

その他、スズキ株式会社に提供いただいたセニアカーを 15 台を３時間 200 円で貸し出した。また、期間限定でＫＵＰＯを２台無料で貸し出した。セニアカーについては、混雑期の事故防止のため、ゴールデンウィーク期間の貸出しを中止した。

ＦＰでは、正面ゲート、浜名湖ゲート２箇所で車いす 30 台・シルバーカー（手押しカート）10 台の無料貸出しを行った。またシニアカー（電動乗用カート）10 台、及びフララ（車いす運搬車両）１台の有料貸出しを行った。この貸出しについては、繁忙期にシニアカーの事故が発生したため、事故後、来園者の安全確保の観点から、ゴールデンウイークや土日のシニアカー貸出しを中止し、平日のみの運用とした。またフララについては、貸出しを中止した。

（３）ベビーサービス

ＧＰでは、授乳室を体験学習館内に設置し、室内に授乳可能なブースを４室を用意した。入口に利用カードを配置し、使用時には使用中の表示を、使用後は使用可能の表示となるよう、利用者に表示の切り替えを依頼した。

ＦＰでは、授乳室（ベビールーム）を正面ゲートメインエントランストイレ内、フラマウンド休憩所トイレ内、こども広場の３か所に設置した。おむつ替え用ベビーベッド２台、授乳可能な個室３室を用意した。授乳室の使用が重なり、不足する際は花みどり館救護室も利用可として対応した。

（４）迷子・迷い人対応

ＧＰでは、迷子・迷い人の情報は、総合案内所で集約を図った。運営本部、情報センター、実行委員会事務局職員、各ディレクター、及び各スタッフへ無線でリアルタイムに情報を提供し、迷子の早期発見、早期解決に努めた。高齢者等の迷い人についても迷子に準じて対応した。

ＦＰでは、管理事務所にて情報の集約を図った。各スタッフへ無線でリアルタイムに情報を提供し、迷子の早期発見、早期解決に努めた。高齢者等の迷い人、団体ツアー客の呼出しについても園内放送にて対応した。

（５）遺失物・拾得物

ＧＰでは、当日の遺失物・拾得物情報は総合案内所で集約し、各案内所へ情報の共有を図るとともに、貴重品についてはその都度、本部へも情報提供し、問い合わせへの迅速な対応を図った。翌日以降は本部管理し、電話問い合わせへの対応や持ち主が確定できた場合の返却対応を行った。落とし主が判明しない拾得物は、所管の浜松西警察署会計課落とし物係へ移管した。

ＦＰは、管理事務所で遺失物・拾得物の管理を行った。遺失物・拾得物は、届出用紙へ記入後にデータ登録を行い、各部署で確認できるようにした。財布やクレジットカード等の貴重品は、拾得日から１週間以内に、主に舘山寺町交番に届けた。持ち主が見つかった拾得物については、１ケ月以内に取りにきていただくか、着払いで送った。

（６）コインロッカー

ＧＰでは、南貸出所横、北貸出所横、体験学習館横、子供広場、展望塔下の５カ所（計 16 台、172 口）に設置した。使用者が利用しやすいよう小ロッカー（料金 200 円）と大ロッカー（料金 400 円）の２種類を設置した。

ＦＰでは、正面ゲートに小ロッカー16 個（料金 200 円）、大ロッカー４個（料金 300 円）の２種類を設置した。浜名湖ゲートの動物園側にもコインロッカーを設置し、宿泊客等の荷物をお預かりした。コインロッカーの空きが無い場合は、料金を徴収し管理事務所でも荷物をお預かりした。

３　インフォメーション、情報センター

ＧＰでは、運営本部棟内に電話問い合わせに対応するインフォメーション、総合案内所に会場内の情報集約・発信（会場内放送）を担当する情報センターを設置した。

寄せられた問い合わせや苦情は対応者へ迅速に引継ぎ、対応するとともに運営本部全体での共有した。

ＦＰは、管理事務所内のグループウエアにより情報共有を行い、お客様から質問があった際に対応できるようにした。

共通ポータルには、営業情報として本日のイベント・キッチンカー出店情報・カフェ等の営業情報を管理事務所が更新し、各部署で閲覧できるようにした。また、園内の見どころは、パーク管理課が更新し、各部署で閲覧できるようにしたほか、正面ゲート園内マップに掲示した。

来園されたお客様から質問や要望・苦情などがあった場合、正面ゲート総合案内所からは無線や内線で管理事務所に連絡が入り、正面ゲート改札からは呼出しボタンで事務所に連絡が入るよう連絡体制を整え、対応窓口を事務所に一本化した。

イベントや熱中症の暑さ対策の呼び掛け等の園内放送は、必要に応じて管理事務所で行った。

４　入場ゲート・券売所

ＧＰでは、北入場ゲート、南入場ゲート及び水上ゲートの３箇所にて対応した。来場者がスムーズに入退場できるようスタッフを配置し、入場券もぎり、再入場対応、来場者からの問い合わせへの対応や会場マップの配布等、幅広い業務を行った。北・南入場ゲートは、出入口切り替え式で６ラッチ設置した。

電子チケット、コンビニチケットについては QR コード読み取りによるもぎりを実施し、混雑時には、スタッフ、職員がゲートの間に立ち紙チケットのもぎりを実施し、入場ゲート混雑緩和に努めた。南入場ゲートは団体優先とし、一般客については北入場ゲートへ誘導した。

券売所は南北入場ゲートの横にそれぞれ設け、電子マネーやクレジットカードが使える有人窓口と現金での購入用の券売機を設置した。また、舟運利用者用のため水上ゲートに券売対応スタッフを配置した。

その他、特別企画として団体客向けに本来の開場時間より 30 分早く南入場ゲートより入場できるアーリーパークインを企画した。

ＦＰでは、正面ゲート、浜名湖ゲートの２箇所にて対応した。来場者がスムーズに入場できるようスタッフを配置し、当日入場券の販売、入場券もぎり、数取器による入退場者集計、来場者からの問い合わせへの対応、シルバーカーの貸出業務や会場マップの配布等、幅広い業務を行った。電子チケット、コンビニチケットについては QR コード読み取りによるもぎりを実施し、混雑時には、職員がチケット販売所に入り入場券の販売を行い、また、入場ゲートにも入り、入場券販売と入場ゲート混雑緩和に努めた。

また、開場前の混雑状況を見て、混乱・事故防止のため、開場時間より 10 分から 15 分早く入場できるよう柔軟に対応した。

５　関係者の通門管理

ＧＰでは、一般来場者と区別し、各関係者がスムーズに業務を行えるよう、業務内容によってバックヤード駐車場の位置を定め、全ての関係者に駐車場別の駐車許可証・車両入場許可証を配布した。また、BY に車両で入場する際は必ず警備員の確認を得ること、BY を利用する際には必ず北ゲートから敷地内に進入するなどの統一ルールを定めた。

会期中は、来場者・スタッフの安全を確保するため、園内への車両進入は９時（開場 30 分前）から 17 時 30 分（閉場 30 分後）まで禁止とした。開場時間内に緊急車両が進入する際には誘導スタッフを配置した。

ＦＰでは、一般来場者と区別するため、関係者車両の駐車は原則として第２駐車場とし、関係者には事前に駐車許可証を配付した。園内に入園する場合は、期間中、第２駐車場通用門にガードマンを配置し、入退園管理を行った。園内への車両進入は、やむを得ない場合を除いて禁止し、キッチンカーについては開場前入園、閉場後の退園を依頼した。やむを得ず開場時間内に退園する場合は、スタッフを先導させるなど来園者の安全管理に万全を期した。

６　会場警備

ＧＰでは、車両、人の入退場の管理、安全を確保するため、各所に警備員を配置するとともに、巡回などを行った。また、迷子、迷い人の捜索にも臨機応変に対応した。

ＦＰでは、駐車場の状況をモニターし、運営事業者である共同企業体に情報を提供することにより円滑な駐車場運用を図った。また、救急要請などに緊急事案に対応できるよう業務に臨んだ。

７　清掃・廃棄物処理

ＧＰでは、園内清掃、トイレ清掃、喫煙所清掃を実施するため、２班体制とし、指定管理者と連携して効率的に清掃員を配置した。特にトイレのトラブルにあたっては、迅速に対応して来場者サービスが低下しないよう努めた。また、毎日開場前に職員が会場内のテーブル・イスなどの清掃を行った。

会場内はゴミは持ち帰っていただくこととし、花博キッチン以外にはゴミ箱は設置しなかった。来場者の協力で場内に落ちているゴミはほとんどなかった。

廃棄物処理については、BY に廃棄物用のコンテナを用意し、定期的に回収をした。

ＦＰでは、通常期より人員を増やして頻回かつ効率的に清掃作業できる体制を整え、休憩時間もずらしてとることで園内清掃やゴミ回収が滞らないようにして、常に園内が清潔で美しい状態を保つよう努めた。ゴミ箱の設置数も人が集中しやすいエリアなどは数を増やすことで、ゴミがあふれてしまわないように対応した。

８　救護対応

ＧＰでは、総合案内所横に救護所を設置し看護師１名が常駐した。救護所には、ベッド２台、担架、車いす、医薬品等を設置し、傷病者の応急手当を行うとともに、看護師等の判断により救急要請、搬送を行った。このほか、東案内所に担架を配備した。

救急車の進入については、あらかじめルートを決めておき、進入時には、運営本部を中心に各スタッフが連携し来場者の安全に努めた。

ＦＰでは、花博期間中の繁忙期（3/23～5/6）のうち 30 日間、救護室に看護師１名を常駐させ、適切な救護活動を行った。管理事務所には、担架・車いす・医薬品等を常備し、傷病者の応急手当を行うとともに、職員は無線機を携行し、各員と連携し救急要請、搬送を行った。搬送経路については花博前に消防と調整し、最短ルートでの救護活動が行えるよう準備した。また、熱中症対策として保冷剤を、体調不良者対応として嘔吐物処理キットを準備し対応にあたった。

９　危機管理

ＧＰでは、応急対応体制組織を確立、連絡体制を明確化するとともに、緊急時には迅速な対応ができるよう、所管消防署と連携するとともに、危機管理マニュアルを作成した。

本期間中は、大雨による 30 分の前倒し閉場はあったものの、休業することなく毎日開場した。

ＦＰでは、災害が発生、又は発生する恐れがある危機事案に対して被害を最小限にとどめる活動は、施設消防計画に基づく組織自衛消防隊による体制とした。

超繁忙が予想される日においては、傷病者に対し的確かつ迅速な対応を行うために救護室に看護師を配置した。また、救急要請時における誘導等に対しては、予め所管消防署と機動的な活動となるよう打ち合わせを行った。

交通輸送

１　交通連絡会議の開催

（１）目的

来場者の交通手段の確保及び円滑な交通輸送の実現に向け、関係者間で情報を共有しながら交通輸送対策を推進するため、令和５年８月、交通連絡会議を設置した。

（２）構成団体

18 機関・団体

静岡県経済産業部参事（会長）、浜松市花みどり担当部長（副会長）、静岡県警浜松西警察署　（地域課、交通課）、東海旅客鉄道（株）静岡支社、遠州鉄道（株）、静岡県タクシー協会浜松支部、（一社）静岡県トラック協会西部支部、中日本高速道路（株）東京支社、静岡県道路公社、国土交通省浜松河川国道事務所、静岡県浜松土木事務所、浜松市（道路企画課、交通政策課）、湖西市（文化観光課、土木課）、舘山寺温泉観光協会、（公財）浜松・浜名湖ツーリズムビューロー

（３）開催実績

時　期	議　題
第１回 令和５年８月 18 日	交通連絡会議会則、今後のスケジュール、交通輸送計画（案）
第２回 令和５年 10 月 17 日	交通輸送計画（修正案）
第３回 令和６年１月 24 日	交通輸送計画（最終案）
第４回 令和６年８月 30 日	結果報告

２　交通輸送計画

（１）基本的な考え方

期間中庄内半島エリアへ 90 万～95 万人が来訪することに伴う、交通量の大幅な増加による周辺環境への影響を考慮した動線設定・車両誘導計画を策定した。

東海旅客鉄道株式会社、遠州鉄道株式会社、遊船組合の協力により、路線バスの増便や舞阪駅からの直行バス運行、舟運による送客（ＧＰのみ）などを計画し、公共交通機関の積極的な利用促進を図った。

繁忙日の車両集中に対応するため、臨時駐車場の活用により駐車スペースを増強したほか、パーク＆バスライド駐車場を各会場ごとに確保した計画を策定し、運用した。

実施運営にあたっては、両会場の情報を共有し交通広報や交通誘導看板設置において連携を図

った。

併せて、周辺の観光施設・団体等との情報共有を図りエリア一体となって交通対策に取り組んだ。

（２）交通サイン（看板）

交通誘導看板は、来場者等が分かりやすいよう浜名湖花博 2024 のロゴマークを掲載したＧＰとＦＰ両会場共通のデザインを使用した。事前の交通広報及び両会場への円滑な車両の誘導のため主要交差点を中心に設置し、交通渋滞の抑制を図った。

（３）公共交通機関（バス）

開催期間中、遠州鉄道株式会社により JR 浜松駅からＦＰ、ＧＰへの路線バスの増便が行われた。また、JR 舞阪駅からＧＰ間の直行バスを毎日運行し、多くの鉄道利用の来場者が乗車した。

（４）パーク＆バスライド

【ＧＰ】

雄踏総合公園周辺に設置した臨時駐車場とＧＰを結ぶ無料シャトルバスを以下の日程で運行した。

４月 28 日（日）、５月３日（祝・金）、４日（祝・土）、５日（祝・日）、12 日（日）、19 日（日）、26 日（日）（７日間）

【ＦＰ】

舘山寺スマートインターチェンジ利用者を中心に、臨時駐車場として借用した浜松ホトニクス株式会社中央研究所駐車場とＦＰを結ぶ無料シャトルバスを以下の日程で運行した。

３月 30 日（土）、31 日（日）、４月６日（土）、７日（日）、５月３日（祝・金）、４日（祝・土）、５日（祝・日）（７日間）

（５）交通広報

・交通アクセスや迂回路、シャトルバスの運行情報等を、公式ホームページや SNS、チラシ等により広報した。

・ＧＰとＦＰ両会場周辺の地元自治会長会議において交通輸送対策を説明するとともに、周辺住民に対しては回覧等にて周知した。

・来場前・来場中の方に向け、駐車場の混雑情報や周辺道路の渋滞情報等を公式ホームページや SNS でリアルタイムに発信した。

３　舟運の活用

（１）舟運部会

・交通対策及び地域振興に資する舟運について、関係者間で情報を共有しながら円滑に事業を推進するため、令和５年５月、舟運部会を設置した。

・構成団体は 10 機関・団体（静岡県経済産業部参事（部会長）、浜名漁業協同組合、（公財）浜名湖総合環境財団、（特非）浜名湖地域舟運都市構想研究所、（公財）浜松・浜名湖ツーリズムビューロー、浜松市（観光・シティプロモーション課、緑政課、河川課）、湖西市（文化観光課）、静岡県浜松土木事務所）

・開催実績

時　期	議　題
第１回 令和５年５月８日	舟運部会会則、経緯と現況、今後の進め方（課題の整理等）
第２回 令和５年６月１日	航路、運営方法、広報・機運醸成
第３回 令和５年８月 23 日	航路の確定、運航事業者との調整結果、今後のスケジュール
第４回 令和６年８月５日	結果報告

（２）航路概要

航路	運航事業者	運賃	運航便数
弁天島⇔ＧＰ	弁天島遊船組合	片道：大人 1,500 円、小学生 750 円	毎日 約 10～30 分間隔
浜名港、海湖館⇔ＧＰ	新居遊船組合	片道：大人 1,500 円、小学生 750 円 往復：大人 2,500 円、小学生 1,200 円	土日祝日 GW のみ 約 30 分間隔
浜名漁協雄踏支所、グランドメルキュール浜名湖⇔ＧＰ	雄踏遊覧組合	片道：大人 1,000 円、小学生 500 円	完全予約制
ｸﾞﾗﾝﾄﾞｴｸｼﾞ浜名湖⇔ＧＰ	村櫛遊船組合	片道：大人 800 円、小人 400 円	毎日 約 10～30 分間隔
村櫛水路めぐり		大人 1,000 円、小人 500 円	

４　交通輸送の実績

（１）駐車場運営（駐車台数）

	自家用車	団体バス
ＧＰ	146,221 台	1,018 台
ＦＰ	144,198 台	2,047 台

（２）パーク＆バスライド

	運行日数	総利用者数*
ＧＰ	７日	5,678 人
ＦＰ	７日	7,424 人

＊片道のみの利用者は１人、往復の利用者は２人とする。

（３）はまゆう大橋

浜名湖花博 2014 で実施した土日、ゴールデンウィーク期間に加え、平日も無料開放を行った結果、無料開放期間中（令和６年３月 23 日～６月 16 日（午前８時～午後８時））、269, 181 台が通行した。

（４）舟運

航路	合計		
		大人	小学生（村櫛は小人）
弁天島⇔ＧＰ	3, 670 人	3, 522 人	148 人
浜名港⇔ＧＰ	614 人	556 人	58 人
海湖館⇔ＧＰ	541 人	484 人	57 人
雄踏、グランドメルキュール浜名湖⇔ＧＰ	431 人	401 人	30 人
グランドエクシブ浜名湖⇔ＧＰ	285 人	270 人	15 人
村櫛水路めぐり	4, 229 人	3, 831 人	398 人
合計	9, 770 人	9, 064 人	706 人

（５）交通渋滞の発生状況

効率的な駐車場運営及びパーク＆バスライドの運用等により、浜名湖花博 2014 よりも交通混雑・渋滞の発生は少なかった。主要地点の渋滞状況は次のとおりである。

・県道引佐舘山寺線

桜の開花時期の土日には、動物園入口交差点から北方面の新呉松橋北交差点より東名高速道路アンダーパス付近まで渋滞が発生した。

・主要地方道舘山寺鹿谷線（舘山寺街道）

桜の開花時期の土日及びゴールデンウィークの期間には、舘山寺街道と呉松 201 号線交差点（鳥居先周辺）において、合流する車両のため交差点から北方面及びすじかい橋交差点付近まで渋滞が発生した。パーク＆バスライド駐車場からのシャトルバスの運行にも遅れが生じた。また、動物園入口から東坊塚交差点、ＦＰ入口までも断続的に渋滞が発生した。

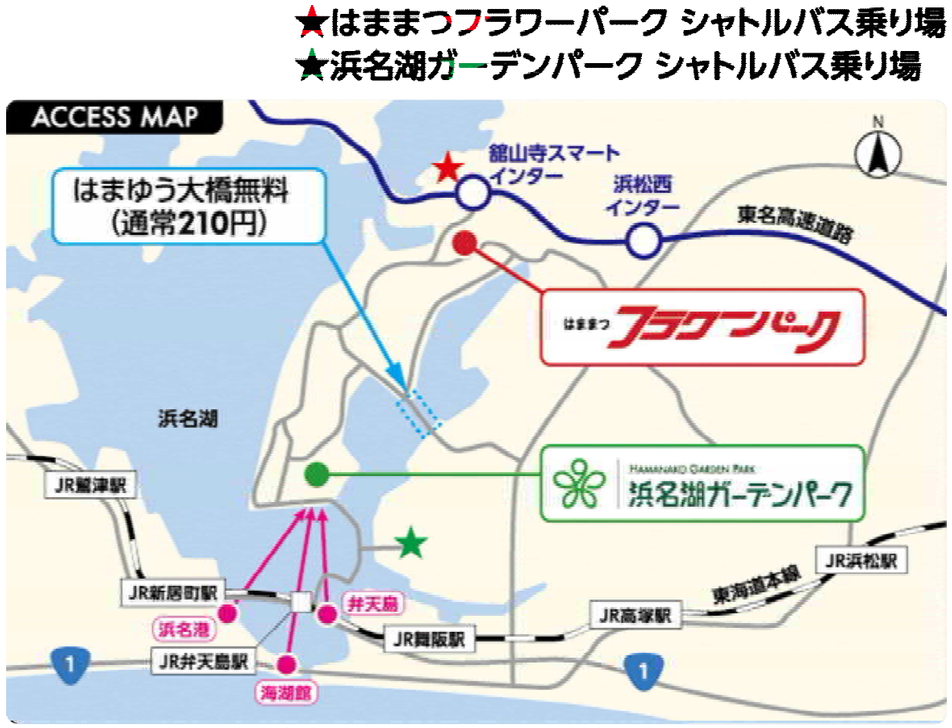
・県道舘山寺弁天島線～主要地方道細江舞阪線

ゴールデンウィークや晴天日の土日には、ＧＰ（南ゲート）への入庫のため、雄踏総合公園前の交差点を越えたあたりまで渋滞が発生した。（４月 14 日、28 日、５月 26 日）

・村櫛２号線～村櫛 289 号線～村櫛 161 号線

晴天であった４月 14 日と５月 26 日には、ＧＰ（北ゲート）への入庫のため、村櫛中明公園付近まで渋滞が発生した。

交通アクセス図



ボランティア

概要

浜名湖花博 2024 では県民・市民と行政・企業が一体となった運営の実現を目指し、既存のボランティアのノウハウの活用や、充実したサポート体制を構築することで、参画・参加しやすいボランティアの仕組み作りを行った。ボランティア活動では、来園者の満足度を高めるため「おもてなし」に重点を置いた質の高いサービスの提供による人とのつながりを通じて、社会活動への参加意欲の向上を図った。

ボランティアの募集については２会場合同で行い、公式ホームページ上での web フォームのほか、会場近隣世帯への新聞折込みチラシ全戸配布、公的機関窓口へのチラシ配架、広報はままつへの掲載等を実施した。活動日数を８日に設定し２会場 610 人（ＧＰ：500 人、ＦＰ：110 人）を目標に募集した結果、481 人（ＧＰ：365 人、ＦＰ：116 人）の応募があった。

１　研修

ボランティア参加者に対し一定のサービスレベルを維持していただくため、接遇を中心とした研修と現地での研修をそれぞれ実施し、活動場所や活動内容の確認を行った。

また活動の際に着用するユニフォーム（ベスト※、帽子、サコッシュ）を支給した。

※ＦＰ分は株式会社スクロールより提供

２　活動状況

ＧＰは参加人数 365 人、延べ活動人数 2,920 人、ＦＰは参加人数 110 人、延べ活動人数 934 人が参加した。

活動に会わせ、毎日、朝(昼)礼、終礼を実施し、活動に際しての意見や感想を傾聴するとともに、イベント情報等の迅速な情報共有、活動に対する機運醸成を図った。活動に関しての意見や感想については、速やかに運営本部へ報告し、改善に向けて対応を行った。

また自主的な活動として各会場最終日に希望者によるお見送りを企画した。144 名（ＧＰ：119 名、ＦＰ：25 名）のボランティアが参加し、横断幕を持って来場者をお見送りし、最終節を飾る感動的な幕引きを演出した。

ＧＰの閉幕式ではＧＰでのボランティア活動 20 年を迎える参加者 65 名に対し、日頃の感謝を込めて感謝状を贈呈した。

地域内訳

【ＧＰ】

静岡県内 356 人　全体の 97.5%（うち浜松市内より 276 人　全体の 75.6%）

県外より参加９名（東京都、愛知県、岐阜県、兵庫県）

【ＦＰ】

静岡県内 108 人　全体の 98.2%（うち浜松市内より 97 人　全体の 88.2%）

県外より参加２名（愛知県豊橋市、豊川市）

活動別参加者内訳（延べ人数）

【ＧＰ】

会場サービス（来場者案内、貸出所対応、会場内巡回・ローズガーデンガイド）1,605 人

植物維持管理（除草・花がら摘み等）1,202 人

催事補助運営（催事施設案内、催事補助）113 人

【ＦＰ】

ガイド（案内、貸出、通訳、イベント補助等）594 人

園芸作業（植物の維持管理、除草・花がら摘み、落葉掃き等）340 人

３　活動の実績

今回のボランティア活動については、２会場合わせ参加人数 475 人、延べ参加人数 3,854 人のボランティアが運営に係る会場サービスや植物維持管理の活動に参加し、両会場に欠かせない存在として活躍した。

花博会場やその他の場所でのボランティア経験のある方が多数参加されており、その豊富な経験を活かした意見や提案について、可能な限り会場運営の中に取り入れ、活動をしやすい環境を構築することができたことから、今回のボランティア活動は今後につながる大きな成果となった。

研修会実施状況

【ＧＰ】

	参加人数	開催月	実施数
座学研修	301 人	１月	８回
現地研修	331 人	３月	４回

【ＦＰ】

	参加人数	開催月	実施数
全体研修	93 人	２月	２回
現地研修	32 人	３月	１回

ボランティア活動

【ＧＰ】

区分	登録者数（人）	参加者数（人）
個人参加	365	335
計	365	335
団体参加※	100	100
合計	465	435

※マックスバリュ東海株式会社より 100 名参加

【ＦＰ】

区分	登録者数（人）	参加者数（人）
個人参加	110	110
団体参加※	27	27
合計	137	137

※株式会社スクロールより 27 名が参加

参加者年齢

【ＧＰ】

区分	～10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代～	不明	計
人数	5	5	4	14	54	116	129	35	3	365
構成比	1.4	1.4	1.1	3.8	14.8	31.8	35.3	9.6	0.8	100

【ＦＰ】

区分	～10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代～	不明	計
人数	3	2	1	7	22	36	28	11	0	110
構成比	2.7	1.8	0.9	6.4	20.0	32.7	25.5	10.0	0	100

月別参加者数

【ＧＰ】

月	延べ人数（人）	１日平均（人）
4	1,350	54
5	1,375	44
6	195	97
計	2,920	50

【ＦＰ】

月	延べ人数（人）	１日平均（人）
3	96	10
4	380	12
5	342	11
6	116	7
計	934	10

施設整備

１　建築物

ＧＰの建築物については、各部門からの要望を元に、建築物を計画した。今回は会期が 58 日間という短期間であることから、新たに建物を建築することはせず、コンテナハウス等の仮設物設置によるものとした。

設置したのは、コンテナハウス 18 基、入退場ゲート（南北）２基、大型テント１基、コンテナを連結して作成した公式売店１基であり、コンテナハウスは、総合案内所、南案内所、南北券売所、イマーシブミュージアム券売所、水上ゲート、救護所、日替イベントブース、体験教室、農産物直売所、スズキ乗車場、降車場、スマート農業ハウスとして使用し、大型テントは企業出展用として使用した。

また、飲食スペースについてはキッチンカーにて対応した。既存施設については、体験学習館は、屋内展示、没入型映像体験施設イマーシブミュージアム、徳川園芸館は、静岡文化芸術大学によるデジタルミライ館に利用した。徳川園芸館については、既存の用途が倉庫であったため、県公園緑地課が修繕工事を行い、花博期間中の展示場としての利用が可能となった。

また、実行委員会事務局は、県の施設（ジャパンアグリバイオから寄贈された建物）を借り、別途電気工事、上下水道使用手続を行い使用した。

ＦＰは、今回の花博では仮設建築物の建築はなかった。

既存施設については、「見晴らしの丘休憩所」風除け壁を屋内外多目的に活用できる仕様にリニューアルした（木柵及びポリカーボネート板の設置）。また花みどりトークショー等で使用するため、照明及び電源の設置工事を行った。

また「ウッドデッキステージ」前方の池を観客席として利用するため、仮設レンタルで板張りにした。

２　設備

（１）給排水

ＧＰの給水は、各使用場所に概ね既設設備があるが、出展庭園区画の散水栓には給水設備がないため、最寄りの給水栓から配水した。

キッチンカーからの排水は、排水箇所を１カ所とし、グリーストラップを１基設置した。

ＦＰでは、給排水は既存設備のみで対応した。レストラン、カフェ、キッチンカーのグリストラップ汚泥・沈殿物清掃は期間中に１回行った。

（２）Wi-Fi 環境

ＧＰでは、電子決済、電子チケット入場、デジタルコンテンツのために Wi-Fi 環境を整備した。GW 等多数の来場が見込まれた際は、大手３キャリアによる電波強化の協力をいただいた。

ＦＰでは、電子チケット入場確認のためにモバイルルーターを正面ゲートと浜名湖ゲートに各１台を設置した。

（３）電気

ＧＰの電気については、新規使用箇所は、コンテナハウス、企業出展テント、公式売店等であり、園内の変電所、配電盤から配線した。

上下水、電気、ガスについての使用量は、前年度同期間（指定管理者管理）と比べ、上水は約86％増の 13,157 ㎥、下水は 126％増の 3,923 ㎥、電気は 40％増の 112,488kwh、ガスは 190％増の 414 ㎥となった。

ＦＰでは、電気については、新規使用箇所は、浜名湖ゲート、企業出展エリア、フラマウンドであり、園内のキュービクルから配線した。ウォータスクリーンについては、発電機を使用し対応した。

上下水、電気、ガスについての使用量は、前年度同期間と比べ、上水は約 74％増の 1,102 ㎥、下水は 118％増の 3,993 ㎥、電気は 15％増の 183,227kwh、ガスは 1％増の 5,111 ㎥となった。

３　休憩施設

ＧＰのベンチについては、公園に既存のものを利用したが、出展等により動線が通常と変わるため、花博用として再配置した。また、修景工事やフラワーガーデンコンテストにて整備された花壇を観賞するために、修景用ベンチとして新たに約 120 基のベンチ・テーブル等を調達し、配置した。

また、花博期間中は、フードコートの設置、飲食物の持ち込みが増えることから、テーブル 85 基・椅子 340 席（長机 60 基・長椅子 120 基（240 席）、プラスチック丸テーブル 25 基・100 席）を増設した。

ＦＰでは、公園に既存のものを利用するほか、リニューアルした見晴らしの丘休憩所へ丸テーブル 20 台・ガーデンチェア 60 脚の他、諸イベント用にパイプ椅子 200 脚をレンタルした。

４　サイン

ＧＰでは、花博期間中の施設名称の変更を最小限に抑え、変更が生じた場所については、既設サインの上からシートを被せることで経費を節減した。また、新設花壇や庭園等のサインについても既存の看板土台を再利用して作成した。

ＦＰでは、既設園内マップ看板フレームへアイアンモチーフを配し剥離シートにて花博マップを掲出した。キッチンカー出店場所へ W1400cm×H700cm のフードエリア横断幕を掲出しアピールした。各種バナー類他、剥離シート用い建屋柱を活用し入場改札周辺の花博らしさの演出を行った。

営業

【ＧＰ】

ＧＰの営業参加は以下のとおりであった。飲食では、「花と静岡県産食材」をテーマとした花博オリジナルメニューを提供した。物販では、静岡県内企業・団体による静岡県の特色ある商品の販売を行った。

１　飲食（定期出店）

（１）花博キッチン

出店者	主な販売品目
アディクトスコーヒー	フェイジョアーダ、パステウ、コーヒー
ぽっぽ屋	静岡抹茶の錦糸モンブラン、オムそば各種
ロイヤルケバブ	うなポテト（浜名湖のり塩）、ケバブ、のび～るアイス
Pizzeria ManoMano	浜名湖産青のりと桜エビのピッツァ、桜もちピッツァ
輝楽	ブーケサンドロール、静岡クラウンメロンアイス
天道	まぐろ唐揚げ（桜・梅・わさびディップ）、串焼き
静岡県飲食業生活衛生同業組合	オニオンフラワー春の彩り、はなびら舞うしらすまぜ飯
ふじのくに静岡ケータリング協同組合	静岡わさびバーガー、富士宮やきそば、しらす丼
(株)エムシーフードサービス	花びら芋、おむそば、さつま芋、たこ焼き

（２）フレンチレストラン「ターブルブルーLENRI」

出店者	主な販売品目
浜松パワーフード学会	ONE PLATE DISH、浜松野菜パフェ、峰野牛ﾛｰｽﾄﾋﾞｰﾌのﾎﾟｯﾌﾟｵｰﾊﾞｰｻﾝﾄﾞ

２　物販（定期出店）

出店者	主な販売品目
【公式売店】 (株)遠鉄百貨店	公式記念品、地元銘菓
【ティーカフェ＆ガーデン】 静岡茶商工業協同組合	県内産地別茶、県内茶産地のお茶と菓子セット、テイクアウト茶
【農産物売店】 特定非営利活動法人浜松・百姓のチカラ	地元産旬の野菜、６次産業品
【花・園芸用品売店】 ㈲竹村園芸、多肉植物専門店 Haru.strategy-	花苗、花緑関連品
【ペット用品販売】 (株)テラオ	マナーケア用品

３　不定期出店

実行委員会構成団体（西遠地区商工会連絡協議会、JA みっかび“ミカスタ”、JA とぴあ浜松馬鈴薯部会青年部）、国際関係団体（インドネシア（浜松インドネシア友好協会）、ブラジル・フィリピン（株式会社 アイ・ビー・カンパニー）、中国（Tea chin eel））による飲食営業を行った。また、ガーデンマーケット、ペットマルシェ等のイベントによる販売も行った。

４　その他

ＧＰ指定管理者自主事業による既存の飲食施設・キッチンカーによる飲食営業、ガーデンクルーズ、展望塔、はなのわマルシェ、マルシェ・ド・浜名湖等の定期及び臨時営業も行われた。

【ＦＰ】

１　不定期出店　飲食営業（露店、キッチンカー等）

花博開催中、飲食営業する事業者を公募し、露店・キッチンカーによる飲食を提供した。

出店者	主な販売品目
petit repos	三ケ日牛フランク、三ケ日みかんのかき氷、富士宮焼きそば　など
JOIE CREPE	静岡抹茶のクレープ、桜といちごのクレープ、パフェ　など
ふくろい宣伝隊有限会社縁コーポレーション	特製メロンかき氷、特製牛もつ唐揚げ、花博牛タン丼　など
合同会社寛	三ケ日ミカンドーナツ、三ケ日ミカン豆乳プリン、浜名湖産あおさのり塩ポテト　など
しろくまキッチン	かき氷、ホットドック
フードショップ江南　輝楽	アイスコルネット、ブーケサンドロール、わらび餅　など
株式会社　宝膳	浜名湖あおさの生醤油かけうどん、神戸ぼっかけ焼きそば、オムライス　など
Kan Kans	遠州焼き、さつまいもチップス、大学芋　など
株式会社マルホウフードビジネス	五平餅、チュロス、いそべ餅　など
libreciel	掛川産いちごクレープ、いちごプリン、イモンブラン　など
千寿	遠州オムそば、フランクフルト、あげたこ焼き
株式会社エンジェルサービス	エスプレッソシェイク、桜色シェイク、藤色シェイク　など
Smiley Bell	お好み焼きバーガー、ポップコーン、トロピカルドリンク　など
みなとや商店	花を模したアイスクリーム
唐揚げ専門店　笑幸	ハート唐揚げ、浜名湖産青のり塩こうじ唐揚げ、三ケ日みかん唐揚げ　など
サーフラップス	浜名湖産牡蠣のパスタ＆リゾット、浜名湖産あさりのボンゴレ・ビアンコ　など
グルメキッチン来未	塩パンみすじサンド、塩パン鴨味噌サンド、ライスバーガー　など
株式会社 ICEE ICE	キーマカレー、手羽先、コロッケ　など
OHANA	ローストビーフサンド、静岡県産抹茶のロールアイス、ステーキ丼　など
Route10	浜松産紅ほっぺのクレープ、フラッペ、ソフトクリーム　など
かいとまる	浜名湖産のりを使ったたこ焼き、三方原馬鈴薯をつかったじゃがバター、いか焼き　など
たこでん	牛タン串、たい焼き、ロングポテト　など
コッペのぱんきち	コッペパン、揚げパン、油淋鶏　など
合同会社 Ciao felice	チャーシュー丼、つけ麺、ラーメン　など
丸昌きのこ園	きのこ飯、きのこ天ぷら　など
ええなみ	浜松こがし玉ねぎたこ焼き、三河フランク　など
えんどぅ	浜名湖フィッシュアンドチップス、かき氷　など
Nick&Ribbon	フライドポテト、ハッシュドポテト、あげパン　など
Ohana cafe	ハンバーガー、自家製梅ジュース　など
NOBANA	苺エクレア、Vivid 豪華エクレア　など

２　オリジナル弁当の販売

ブランド豚を使った「夢ポーク」とウナギを使った「ぼくめし」のオリジナル弁当「はままつ浜名湖花べんとう」を２種類販売。パッケージデザインは浜松市出身の女優・田中道子さんに描いていただいた。

３　その他

全期間にわたり、既存施設による飲食・物販等の営業に加え、テイクアウト・カフェテリアによる飲食営業、宅配受付サービスが行われた。カフェレストラン「花の散歩道」では、長門慶次シェフ監修の花博限定スイーツ「エンジェルローズ～天使のバラ～」を販売した。既存自動販売機営業について、繁忙期は補充回数を増やすなど便益に努めた。これらはすべてＦＰ指定管理者の自主事業として展開された。

入場券販売、誘客促進

１　入場者目標

過去の浜名湖花博、浜名湖花博 2014 での入場者実績等をふまえ、目標を設定した。

ＧＰ：50 万人～55 万人

ＦＰ：40 万人

２　入場券

（１）入場料金

（単位：円）

入場券の種類	区　分	ＧＰ		ＦＰ		備　考
		前売券	当日券	前売券	当日券	
普通入場券	大　人	600	800	700	1,000	１回入場可能な入場券
	小・中学生	300	400	350	500	
セット入場券	大　人	1,200	1,700	同左		両会場に１回ずつ入場可能な入場券
	小・中学生	600	850			
期間パスポート※1	大　人	2,400	3,200			ＧＰに開催期間中何回でも入場可能な入場券
	小・中学生	1,200	1,600			
特別割引入場券※2	ー		無料		無料	手帳所持者及びその介護者に適用される入場券
一般団体割引入場券	大　人		700		800	15 人以上で構成する団体
	小・中学生		350		400	
学校行事団体割引入場券	高校生		400		500	教育活動として教職員が引率する生徒・児童で構成する団体
	小・中学生		200		250	

※１　ＦＰでは、開催期間中に何回でも入場可能な年間パスポートの取扱いあり

※２　特別割引入場券は、ＧＰのみ会場出札窓口で交付（ＧＰは介護者１名のみ対象）

（２）入場券の設定

・安定的な事業の運営と円滑な来場者対応を図るため、前売券の販売を行った。

・２会場への来場促進や来場者の利便性を確保するため、「セット入場券」を設定した。

・日頃より会場を利用する方の利便性を確保するため、「期間パスポート」を設定した。

・身体障害者手帳等の手帳所持者は入場料を無料とした。

・団体旅行の誘客促進のため、団体割引入場券を設定した。

【無料入場者】

①開催期間中に小学校又は小学校に相当する施設に未就学の者

②身体障害者手帳等の手帳所持者及びその介護者

③学校行事団体を引率する教職員

④学校教育法による幼稚園、児童福祉法による保育所等の行事団体の引率者

⑤旅行業者の添乗員、団体バスの乗務員及びツアー等の下見のため来場する旅行業者

⑥その他実行委員会が特に必要と認めた者

３　入場券の販売期間

（１）ＧＰ

区　分	販　売　期　間	入場券の種類
前売券	令和５年９月１日(金)～令和６年４月５日(金)	普通入場券、期間パスポート
当日券	令和６年４月６日(土)～令和６年６月２日(日)	セット入場券を除く全券種

（２）ＦＰ

区　分	販　売　期　間	入場券の種類
前売券	令和５年９月１日(金)～令和６年３月 22 日(金)	普通入場券
当日券	令和６年３月 23 日(土)～令和６年６月 16 日(日)	セット入場券を除く全券種

（３）セット入場券

区　分	販　売　期　間
前売券	令和５年９月１日(金)～令和６年３月 22 日(金)
当日券	令和６年３月 23 日(土)～令和６年６月２日(日)

４　入場券販売体制、誘客促進活動等

（１）販売方法

①実行委員会事務局による直接販売（紙チケット）

・官公庁（県、各市町）、県内企業、商工会議所、実行委員会構成団体など

・各種イベント出展における一般販売

②販売代理店による委託販売（紙チケット）

スーパー、観光協会、ホテル、旅行会社、交通事業者など

③コンビニチケット、電子チケット

コンビニエンスストア大手４社、アソビュー、Webket など

（２）入場券等販売管理本部

入場券の販売促進、団体旅行客の誘客、開催期間中の会場出札窓口業務等を実施するため、令和５年８月に浜名湖花博 2024 入場券等販売管理本部を設置した。

【業務内容】※②の業務はＧＰのみ実施

①入場券等販売管理業務：旅行会社等への営業、観光商談会での営業、委託販売契約の促進、団体旅行の予約受付、販売代金の出納管理・精算など

②会場出札窓口業務：会場出札窓口での入場券等販売、現地本部の運営、スタッフ教育など

（３）観光商談会

浜名湖花博 2024 の広報及び団体旅行の誘客を図るため、観光商談会に参加し、旅行会社やメディア等に対して営業活動を行った。

No.	開催日	名　称	会　場
1	令和５年９月６日（水）	ふじのくに しずおか観光大商談会 in 大阪	大阪新阪急ホテル（大阪府）
2	令和５年９月 27 日（水）	ふじのくに しずおか観光大商談会 in 東京	ハイアットリージェンシー東京（東京都）
3	令和５年 10 月 26 日（木）～29 日（日）	ツーリズム EXPO ジャパン 2023	インテックス大阪（大阪府）
4	令和５年 11 月 21 日（火）～22 日（水）	2023“よい仕事おこし”フェア	東京ビッグサイト（東京都）
5	令和６年１月 15 日（月）	バンビツアー商談会	ホテルコンコルド浜松

（４）ファムトリップ

メディア及び旅行会社に対して、浜名湖花博 2024 の魅力を PR するため、２会場の見所の説明、場内を案内するファムトリップを実施した。

No.	開催日	参加者
1	令和６年１月 25 日（木）	メディア関係者 18 社、21 人
2	令和６年２月８日（木）	旅行会社９社、９人
3	令和６年２月 15 日（木）	旅行会社 11 社、36 人

５　前売入場券購入キャンペーン

浜名湖花博 2024 の周知及び前売入場券の購買意欲喚起、販売枚数拡大のため、前売入場券を購入し、応募いただいた方の中から抽選で 100 名様にホテル宿泊補助券・日帰り入浴券、カタログギフトなどが当たるキャンペーンを実施した。

募 集 期 間：令和６年２月１日（木）から令和６年３月 10 日（日）まで（当日消印有効）

応 募 総 数：3,904 件（うち WEB フォーム 3,458 件、官製はがき 446 件）

当選発表日：令和６年３月 22 日（金）

６　入場券販売枚数

入場券の種類	ＧＰ		ＦＰ		計
	前売券	当日券	前売券	当日券	
普通入場券	96,161	198,079	32,979	224,443	551,662
セット入場券	165,874	35,629	165,874	35,629	403,006
期間パスポート	5,416	442			5,858
特別割引入場券		13,014		－	13,014
一般団体割引入場券		6,862		29,900	36,762
学校行事団体割引入場券		1,840		1,749	3,589
合　計	267,451	255,866	198,853	291,721	1,013,891

※セット入場券は、各会場での販売実績として計上

７　入場者数

会場	入場者数
ＧＰ	507,956 人
ＦＰ	498,630 人
合計	1,006,586 人

３月 23 日（土）の浜名湖花博 2024 開幕後、桜、チューリップ、ネモフィラ、フジ、バラ、ヒマワリ、アジサイなど、開催期間中、来場者が訪れるたびに見ごろの花を楽しめる機会を提供することにより、両会場あわせた来場の促進とリピーターの増加につながった。

ゴールデンウィークに多くの来場があったが、各会場の花の見ごろにより、ＦＰでは４月６日（土）、ＧＰでは５月 26 日（日）に最多入場者数を記録し、最終的には目標を超える約 100 万人の入場者数となった。

広報・宣伝

１　広報宣伝活動の目標と戦略

浜名湖花博の 20 周年記念事業として、花緑の持つ魅力や最先端のデジタル技術を発信することで、県内の花と緑に関わる活動の関係者や愛好家を中心に幅広い層の方々の来場促進を図るとともに、近隣県・さらには国内外からの誘客促進を目指した。

（１）広報宣伝活動の実施目標

ア　浜名湖花博 2024 の認知の促進

540 万人の来場者を魅了した「浜名湖花博」の 20 周年記念事業の開催を、より多くの人々に知っていただく。

イ　95 万人誘客の達成

95 万人の誘客の達成に向けて、県内外に効率的・効果的な活動を展開していく。

（２）広報宣伝戦略

ア　エリア別アプローチ

第一次圏：静岡県西部及び愛知県東三河地域、第二次圏：県内及び愛知県、第三次圏：国内外とし、開催告知及び券売を促進した。

イ　誘客ターゲット層へのアプローチ

第一区分：ガーデニング・旅行愛好者、第二区分：ファミリー層、第三区分：デジタルイベント愛好者とし、新聞・テレビなどのメディアでの広報のほか、SNS、園芸・旅行雑誌といった媒体での広報を実施した。

エリア戦略	内容	広報ツール
第一次圏：静岡県西部及び愛知県東三河地域	事前 PR、前売入場券販売促進、来場促進	ポスター、チラシ、サイネージ、メディア、CM、SNS、イベント出展
第二次圏：県内、愛知県	前売入場券販売促進、来場促進	観光大商談会への参加、旅行代理店等への説明会や FAM の開催、ポスター、チラシ、メディア、CM、SNS
第三次圏：国内外	前売入場券販売促進、来場促進	観光大商談会への参加、旅行代理店等への説明会や FAM の開催、ポスター、チラシ、サイネージ、メディア、SNS

２　広報宣伝の実績

（１）事前 PR 期

浜名湖花博 2024 の周知と来場促進を目的に、ポスター・チラシ等の PR ツールを活用した広報宣伝活動を展開した。

４月　ロゴ・PR キャラクターの決定、ポスター・チラシの配架（実行委員会会員、県内市町、県有施設等）

５月　ＧＰにおけるプレイベントの開催、PR イベント出展、公式 SNS の開設

（２）前売入場券販売促進期

７月　公式 HP の開設、PR イベント出展、ポスター・チラシの配架（天竜浜名湖鉄道、静岡空港等）、花博ポロシャツの作成

８月　前売券販売開始セレモニー、PR イベント出展、吊り看板の設置（静岡駅地下道）、ラッピングバス運行開始

９月　ポスター・チラシ・のぼりの配架（県内市町、県有施設、静岡県観光協会等）、横断幕の設置（ＧＰ、ＦＰ）、浜松駅北口キタラ看板の設置、観光大商談会への参加、WEB 広告・SNS 広告の開始

10 月　ポスター・チラシの配架（県西部・中部及び東三河地区の郵便局等）、PR イベント出展、県民手帳への掲載、園芸雑誌への掲載、カウントダウンボード設置（JR 浜松駅）

11 月　ノベルティの制作、ポスター・チラシの配架（県内コンビニ等）、PR イベント出展、ＧＰにおけるプレイベントの開催、県・県西部の市町の公用車に花博広報シールの設置、県発行広報誌への掲載、観光大商談会への参加

12 月　ポスター・チラシの配架（県内大型ショッピングモール等）、PR イベント出展、県 HP での紹介、県発行広報誌への掲載、サイネージ放送の開始（杏林堂、静岡空港）、横断幕の設置（グランシップ）、観光大商談会への参加

１月　イベント出展 PR、県発行広報誌への掲載、サイネージ放送の開始（県三島市本町）、園芸雑誌への掲載、大型懸垂幕の設置（遠鉄百貨店）、大形看板の設置（県庁）、コルトン看板の設置（浜松駅地下道）、メディア向け FAM の開催

２月　ポスター・チラシの配架（JR 東海道線県内各駅等）、PR イベント出展、ＦＰにおけるプレイベントの開催、サイネージ放送の開始（東京丸の内）、ラジオ出演、県発行広報誌への掲載、市町発行広報誌への掲載、新聞広告、観光大商談会への参加、旅行エージェント・マスコミ関係者向け FAM の開催

３月　ポスターの掲示（名古屋鉄道、豊橋鉄道等）、テレビ CM、新聞広告、屋外ビジョン（浜松・静岡）、園芸雑誌への掲載、県発行広報誌への掲載、市町発行広報誌への掲載、PR イベント出展、浜名湖花博 2024PR 大使の委嘱

（３）来場促進期

３月　新聞広告、内覧会（ＦＰ）、開会式

４月　テレビ CM（県内、愛知県）、新聞広告、内覧会（ＧＰ）、開幕式（ＧＰ）、節目入場セレモニー（10、20、30 万人）県発行広報物への掲載

５月　節目入場セレモニー（50、70、80 万人）、中部経済団体連合会、中日新聞本社、静岡新聞静岡放送本社及び静岡商工会議所へのトップセールス、新聞広告

６月　節目入場セレモニー（95、100 万人）、閉幕式（ＧＰ）、閉会式

３　プロモーション活動

（１）シンボルマークとロゴタイプ

静岡文化芸術大学と業務委託契約を締結し、シンボルマーク及びロゴタイプの作成を依頼した。シンボルマークは、浜名湖花博 2024 を７つのテーマで分類し、７つのカラーで花びら形にあしらったデザインを採用した。ロゴタイプは、シンボルマークを際立たせるため、極力色を排したデザインを採用した。

シンボルマーク

浜名湖花博2024
LAKE HAMANA HANAHAKU2024

ロゴタイプ

（２）PR キャラクター

ア　のたねと仲間たち

平成 16 年開催の「浜名湖花博」の公式キャラクター「のたねと仲間たち」を活用し、認知度の向上を図った。また、着ぐるみを園内イベント等に登用し、人気を集めた。

イ　ウグリンとてんてん

「浜名湖花博」の開催から 20 周年を契機として、ＧＰの PR キャラクターとなる「ウグリン」と「てんてん」が誕生した。制作には静岡文化芸術大学の学生２名を起用。「ウグリン」は浜松市の鳥であるウグイスをモチーフにしており、「てんてん」はてんとうむしをモチーフにしている。

©ウグリン

©てんてん

ウ　ふらまる

既存のＦＰのキャラクターである「ふらまる」を活用し、浜名湖花博 2024 の PR を実施した。

©ふらまる

（３）シンボルマーク・ロゴタイプ・PR キャラクターを使用した広報

イベントの認知度及び来場者サービスの向上を図る目的で、浜名湖花博 2024 の名称・PR キャラクターを使用した商品や広報物の造成の推進を図った。

PR キャラクター「のたねと仲間たち」の著作権及び商標権は県保有であるため、県と「のたねと仲間たち」無償使用許諾契約を締結した上で、①申請書受付・管理、②申請者への審査結果周知等を行った。

事務局では、販売する商品においてキャラクター入りお菓子など 19 業者の 116 品目を承認した。事務局が承認した商品は、会場内では公式記念品売店で、会場外では JR 東海の駅のキオスクや東名高速道路のサービスエリア等で販売された。

（４）PR ツール

ア　ポスター

開催の周知、前売入場券販売、会場までのアクセスを記載したポスターを制作し誘客を図った。

第１弾

第２弾

第３弾

イ　チラシ・パンフレット

具体的なイメージを連想させるチラシで日本語のほか、英語、ポルトガル語、中国語、韓国語、フィリピン語、ベトナム語の他言語対応のチラシを制作した。２月からは見どころの説明や写真を加えた８ページパンフレットを制作した。

ウ　会場マップ

（ア）ＧＰ

地図や園内紹介、ステージイベントスケジュール等を記載した４P 会場マップを制作し、入場ゲート入り口で配布・配架した。また、フォトスポットや見ごろの花を紹介する花緑見どころマップを制作し、花の見ごろが移り変わるたびにデザインを刷新し、配布・配架した。

（イ）ＦＰ

地図やイベント情報を記載した会場マップを制作し、入場ゲート入口で配布・配架した。また、園内の花緑に関する見どころを纏めた公式ガイドブックを制作し、イベントなどで配布した。

エ　その他

配布用ツールとして、キャラクターシール、キーホルダー、種子袋（金魚草・ひまわり）、ポストカードを作成。掲示用として、のぼり、バナー広告を作成し、PR キャンペーンなどで活用した。

（５）浜名湖花博 2024PR 大使の委嘱

モデルであり華道家でもある「當間ローズ」氏を浜名湖花博 2024PR 大使に委嘱した。

自身の SNS での発信やラジオ番組・テレビ番組出演などを通じて花博の広報に協力いただいた。

（６）PR イベント

浜名湖花博 2024 の認知度を高め、前売入場券の販売促進を図るイベントを展開した。

県内各地主要イベント、花緑の愛好家が集まるイベントなど、計 35 回の PR 出展を行い、大型ショッピングセンターでは、ステージイベントを実施することでファミリー層への周知に努めた。また、各会場にてプレイベントを開催し、機運醸成を図った。

（７）屋外広告

浜名湖花博 2024 の認知度を高めるため、浜松市内を中心に横断幕や懸垂幕、看板、のぼり等で啓発に努めた。

ア　カウントダウンボード設置（JR 浜松駅内浜松観光インフォメーションセンター前）
イ　のぼり（農協、旅行代理店、浜松駅周辺施設、県及び市町施設等）
ウ　横断幕（ＦＰ、静岡銀行浜松営業部、グランシップ）
エ　懸垂幕（遠鉄百貨店、イオンモール浜松志都呂）
オ　屋外看板（JR 浜松駅北口キタラ、JR 静岡駅構内、静岡県庁前）
カ　ビジョン広告（遠鉄、パルシェ、呉服町）
キ　サイネージ広告（JR 新所原駅、イオンモール浜松志都呂、メイワン、杏林堂、袋井商工会議所、富士山静岡空港、三島本町交差点、東京丸の内）
ク　PR ステッカー（県・県西部の市町の公用車）

（８）メディア広報

告知期間も短く、限られた広報予算で効果をあげるため、情報提供によるパブリシティを活用した。また、県内及び愛知県に予算を集中的に投下し、近隣からの来場者促進を図った。

一方、関東や関西地区への広報は、県や浜松市、公益社団法人静岡県観光協会、公益財団法人浜松・浜名湖ツーリズムビューロー、旅行代理店等の協力をいただき、広域的な広報に努めた。

ア　テレビスポット広告

認知度向上に最も効果があるため、開幕直前の３月中旬から５月中旬にかけて、静岡県・愛知県にテレビスポット広告を放映した。

イ　情報番組

テレビ番組を誘致し、会場内の様子を放送した。また、見どころ情報を随時プレスリリースすることにより、テレビ局等の取材放送に協力した。

ウ　新聞広告

静岡新聞及び中日新聞を中心に、１ヶ月前、１週間前、開幕日などのタイミングを捉えて、特集記事と連動した広告を掲出した。

エ　新聞記事

花博に関する情報の随時プレスリリースにより、新聞への記事掲載の促進を図った。

オ　雑誌広告

園芸雑誌（Garden&Garden、MyGARDEN 等）や旅行雑誌（るるぶ、まっぷる、ノジュール）、フリーペーパー等に広告や記事を掲載した。

（９）WEB による情報発信

浜名湖花博 2024 の開催について、広く周知を行うため、公式ホームページを設置した。

ア　設置期間

令和５年７月 25 日～令和６年８月 31 日

イ　設置から閉会（令和５年７月 25 日～令和６年６月 16 日）までのアクセス数

①　ユーザー数　　839,110 人

②　ページビュー数　1,609,386 アクセス

③　最多数閲覧日

令和６年３月 20 日　ユーザー数　16,198 人、ページビュー数 57,726 アクセス

ウ　主要掲載事項

開催概要、両会場案内、チケット情報、よくある質問、交通アクセス、お知らせ

エ　募集

公開により公式ホームページ上にて花博開催に係る各種募集をおこなった。

（募集内容）

会場ボランティア、企業出展、飲食・物販の出展、屋内花き展示の装飾、催事イベントへの参加、花博のマーク等の使用、花壇の植栽イベント、園芸商品・ペット関連商品の出店、団体入場向けの特別企画の提案、園内ツアーへの参加、各種キャンペーンへの参加

オ　ソーシャルメディア（SNS）の活用

閲覧者への情報発信のため、浜名湖花博 2024 の公式 X（旧ツイッター）、公式 Facebook、公式 Instagram アカウントを作成（ＦＰは既存の公式 SNS を継続活用）し、活動報告やイベント周知、見所案内を実施した。また、出展者や来場者の投稿をシェアすることにより、幅広い情報の伝達を行った。

（ア）開設日

公式 X（旧ツイッター）：令和５年５月 26 日

公式 Facebook　：令和５年５月 26 日

公式 Instagram：令和５年 10 月 11 日

（イ）フォロワー数（令和６年６月 16 日）

公式 X（旧ツイッター）：753 人（男性 57.2%　女性 36.9%　不明 6%）

公式 Facebook　：565 人（男性 55.1%　女性 44.9%）

公式 Instagram：5,902 人（男性 25.3%　女性 74.7%）

ＦＰ公式 Facebook：3,868 人（男性 43.4%、女性 56.6%）

ＦＰ公式 Instagram：7,703 人（男性 31.2%、女性 68.7%）

（ウ）投稿回数

①公式 X（旧ツイッター）

令和５年５月 26 日より令和６年６月 16 日まで 137 回

通算閲覧回数：149,222 回

通算いいね！数：1,040 件

最多表示回数：12,035 回（令和６年４月４日　舟運の紹介）

②公式 Facebook

令和５年５月 26 日より令和６年６月 16 日まで 306 回（うちストーリーズ 142 回）

通算閲覧回数：432,081 回

通算いいね！数：3,222 件

最多表示回数：1,845 回（令和５年 10 月 19 日　花博両会場の紹介映像）

③公式 Instagram

令和５年５月 26 日より令和６年６月 16 日まで 684 回（うちストーリーズ 500 回）

通算閲覧回数：277,239 回

通算いいね！数：49,855 件

最多表示回数：51,779 回（令和６年４月 16 日　浜名湖フラワーパレットに咲くネモフィラの写真）

④ＦＰ公式 Facebook

令和６年３月 23 日より令和６年６月 16 日まで 58 回

通算閲覧回数：469,785 回

通算いいね！数：6,547 件

最多表示回数：31,311 回（令和６年４月 14 日　八重桜）

⑤ＦＰ公式 Instagram

令和６年３月 23 日より令和６年６月 16 日まで 58 回

通算閲覧回数：710,202 回

通算いいね！数：45,313 件

最多表示回数：48,750 回（令和６年４月５日　さくらとチューリップ）

４　報道

周知・広報機関が短い中、イベントの実施時をはじめ、各種式典の開催時、会場内の花の開花状況など、事あるごとに市政記者クラブ・県政記者クラブに対し情報提供を行った。

結果、新聞では 288 回の掲載、テレビ放送では中継を含め、71 回の放送に結びつき誘客に大きな成果があった。

浜名湖花博 2024 テレビ放映状況

順	放送日	放送局	番組内容または番組名
1	１月 11 日	静岡朝日テレビ	とびっきり！しずおか
2	１月 18 日	静岡朝日テレビ	とびっきり！しずおか

3	1月30日	SBS静岡放送	Soleいいね！
4	2月16日	テレビ静岡	チョッと！いいタイム
5	3月12日	静岡第一テレビ	Dstyle
6	3月12日	NHK静岡放送局	NHKニュース
7	3月20日	テレビ静岡	ただいま！テレビ
8	3月21日	NHK静岡放送局	MHKニュース
9	3月21日	NHK静岡放送局	NHKニュース
10	3月22日	NHK静岡放送局	NHKニュース
11	3月22日	NHK静岡放送局	NHKニュース
12	3月22日	SBS静岡放送局	LIVEしずおか
13	3月22日	テレビ静岡	ただいま！テレビ
14	3月22日	静岡第一テレビ	まるごと
15	3月23日	NHK静岡放送局	NHKニュース
16	3月23日	テレビ静岡	FNN Live News days
17	3月23日	SBS静岡放送	LIVE しずおか
18	3月23日	静岡第一テレビ	まるごと
19	3月23日	静岡朝日テレビ	とびっきり！しずおか 土曜版（生中継）
20	3月24日	静岡朝日テレビ	とびっきり！しずおか 日曜版（生中継）
21	3月27日	NHK静岡放送局	NHKニュース
22	4月2日	静岡第一テレビ	news every.しずおか
23	4月5日	静岡朝日テレビ	スポーツパラダイス”アナRUN″
24	4月5日	朝日テレビ	グッド！モーニング ”依田さんのお天気コーナー”
25	4月6日	静岡第一テレビ	news every.サタデー
26	4月6日	静岡朝日テレビ	ANNスーパーJチャンネル
27	4月6日	テレビ静岡	FNN Live News イット
28	4月6日	SBS静岡放送	SBSニュース
29	4月7日	静岡朝日テレビ	とびっきり！しずおか 日曜版
30	4月7日	静岡朝日テレビ	どこいく？しずおかたび
31	4月10日	静岡第一テレビ	ストレイトニュース
32	4月12日	SBS静岡放送	Soleいいね！（生中継）
33	4月13日	SBS静岡放送	しず推し！
34	4月15日	名古屋テレビ	ドデスカ！
35	4月16日	NHK静岡放送局	NHKニュース
36	4月17日	フジテレビ	めざましテレビ
37	4月17日	日本テレビ	ZIP!
38	4月18日	TBSテレビ	Nスタ

39	4月19日	テレビ静岡	ただいま！テレビ
40	4月19日	TBSテレビ	Nスタ
41	4月20日	フジテレビ	めざましどようび
42	4月21日	静岡朝日テレビ	とびっきり！しずおか 日曜版
43	4月23日	名古屋テレビ	ドデスカ！
44	4月24日	NHK静岡放送局	NHKニュース
45	4月26日	テレビ朝日	羽鳥慎一モーニングショー
46	4月26日	SBS静岡放送	SBSニュース
47	4月26日	テレビ朝日	ひるおび
48	4月26日	静岡朝日テレビ	とびっきり！しずおか
49	4月27日	テレビ朝日	中居正広の土曜日な会
50	4月27日	名古屋テレビ	ドデスカ！
51	4月27日	朝日放送テレビ	教えて！ニュースライブ正義のミカタ
52	4月27日	静岡第一テレビ	news every.しずおか
53	4月28日	静岡朝日テレビ	とびっきり！しずおか 日曜版（生中継）
54	4月29日	テレビ静岡	ただいま！テレビ
55	4月29日	中京テレビ	キャッチ
56	4月30日	BS日テレ	友近・礼二の妄想トレイン
57	5月1日	静岡第一テレビ	news every.しずおか
58	5月1日	日本テレビ	ZIP！（生中継）
59	5月2日	静岡第一テレビ	まるごと
60	5月2日	読売テレビ	情報ライブ ミヤネ屋
61	5月6日	静岡朝日テレビ	とびっきり！しずおか
62	5月9日	東海テレビ	スイッチ！
63	5月10日	CBCテレビ	花咲かタイムズ
64	5月10日	関西テレビ	旬感LIVEとれたてっ！
65	5月19日	静岡朝日テレビ	とびっきり！しずおか 日曜版
66	5月22日	SBS静岡放送	Soleいいね！
67	5月30日	テレビ東京	よじごじDays
68	6月10日	NHK静岡放送局	おはよう静岡
69	6月11日	テレビ静岡	ただいま！テレビ
70	6月16日	NHK静岡放送局	ニュースしずおか645
71	6月16日	SBS静岡放送	静岡新聞ニュース

協賛・協力

愛管(株)
アイリンブループロジェクト実行委員会
アクサ生命保険(株)
イオン浜松西店
イオン袋井店
イオンモール豊川
イオンモール浜松市野
イオンモール浜松志都呂
イオン焼津店
有限会社一十園
(株)出野製作所
磐田化学工業(株)
(株)エスビーエル
NTN(株) 磐田製作所
(株)エフ・シー・シー
遠州信用金庫
遠州鉄道(株)
(株)遠州日石
オークラアクトシティホテル浜松
大塚製薬(株)
オレゴン産業(株)
(同)KALEIDO
(株)河合楽器製作所
舘山寺温泉観光協会
(株)キャッツアイビー
(株)杏林堂薬局
共和レザー(株)
キンパラ(株)
グランドエクシブ浜名湖
グランドホテル浜松
(株)呉竹荘
(株)サーラコーポレーション
サッポロビール(株)
(株)GS ユアサ エナジー

(株)ジェイテクトコラムシステム
静岡銀行(株)
(一社)静岡県発明協会
静岡県ホテル旅館生活衛生同業組合
静岡茶商工業(協組)
(有)春華堂
(一財)しんきん経済研究所
スズキ(株)
(株)セブン-イレブン・ジャパン
損害保険ジャパン(株)
第一生命保険(株)
(株)TF-METAL
(株)デリフロールジャパン
(株)デンソー 湖西製作所
(株)東海化成
東海精機(株)
東海旅客鉄道(株)
東京海上日動火災保険(株)
(株)TOKAI ホールディングス
(株)TRINC
中日本高速道路(株)
日本生命保険相互会社
日本郵便(株)
ハスクバーナ・ゼノア(株) GARDENA 事業部
(株)ハマキョウレックス
浜名湖電装(株)
浜名湖パルパル
浜名湖ボートレース企業団
浜名湖弁天島リゾート THE OCEAN
浜松磐田信用金庫
浜松科学館
浜松市市民協働センター
（一社）浜松商店界連盟
浜松 PC ガーベラ

(特非)浜松 百姓のチカラ
浜松ホトニクス(株)
(一財)浜松まちづくり公社
(一社)浜松みりょく研究会
ビジネスホテル辻梅
(株)ファミリーマート
袋井新産業会館キラット
富国生命保険相互会社
富士急行(株)
(株)フジドリームエアラインズ
プライムアースEVエナジー(株)
プレ葉ウォーク浜北
ホテル鞠水亭
ホテルクラウンパレス浜松
本田技研工業(株)
マイサカ家具
マックスバリュ東海(株)
南出(株)
ミニストップ(株)
(特非)魅惑的倶楽部
明治安田生命保険相互会社
MAY ONE
(株)メディアトーク
メネデール(株)
ヤマハ(株)
ヤマハ発動機(株)
ユニー(株)
(株)リコー
(株)ローソン
ローランド(株)
(株)ROKI

特別協力

静岡県の JA

敬称は略させていただきます。

浜名湖花博 2024 入場者数

残日数	日数	月日	曜日	天気	入場者総数		GP入場者数 ①	FP入場者数 ②	備　考
					①+②	累計			
85	1	3月23日	土	雨	1,658	1,658		1,658	開会式
84	2	3月24日	日	雨	2,672	4,330		2,672	
83	3	3月25日	月	雨	2,096	6,426		2,096	
82	4	3月26日	火	雨	1,045	7,471		1,045	
81	5	3月27日	水	晴れ	5,989	13,460		5,989	
80	6	3月28日	木	曇りのち雨	3,197	16,657		3,197	
79	7	3月29日	金	雨のち晴れ	3,185	19,842		3,185	
78	8	3月30日	土	晴れ	11,646	31,488		11,646	
77	9	3月31日	日	晴れ	15,247	46,735		15,247	
76	10	4月1日	月	晴れ	5,239	51,974		5,239	
75	11	4月2日	火	晴れ	4,944	56,918		4,944	
74	12	4月3日	水	雨	1,220	58,138		1,220	
73	13	4月4日	木	晴れ	6,352	64,490		6,352	
72	14	4月5日	金	曇りのち雨	3,370	67,860		3,370	
71	15	4月6日	土	曇りのち晴れ	31,216	99,076	8,014	23,202	GP開幕式
70	16	4月7日	日	晴れ	24,254	123,330	7,840	16,414	10万人達成イベント
69	17	4月8日	月	雨	6,034	129,364	1,299	4,735	
68	18	4月9日	火	雨のち晴れ	3,962	133,326	1,022	2,940	
67	19	4月10日	水	晴れ	8,147	141,473	3,131	5,016	
66	20	4月11日	木	晴れ	9,500	150,973	3,167	6,333	
65	21	4月12日	金	晴れ	9,727	160,700	3,867	5,860	
64	22	4月13日	土	晴れ	18,527	179,227	10,010	8,517	
63	23	4月14日	日	晴れ	20,737	199,964	11,043	9,694	
62	24	4月15日	月	晴れ	12,753	212,717	8,607	4,146	20万人達成イベント
61	25	4月16日	火	曇り	7,109	219,826	4,566	2,543	
60	26	4月17日	水	晴れ	8,865	228,691	5,445	3,420	
59	27	4月18日	木	曇りのち雨	9,050	237,741	5,650	3,400	
58	28	4月19日	金	晴れ	11,695	249,436	7,401	4,294	
57	29	4月20日	土	晴れ	28,755	278,191	18,658	10,097	
56	30	4月21日	日	曇りのち雨	16,055	294,246	8,981	7,074	
55	31	4月22日	月	曇り	9,052	303,298	4,895	4,157	30万人達成イベント
54	32	4月23日	火	曇りのち雨	7,195	310,493	3,726	3,469	
53	33	4月24日	水	雨	3,363	313,856	1,631	1,732	
52	34	4月25日	木	晴れ	14,434	328,290	6,722	7,712	
51	35	4月26日	金	曇り	12,453	340,743	5,803	6,650	
50	36	4月27日	土	曇りのち雨	11,145	351,888	6,402	4,743	
49	37	4月28日	日	晴れ	34,159	386,047	18,415	15,744	
48	38	4月29日	月	曇り	20,758	406,805	12,223	8,535	
47	39	4月30日	火	曇りのち晴れ	10,555	417,360	5,219	5,336	
46	40	5月1日	水	雨	4,395	421,755	2,122	2,273	
45	41	5月2日	木	晴れ	20,792	442,547	10,615	10,177	
44	42	5月3日	金	晴れ	24,764	467,311	13,256	11,508	
43	43	5月4日	土	晴れ	29,884	497,195	16,707	13,177	
42	44	5月5日	日	晴れ	35,954	533,149	20,088	15,866	50万人達成イベント
41	45	5月6日	月	曇り	20,151	553,300	12,293	7,858	
40	46	5月7日	火	雨	4,506	557,806	2,566	1,940	

残日数	日数	月日	曜日	天気	入場者総数		GP入場者数①	FP入場者数②	備　考
					①+②	累計			
39	47	5月8日	水	晴れ	13,239	571,045	7,953	5,286	
38	48	5月9日	木	雨のち晴れ	13,748	584,793	8,561	5,187	
37	49	5月10日	金	晴れ	13,676	598,469	8,604	5,072	
36	50	5月11日	土	晴れ	24,835	623,304	16,257	8,578	
35	51	5月12日	日	曇り	20,675	643,979	13,409	7,266	
34	52	5月13日	月	雨	3,195	647,174	1,777	1,418	
33	53	5月14日	火	晴れ	12,182	659,356	7,532	4,650	
32	54	5月15日	水	晴れのち曇り	14,960	674,316	9,668	5,292	
31	55	5月16日	木	雨のち晴れ	11,984	686,300	7,908	4,076	
30	56	5月17日	金	晴れ	13,592	699,892	8,007	5,585	
29	57	5月18日	土	晴れ	28,271	728,163	18,751	9,520	70万人達成イベント
28	58	5月19日	日	雨	17,238	745,401	11,776	5,462	
27	59	5月20日	月	雨のち晴れ	9,346	754,747	5,875	3,471	
26	60	5月21日	火	晴れ	10,565	765,312	6,583	3,982	
25	61	5月22日	水	晴れ	11,861	777,173	7,770	4,091	
24	62	5月23日	木	曇り	11,137	788,310	7,129	4,008	
23	63	5月24日	金	晴れ	11,016	799,326	6,974	4,042	
22	64	5月25日	土	晴れ	26,248	825,574	18,896	7,352	80万人達成イベント
21	65	5月26日	日	晴れ	31,879	857,453	23,122	8,757	
20	66	5月27日	月	雨	7,166	864,619	4,219	2,947	
19	67	5月28日	火	雨	3,047	867,666	1,720	1,327	
18	68	5月29日	水	晴れ	12,742	880,408	7,681	5,061	
17	69	5月30日	木	晴れ	13,931	894,339	8,738	5,193	
16	70	5月31日	金	雨のち曇り	8,839	903,178	5,654	3,185	
15	71	6月1日	土	晴れ	29,787	932,965	19,705	10,082	
14	72	6月2日	日	曇りのち雨	19,136	952,101	12,303	6,833	95万人達成イベント、GP閉幕式
13	73	6月3日	月	晴れ	3,255	955,356		3,255	
12	74	6月4日	火	晴れ	2,469	957,825		2,469	
11	75	6月5日	水	晴れ	2,776	960,601		2,776	
10	76	6月6日	木	晴れ	2,479	963,080		2,479	
9	77	6月7日	金	晴れ	2,485	965,565		2,485	
8	78	6月8日	土	晴れ	6,039	971,604		6,039	
7	79	6月9日	日	曇りのち雨	5,110	976,714		5,110	
6	80	6月10日	月	晴れ	3,490	980,204		3,490	
5	81	6月11日	火	晴れ	2,681	982,885		2,681	
4	82	6月12日	水	晴れ	3,060	985,945		3,060	
3	83	6月13日	木	晴れ	2,551	988,496		2,551	
2	84	6月14日	金	晴れ	2,333	990,829		2,333	
1	85	6月15日	土	曇り	8,026	998,855		8,026	
0	86	6月16日	日	晴れ	7,731	1,006,586		7,731	100万人達成イベント、閉会式
総　計					1,006,586	1,006,586	507,956	498,630	

最多入場者数	２会場：5/5（日・祝）35,954人 ＧＰ：5/26（日）23,122人　　ＦＰ：4/6（土）23,202人
最少入場者数	２会場：5/28（火）3,047人 ＧＰ：4/9（火）1,022人　　ＦＰ：3/26（火）1,045人
平均入場者数	２会場：15,246人（※4/6（土）～6/2（日）の平均） ＧＰ：8,758人　　ＦＰ：5,798人

浜名湖花博 20 周年記念事業実行委員会名簿

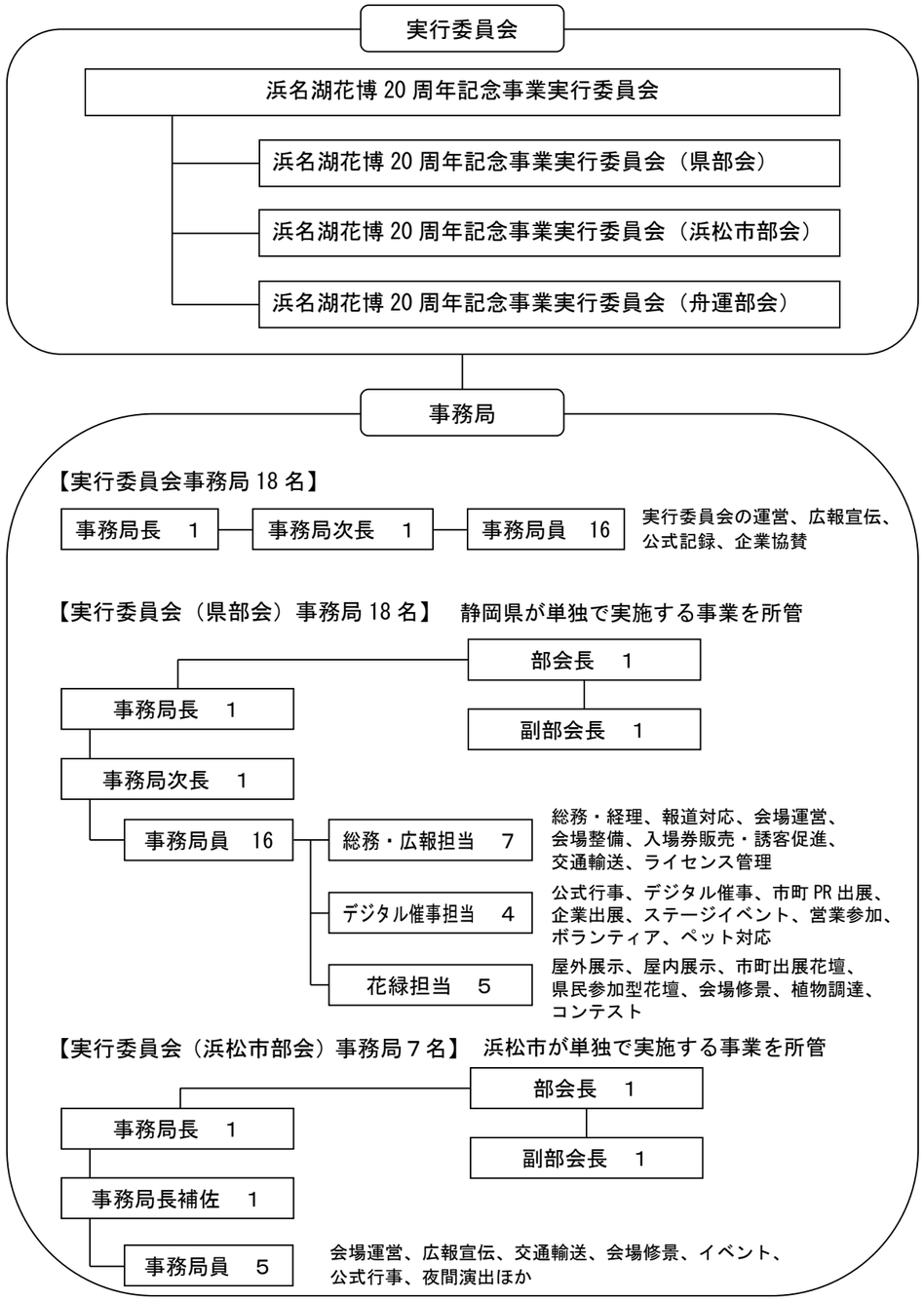
（令和6年6月1日現在）

役職名	団体名・職名	氏名（敬称略）
名誉顧問	スズキ株式会社　相談役	鈴　木　　修
会　長	静岡県知事	鈴　木　康　友
副会長	浜松市長	中　野　祐　介
	湖西市長	影　山　剛　士
委　員	静岡県市長会　会長	中　野　弘　道
	静岡県町村会　会長	込　山　正　秀
	静岡県農業協同組合中央会　代表理事会長	鈴　木　政　成
	とぴあ浜松農業協同組合　経営管理委員会会長	渥　美　保　広
	三ヶ日町農業協同組合　代表理事組合長	井　口　義　朗
	静岡県森林組合連合会　代表理事会長	中　谷　多加二
	静岡県漁業協同組合連合会　代表理事会長	薮　田　国　之
	静岡県花の会連合会　会長	石　原　　眞
	静岡県花卉園芸組合連合会　会長	石　川　和　弘
	公益社団法人静岡県造園緑化協会　会長	江　間　正　章
	一般社団法人日本造園建設業協会静岡県支部　支部長	内　山　晴　芳
	静岡県花き市場連合会　会長	青　山　孝　好
	花咲くしずおかフラワーネットワーク会議　理事長	中　村　　剛
	静岡県鉢物生産振興会　会長	勝　又　俊　博
	公益財団法人静岡県グリーンバンク　理事長	鈴　木　一　雄
	一般社団法人静岡県商工会議所連合会　会長	岸　田　裕　之
	浜松商工会議所　会頭	斉　藤　　薫
	静岡県商工会連合会　会長	前　澤　　侑
	西遠地区商工会連絡協議会　会長	吉　田　清　和
	静岡県中小企業団体中央会　会長	山　内　致　雄
	中日本高速道路株式会社　東京支社長	松　井　保　幸
	東海旅客鉄道株式会社　常務執行役員　静岡支社長	大　脇　順　実
	遠州鉄道株式会社　取締役社長	丸　山　晃　司
	天竜浜名湖鉄道株式会社　代表取締役社長	松　井　宜　正
	公益社団法人静岡県観光協会　専務理事	望　月　宏　明
	公益財団法人浜松・浜名湖ツーリズムビューロー　理事長	斉　藤　　薫
	浜松パワーフード学会　会長	秋　元　健　一
	公立大学法人静岡文化芸術大学　理事	松　下　育　蔵
	公立大学法人静岡文化芸術大学　文化政策学部国際文化学科　准教授	佐　伯　康　考
	国立大学法人静岡大学　情報学部／グリーン科学技術研究所　教授	峰　野　博　史
	公益財団法人浜松市花みどり振興財団　理事長	塚　本　こなみ
	特定非営利活動法人しずおかユニバーサル園芸ネットワーク　理事長	久保田　豊　和
	浜松市都市整備部　花みどり担当部長	中　村　浩　一
	静岡県経済産業部長	村　松　毅　彦
	静岡県経済産業部　農林水産担当部長	田　保　　豪
	静岡県西部地域局長	永　井　雅　也
監　事	静岡県出納局長	芹　澤　真　一
	浜松市会計管理者	長　坂　芳　達

浜名湖花博 20 周年記念事業

実行委員会事務局組織図

（令和6年6月1日現在）



事務局名簿

（１）浜名湖花博 20 周年記念事業実行委員会事務局

事務局長　平野　裕二

事務局次長　松本　芳倫

事務局員

・総務・広報担当　宮野　舞　落合　正和　山口　和希　袴田　彬央　大場　直輝　岩清水春香　跡見　彩斗

・デジタル催事担当　藪崎　裕一　和田　朋子　藤田　直人　曾根　良輔

・花緑担当　鈴木　智子　堀切川貴代　鈴木　綾菜　渥美　慶祐　小林　広人

（２）浜名湖花博 20 周年記念事業実行委員会（県部会）事務局

部会長　望月　辰彦

副部会長　山本　東

※事務局長、事務局次長及び事務局員は、実行委員会事務局と同様

（３）浜名湖花博 20 周年記念事業実行委員会（浜松市部会）事務局

部会長　鈴木　康友

副部会長　中村　浩一

事務局長　廣野　浩之

事務局長補佐　舛田　朝彦

事務局員　中村　一成　佐々木　聡　太田佐知代　近藤　大樹　杉山　勝巳